

事業用貨物自動車の 交通事故の 発生状況

令和2年9月



公益社団法人

全日本トラック協会

事業用貨物自動車の 交通事故の発生状況

令和2年9月

公益社団法人 **全日本トラック協会**

ま え が き

本書は、公益財団法人交通事故総合分析センター並びに国土交通省の協力を得て、警察庁が公表した2019年中の全国交通事故統計データから、事業用貨物自動車（軽自動車を除く）を対象とした交通事故の全体傾向を集計し取りまとめています。

2019年に全国で発生した交通事故（物損事故を除く）件数は381,237件、死者数は3,215人、負傷者数は461,775人と、前年に比べ事故件数が49,364件減（-11.5%）、死者数が317人減（-9.0%）、負傷者数が64,071人減（-12.2%）となっています。

一方、事業用貨物自動車については、交通事故による負傷者数及び飲酒運転事故件数についてはそれぞれ減少したものの、酒酔い運転及び酒気帯び運転を合わせた飲酒運転件数は前年より増加しており、トラック運送業界の社会的信頼性を失墜させかねない憂慮すべき状況が依然として続いています。

国土交通省では、世界一安全な輸送サービスの提供を実現するため、第10次交通安全基本計画（2016年～2020年まで）に合わせた「事業用自動車総合安全プラン2020 ～行政・事業者・利用者が連携した安全トライアングルの構築～」を策定し、2020年までに、事業用トラックが第1当事者となる①交通事故による死者数を200人以下、②人身事故件数を12,500件以下、③飲酒運転をゼロとするよう、2017年6月30日に公表しました。

これを受け、全日本トラック協会では、国土交通省が定めた目標を実現するため、事業用トラックを第1当事者とする交通死亡事故件数に係る数値目標を「車両台数1万台当たり『1.5』件以下とし、これを各都道府県（車籍別）の共有目標とする」ことを2017年9月に決定し、トラック業界が一丸となって各種事故防止対策を推進しましたが、2019年は1万台当たりの死亡事故件数は「1.8」件（死者数245人）と、目標達成には至っていない状況です。

2020年はいよいよ、「事業用自動車総合安全プラン2020」の目標最終年を迎え、事業用貨物自動車による交通事故を根絶するためにも貨物自動車運送事業の経営にあたっては、交通事故防止対策を最重要課題とし、確実な点呼の実施を始めとし、飲酒運転の撲滅、過労運転の防止、点検整備の徹底、運転者の教育・指導など安全管理の充実に努め、関係者一丸となって、これまで以上に交通事故防止対策を講じていく必要があります。

本書を事業用貨物自動車の交通事故防止対策の一助として活用いただければ幸いです。

2020年9月

公益社団法人 全日本トラック協会
会 長 坂 本 克 己

凡 例

- 本書における用語の定義は、次のとおりである。
- 1 「交通事故」とは、道路交通法で規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故をいう。ただし、本書においては物損事故を除く。
- 2 「死亡」（「死者」）とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
- 3 「負傷」（「負傷者」）とは、「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 4 「重傷」（「重傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）以上の治療を要する場合（人）をいう。
- 5 「軽傷」（「軽傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1箇月（30日）未満の治療を要する場合（人）をいう。
- 6 「死傷」（「死傷者」）とは、「死亡」（「死者」）と「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
- 7 「死傷者数」とは、事業用貨物自動車の事故における全当事者数をいう。
- 8 「事業用貨物自動車」とは、第1当事者が事業用で貨物車（軽自動車を除く。）をいう。ただし、注意書きを除く。
- 9 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
- 10 「事故類型」とは、当該交通事故を先ず当事者の種類（人または車両等）によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等（動き、位置、衝突物等）によって更に細かく分類したものをいう。
- 11 「対歩行者」とは、当該交通事故の第2当事者が歩行者（準歩行者を含む。）である場合をいう。
- 12 「準歩行者」とは、「車椅子」、「小児用の車」、「ローラースケート等」をいう。
- 13 「対自転車」とは、当該交通事故の第2当事者が「自転車」、「駆動補助付自転車」、「リヤカー等」の軽車両である場合をいう。
- 14 「車両相互」とは、当該交通事故の第1当事者及び第2当事者がいずれも車両等（列車が相手方である場合を除く。）である場合をいう。
- 15 「車両単独」とは、当該交通事故の第2当事者が「駐車車両（運転者不在）」、「物件」、「相手なし」である場合をいう。
- 16 「車両等」とは、「四輪車」「二輪車」「自転車」「その他」の合計をいう。
- 17 「車両等」の定義は次のとおりである。
 - 「四輪車」……道路交通法に定める大型自動車、中型自動車、準中型自動車、普通自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車。
 - 「二輪車」……「自動二輪車」及び「原動機付自転車」
 - 「自動二輪車」……道路交通法に定める大型自動二輪車と普通自動二輪車。

- 「原動機付自転車」「軽車両」「自転車」……道路交通法の規定による。
- 「その他」……「四輪車」「二輪車」「自転車」以外の車両。
- 「軽自動車」……道路運送車両法の規定による。
- 「トレーラ」……けん引する構造並びに装置を有する乗用車により牽引されるための構造及び装置を有する車両(車両総重量750kg超)が連結されている状態をいう。

18 当事者種別の定義は次のとおりである。

- 「大型」……車両総重量11t以上又は最大積載量6.5t以上の貨物車。
- 「中型」……車両総重量5t以上11t未満又は最大積載量3t以上6.5t未満の貨物車。
- 「普通」……車両総重量5t未満かつ最大積載量3t未満の貨物車。

なお、当事者種別の定義は平成29年3月12日以降、次のとおりである。

- 「大型」……車両総重量11t以上又は最大積載量6.5t以上の貨物車。
- 「中型」……車両総重量7.5t以上11t未満又は最大積載量4.5t以上6.5t未満の貨物車。
- 「準中型」……車両総重量3.5t以上7.5t未満又は最大積載量2t以上4.5t未満の貨物車。
- 「普通」……車両総重量3.5t未満かつ最大積載量2t未満の貨物車。

19 「高速道」とは、高速自動車国道及び指定自動車専用道路をいう。

20 「高速自動車国道」(高速国道)とは、高速自動車国道法に定める高速自動車国道をいう。

21 「指定自動車専用道路」(指定自専道)とは、道路交通法に定める自動車専用道路をいう。

22 「行動類型」とは、当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって細分した類型をいう。

23 「人的要因」とは、当事者に認められる要因をいう。

- 数字は単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。
- データの各数値は、令和2年5月末の確定値である。後日、統計上の理由により変更される場合がある。
- データは、(公益財団法人)交通事故総合分析センターで集計した。

目 次

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況	1
2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況	2
3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況	3
4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況	13
5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況	20
6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況	27
7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況	30
8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況	34
9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況	36
10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況	39
11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況	42
12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況	43
13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況	44
14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況	46
15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況	47
16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況	52
17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況	55
付録	62
付録1. 都道府県別の死傷事故件数（令和元年）	63
付録2. 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（令和元年）	64
付録3. 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（令和元年）	65
付録4. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（令和元年）	66
付録5. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（令和元年）	67
付録6. 交通事故発生状況の推移（平成4-令和元年）	68
付録7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成22-令和元年）	69
付録8. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成22-令和元年）	69
付録9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）	70
付録10. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）	70
付録11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（令和元年）	71
付録12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（令和元年）	71
付録13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成22-令和元年）	72
付録14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成22-令和元年）	74
付録15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（令和元年）	76
付録16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）	77
付録17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（令和元年）	78
付録18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）	79
付録19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況	80
付録20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況	83
付録21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況	86

付録22. 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況	-----	89
付録23. 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況	-----	92
付録24. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数 （平成28-令和元年）	-----	95
付録25. 事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成30-令和元年）	-----	96

事業用貨物自動車の交通事故の傾向と事件事例

事業用貨物自動車（軽自動車を除く）が第1当事者となった死傷事故の傾向は次のとおりです。

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況

死傷事故全体の発生件数は、平成22年の21,049件から令和元年には11,629件と順調に減少しており、10年間で9,420件（44.8%）減少しています。

第1当事者種別では、平成22年から令和元年の10年間で、大型は3,250件、中型は5,650件、普通は3,284件、それぞれ減少しています。尚、平成29年3月12日の「準中型」免許区分新設に伴い、「中型」以下の車両総重量区分が新設されたため、「大型」以外は参考値となります（以下、同様）。

表1 当事者種別の死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

年	第1当事者種別				合計	保有車両数(台)
	大型	中型	準中型	普通		
H22	8,003 (1,357)	9,063		3,983	21,049	1,361,336
H23	7,993 (1,262)	9,035		3,540	20,568	1,357,647
H24	7,586 (1,265)	8,715		3,173	19,474	1,358,400
H25	7,125 (1,208)	8,490		2,876	18,491	1,360,732
H26	6,985 (1,155)	8,130		2,686	17,801	1,372,140
H27	6,260 (971)	7,294		2,602	16,156	1,381,282
H28	5,709 (991)	6,572		2,319	14,600	1,397,191
H29	5,663 (955)	4,862	2,452	1,240	14,217	1,419,605
H30	5,406 (923)	4,031	3,171	820	13,428	1,440,180
R01	4,753 (870)	3,413	2,764	699	11,629	1,462,004

※ 大型の（ ）内の値は、トレーラで大型の内数を示す。

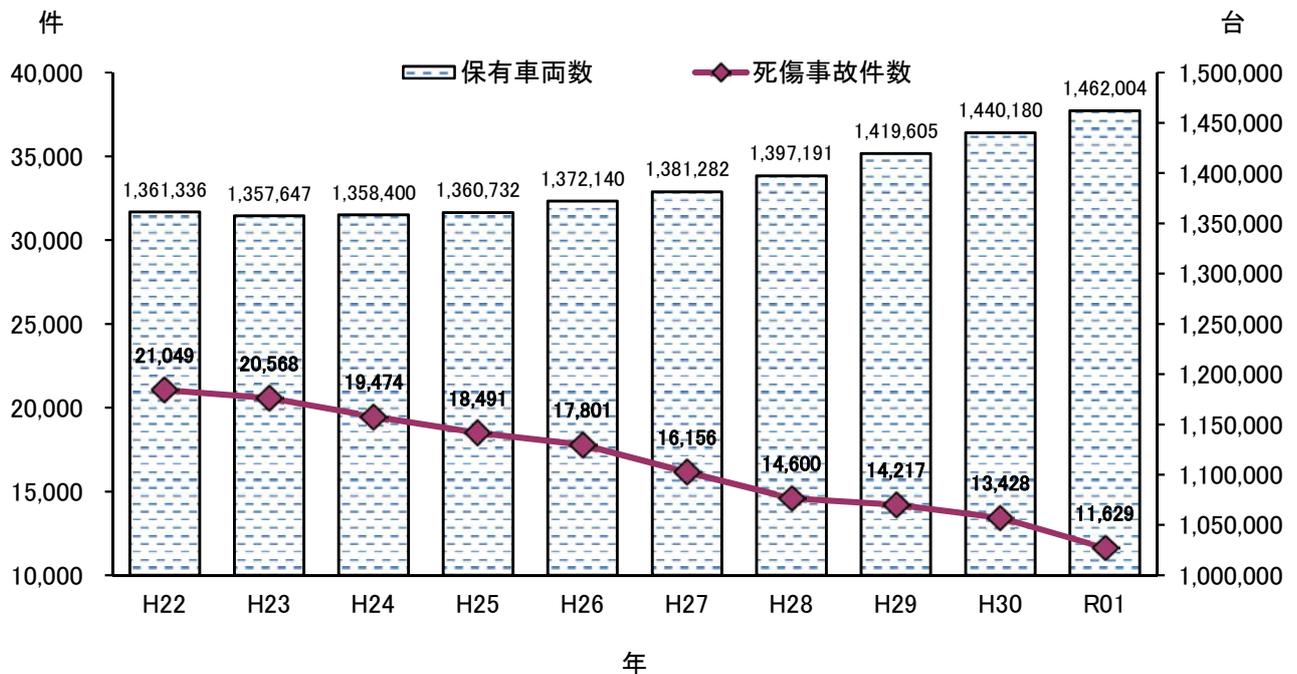


図1 保有車両数と死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

※ 保有車両数(台)は、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「市区町村別 自動車保有車両数(令和元年度3月末現在)」をもとに全日本トラック協会が集計した値。

2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況

事故類型別の死傷事故件数は、平成22年から令和元年の10年間で、車両相互8,722件、対歩行者556件、車両単独142件と、それぞれ減少しています。

発生件数の多い事故類型は圧倒的に車両相互であり、平成22年以降、90%以上を占める状況が続いています。

表2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

(件)

年	事故類型	車両相互	対歩行者	車両単独	列車	合計	車両相互事故構成率(%)
H22		19,382	1,373	293	1	21,049	92.1
H23		19,036	1,264	265	3	20,568	92.6
H24		17,966	1,282	226	0	19,474	92.3
H25		17,106	1,138	244	3	18,491	92.5
H26		16,460	1,129	211	1	17,801	92.5
H27		14,903	1,069	183	1	16,156	92.2
H28		13,517	912	170	1	14,600	92.6
H29		13,114	935	167	1	14,217	92.2
H30		12,367	894	166	1	13,428	92.1
R01		10,660	817	151	1	11,629	91.7

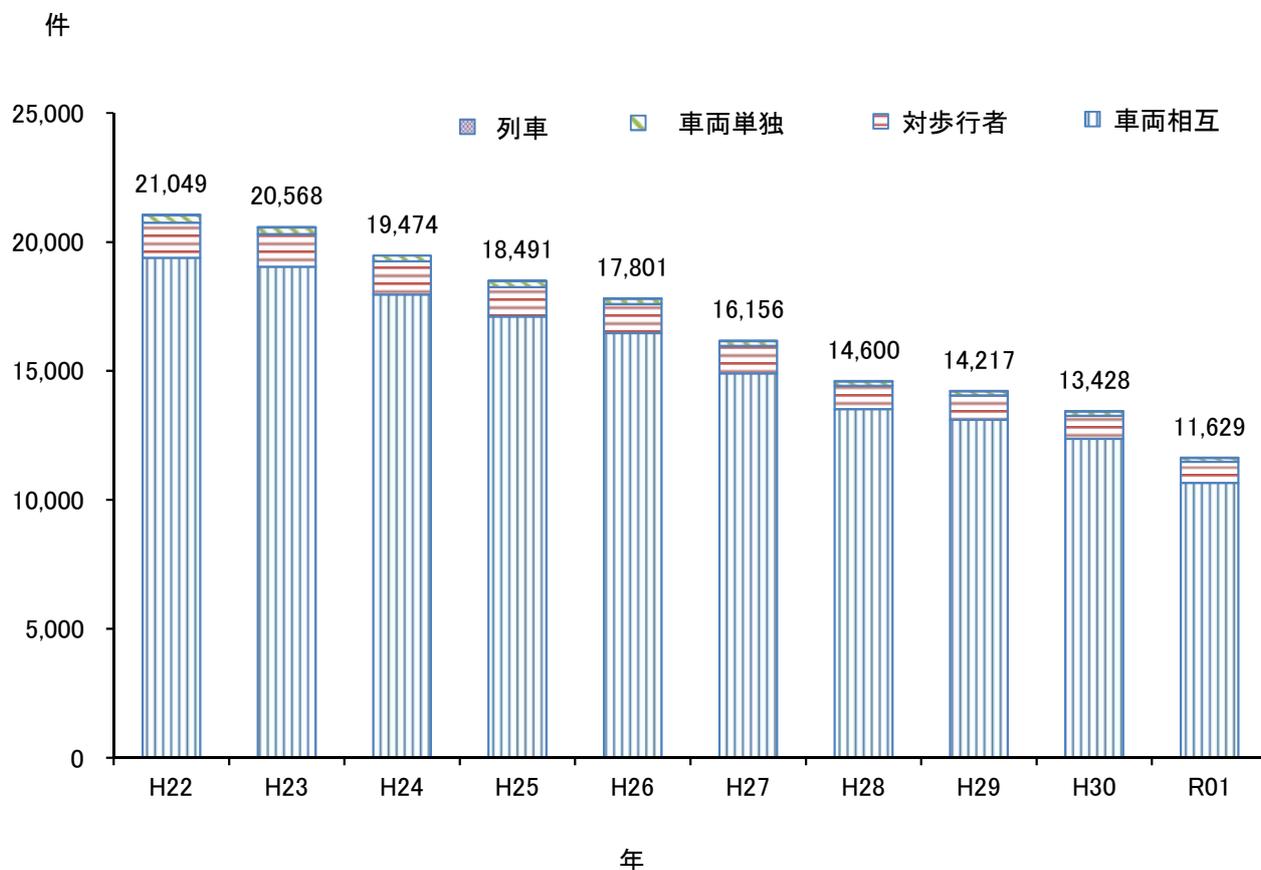


図2 事故類型別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型（詳細区分）別死傷事故の状況

令和元年の道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数は、死亡事故では、対歩行者 105 件（うち高速道路 3 件、一般道路 102 件）、車両相互 109 件（うち高速道路 17 件、一般道路 92 件）、車両単独 24 件（うち高速道路 11 件、一般道路 13 件）となっています。

一方、重傷事故では、対歩行者 207 件（うち高速道路 2 件、一般道路 205 件）、車両相互 727 件（うち高速道路 86 件、一般道路 641 件）、車両単独 33 件（うち高速道路 11 件、一般道路 22 件）となっています。

また、軽傷事故では、対歩行者 505 件（うち高速道路 3 件、一般道路 502 件）、車両相互 9,824 件（うち高速道路 1,061 件、一般道路 8,763 件）、車両単独 94 件（うち高速道路 21 件、一般道路 73 件）となっています。

表 3-1 道路区分別・事故類型（詳細区分）別の死傷事故件数（令和元年）

(件)

事故類型 道路区分		死亡			重傷			軽傷			合計			
		高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	
対歩行者	対面通行中	0	8	8	0	7	7	0	23	23	0	38	38	
	背面通行中	0	9	9	0	12	12	0	37	37	0	58	58	
	横断中	横断歩道	0	24	24	0	93	93	0	226	226	0	343	343
		横断歩道付近	0	5	5	0	9	9	0	7	7	0	21	21
		横断歩道橋付近	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	5	5
		その他	1	29	30	1	41	42	0	49	49	2	119	121
	路上遊戯中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	路上作業中	1	7	8	0	3	3	1	28	29	2	38	40	
	路上停止中	1	4	5	0	5	5	0	8	8	1	17	18	
	路上横臥中	0	8	8	1	3	4	0	2	2	1	13	14	
	その他	0	6	6	0	30	30	2	121	123	2	157	159	
小計	3	102	105	2	205	207	3	502	505	8	809	817		
車両相互	正面衝突	追越・追抜	0	1	1	0	3	3	0	0	0	0	4	4
		その他	0	9	9	0	26	26	1	80	81	1	115	116
	追突	進行中	4	10	14	23	43	66	277	396	673	304	449	753
		駐・停車中	12	11	23	40	91	131	454	4,278	4,732	506	4,380	4,886
	出会い頭衝突	0	18	18	0	141	141	3	891	894	3	1,050	1,053	
	追越・追抜時衝突	0	5	5	3	60	63	33	428	461	36	493	529	
	進路変更時衝突	0	0	0	10	23	33	206	420	626	216	443	659	
	すれ違い時衝突	0	1	1	0	12	12	1	154	155	1	167	168	
	左折時衝突	0	24	24	0	94	94	5	623	628	5	741	746	
	右折時衝突	0	7	7	0	98	98	2	566	568	2	671	673	
	横断時衝突	0	2	2	0	4	4	0	22	22	0	28	28	
	転回時衝突	0	1	1	1	3	4	0	47	47	1	51	52	
	後退時衝突	0	0	0	1	7	8	21	453	474	22	460	482	
	その他	1	3	4	8	36	44	58	405	463	67	444	511	
小計	17	92	109	86	641	727	1,061	8,763	9,824	1,164	9,496	10,660		
車両単独	工作物衝突	電柱	0	0	0	0	1	1	0	6	6	0	7	7
		標識	0	1	1	0	1	1	0	2	2	0	4	4
		分離帯・安全島	1	1	2	1	0	1	4	6	10	6	7	13
		防護柵等	3	3	6	0	8	8	4	6	10	7	17	24
		家屋・塀	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	3	3
		橋梁・橋脚	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2
	その他	1	4	5	1	2	3	3	13	16	5	19	24	
	駐車車両(運転者不在中)衝突	6	2	8	9	1	10	9	25	34	24	28	52	
	路外逸脱	転落	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	2
		その他	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	3	3
転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	5	5	1	11	12	1	16	17		
小計	11	13	24	11	22	33	21	73	94	43	108	151		
列車	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計	31	208	239	99	868	967	1,085	9,338	10,423	1,215	10,414	11,629		

令和元年の死傷事故のうち、事故類型詳細区別で発生件数が多い順に、追突-駐・停車中 4,886 件 (42.0%)、出会い頭衝突 1,053 件 (9.1%)、追突-進行中 753 件 (6.5%)、車両相互 (その他) 759 件 (6.5%)、左折時衝突 746 件 (6.4%)、右折時衝突 673 件 (5.8%)、進路変更時衝突 659 件 (5.7%)、追越・追抜時衝突 529 件 (4.5%)、横断中 490 件 (4.2%)、後退時衝突 482 件 (4.1%) となっており、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて 5,639 件 (48.5%) と、死傷事故全体 (11,629 件) の半分近くを占めています。

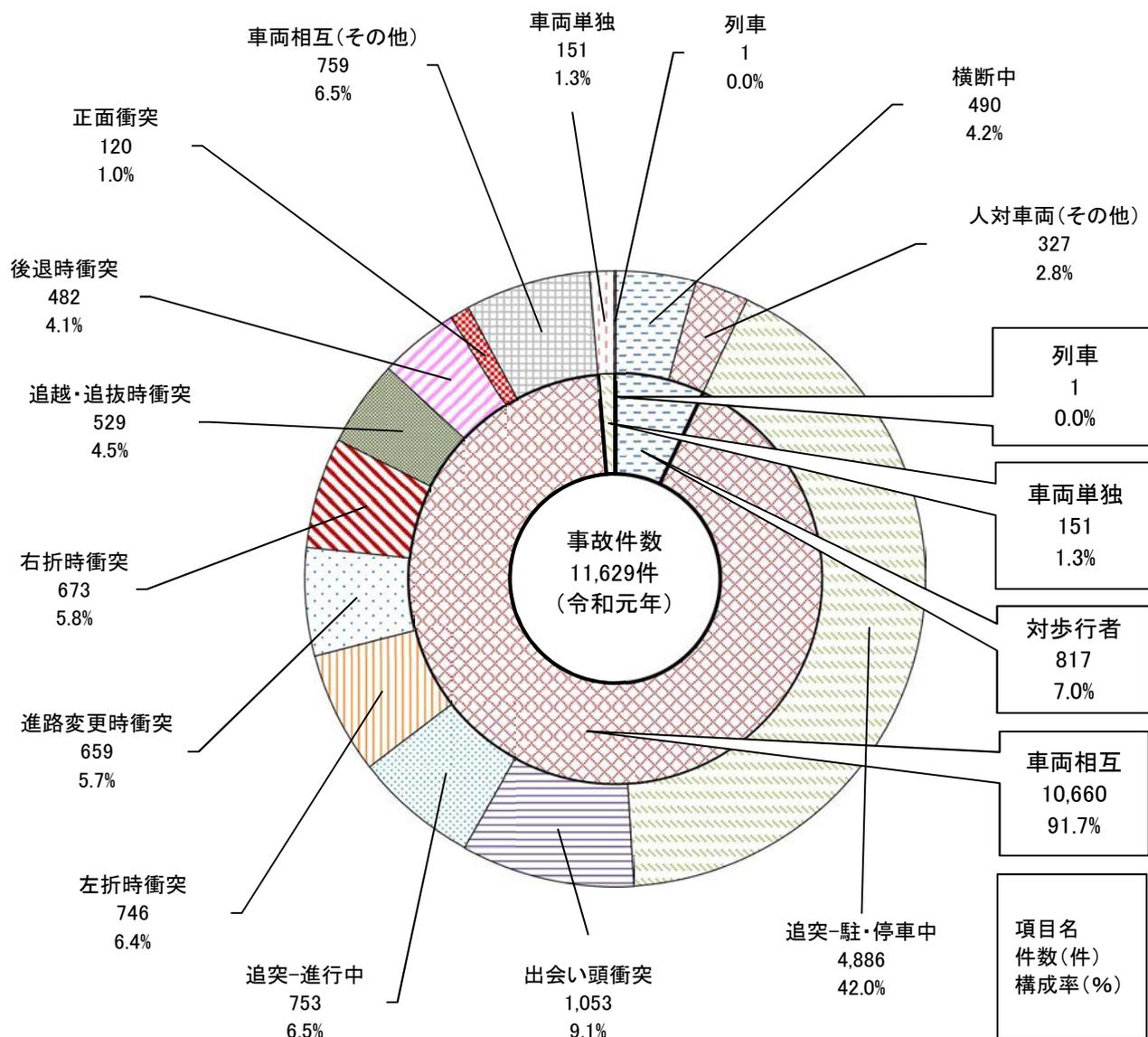


図 3-1 事故類型別死傷事故件数の構成率 (令和元年)

令和元年の死傷事故のうち、高速道路における事故類型詳細区分別の発生件数が多い順に、追突-駐車中 506 件 (41.6%)、追突-進行中 304 件 (25.0%)、進路変更時衝突 216 件 (17.8%)、車両相互 (その他) 75 件 (6.2%)、追越・追抜時衝突 36 件 (3.0%)、駐車車両 24 件 (2.0%)、後退時衝突 22 件 (1.8%)、工作物衝突 (防護柵等) 7 件 (0.6%) で、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて 810 件 (66.7%) と、高速道路における死傷事故全体 (1,215 件) の 2/3 を占めています。

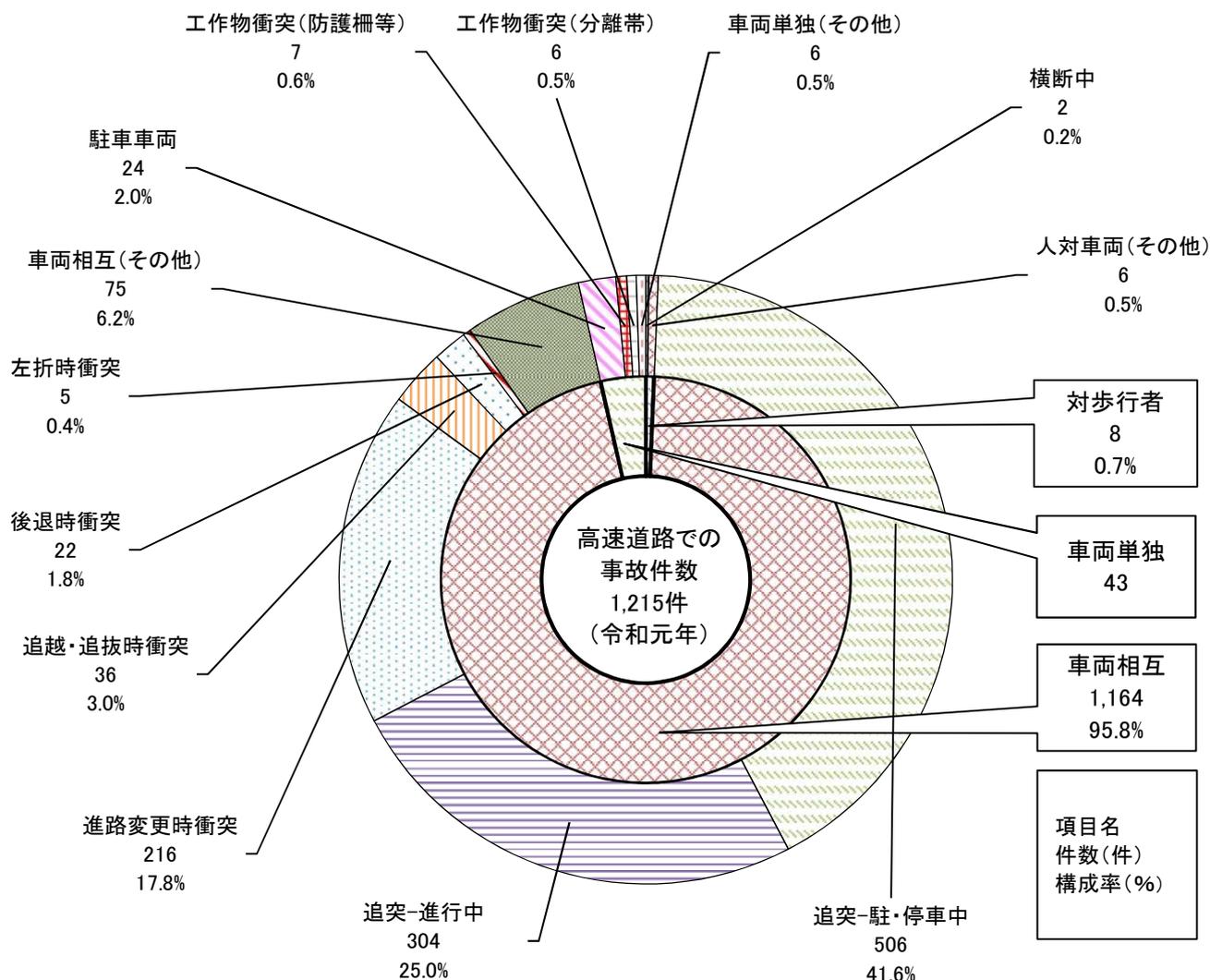


図 3-2 高速道路における事故類型別死傷事故件数の構成率 (令和元年)

参 考

(1) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成 22-令和元年）

- ・追突による死傷事故件数は、平成 22 年の 12,008 件から令和元年には 5,639 件となり、10 年間で 6,369 件（53.0%）減少しています。

表 3-2 主な事故類型の死傷事故件数の推移（平成 22-令和元年）

事故類型	年									
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
追突	12,008	11,853	11,357	9,719	9,292	8,541	7,637	7,290	6,914	5,639
対歩行者	1,864	1,770	1,746	1,138	1,129	1,069	912	935	894	817
出会い頭衝突	3,548	3,373	3,069	1,843	1,708	1,483	1,392	1,285	1,191	1,053
左折時衝突	1,605	1,523	1,409	1,112	1,038	930	879	851	824	746
右折時衝突	1,515	1,425	1,283	890	914	837	754	790	646	673
出会い頭衝突等	6,668	6,321	5,761	3,845	3,660	3,250	3,025	2,926	2,661	2,472
その他	4,912	4,921	4,675	3,789	3,720	3,296	3,026	3,066	2,959	2,701
事故件数	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428	11,629

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・死傷事故の構成率は、追突が減少傾向にある一方で、対歩行者及び出会い頭衝突が増加する傾向にあります。

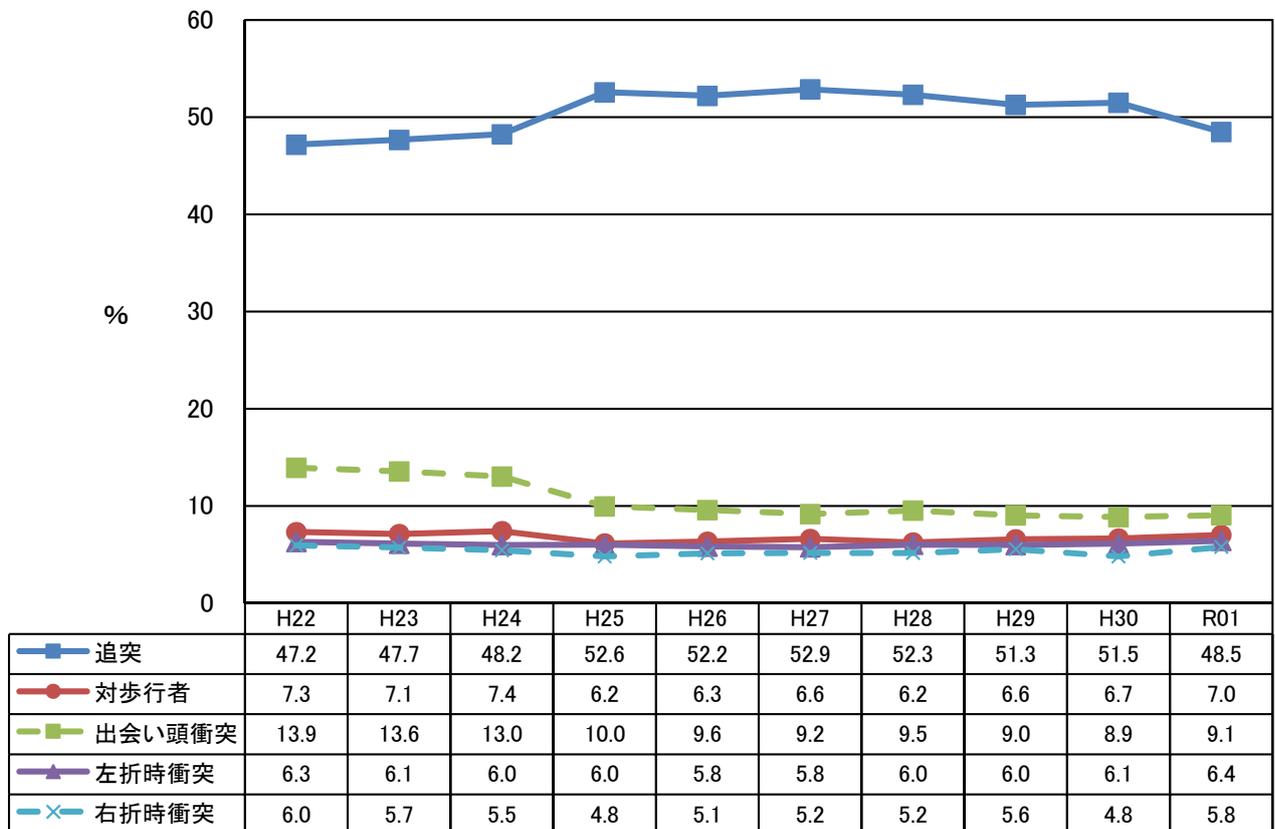


図 3-3 主な事故類型の死傷事故件数構成率の推移（平成 22-令和元年）

・追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成 22-24 年は 60%台、平成 25 年以降は 70%以上で推移していましたが、令和元年は再び 70%を下回りました。

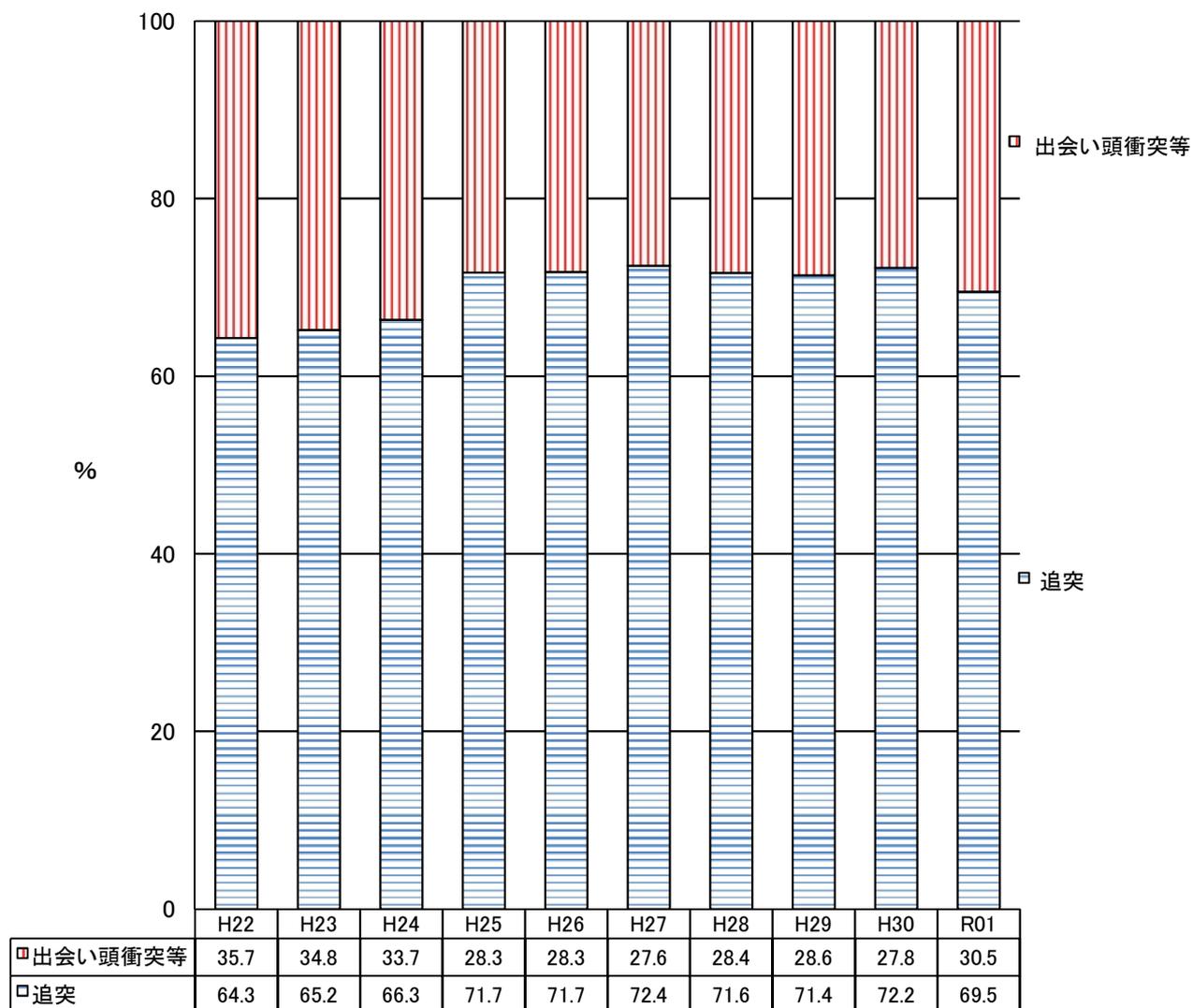


図 3-4 「追突」と「出会い頭衝突等」による死傷事故件数構成率の推移（平成 22-令和元年）

(2) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死亡事故件数の推移（平成 22-令和元年）

- ・追突による死亡事故件数は、6 ページの死傷事故件数の傾向に比べて、バラつきが大きくなっています。

表 3-3 主な事故類型別の死亡事故件数の推移（平成 22-令和元年）

事故類型	年									
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
追突	86	85	78	77	58	50	44	40	48	37
正面衝突	27	21	18	9	11	12	16	14	13	10
出会い頭衝突	41	40	29	30	29	29	22	22	22	18
左折時衝突	30	24	24	23	32	27	22	23	32	24
右折時衝突	21	14	19	19	17	11	17	16	13	7
出会い頭衝突等	92	78	72	72	78	67	61	61	67	49
その他	199	183	220	191	183	179	137	156	125	143
事故件数	404	367	388	349	330	308	258	271	253	239

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・追突の構成率は、平成 23 年の 23.2% を最大値、平成 29 年の 14.8% を最小値とし、年によるバラつきが大きくなっています。

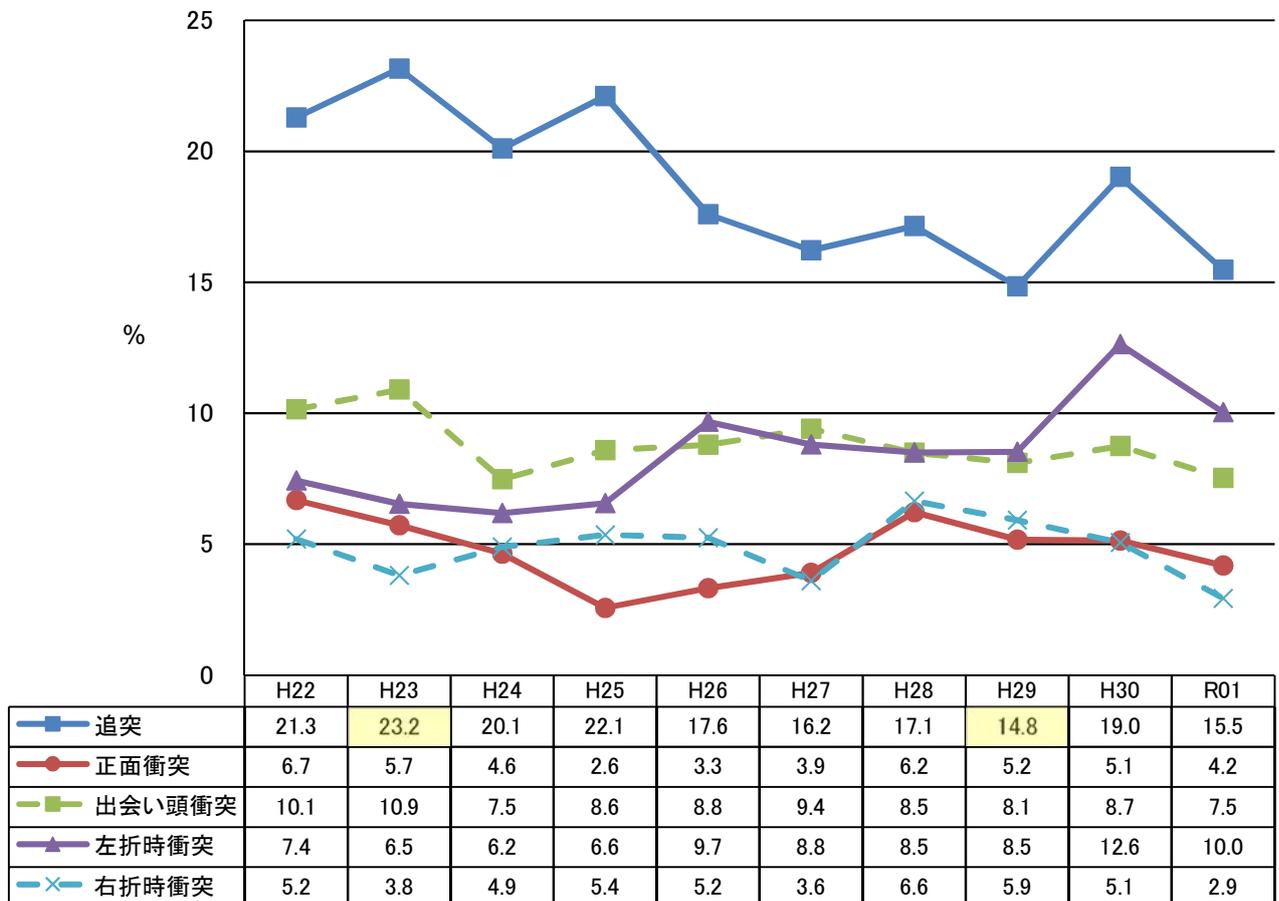


図 3-5 主な事故類型の死亡事故件数構成率の推移（平成 22-令和元年）

- ・追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成 22 年から平成 25 年までは 50% 前後を占めていますが、平成 26 年以降は、おおむね 40%前後で推移しています。

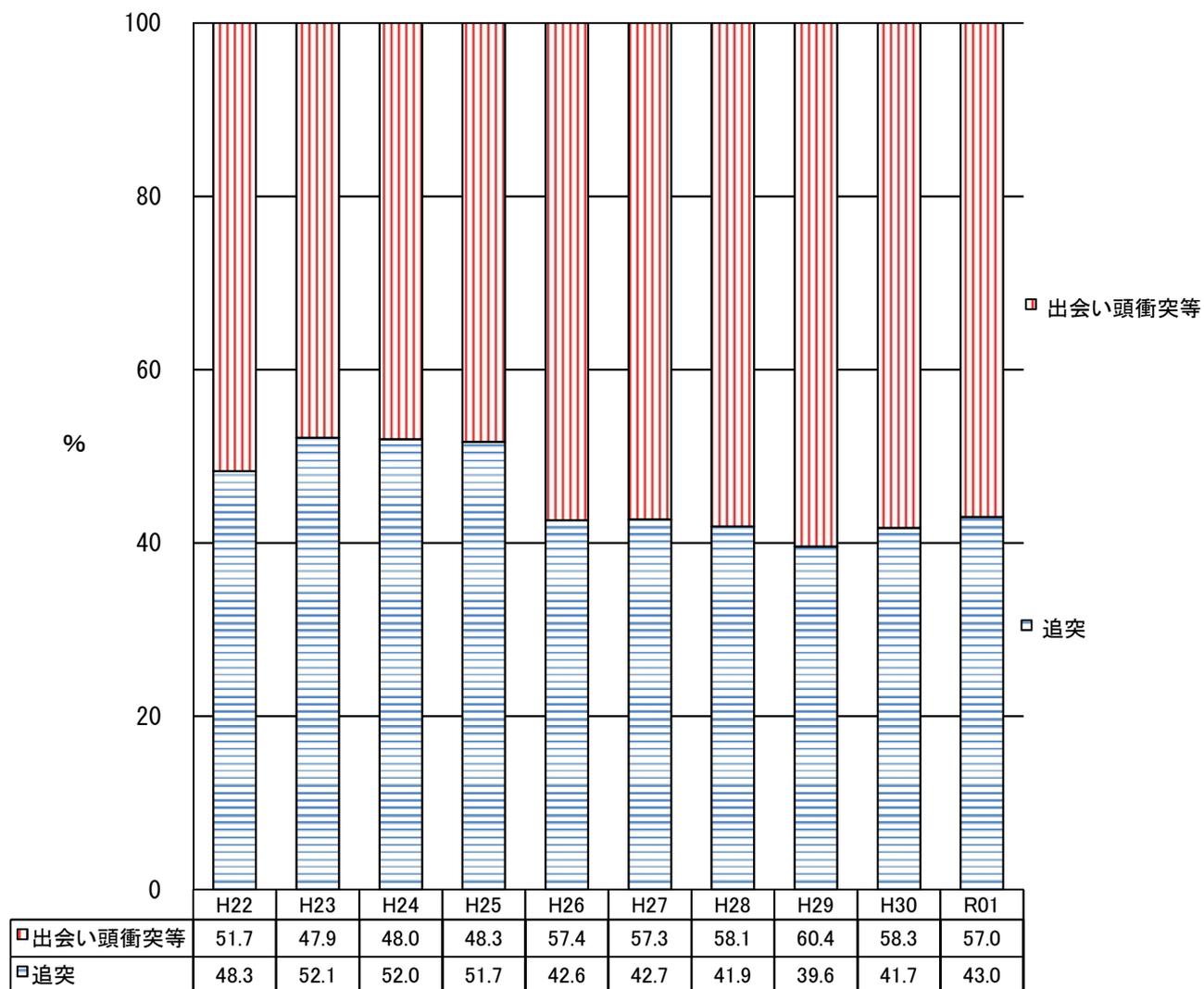


図 3-6 「追突」と「出会い頭衝突等」による死亡事故件数構成率の推移（平成 22-令和元年）

(3) 事業用貨物自動車の交差点内における死傷者数の推移（平成 22-令和元年）

- ・交差点内における死傷者数は、平成 22 年の 6,857 人から令和元年には 3,437 人と順調に減少しており、10 年間で 3,420 人（49.9%）減少しています。
- ・そのうち死者は、平成 22 年の 134 人から令和元年の 89 人と、10 年間で 45 人（33.6%）減少しています。また、平成 28 年に初めて 100 人を下回りました。
- ・一方、重傷者は、平成 22 年の 669 人から令和元年の 417 人と、10 年間で 252 人（37.7%）減少しています。
- ・また、軽傷者は、平成 22 年の 6,054 人から令和元年の 2,931 人と順調に減少しており、10 年間で 3,123 人（51.6%）減少しています。

表 3-4 交差点内における死傷者数の推移（平成 22-令和元年）

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
死傷者数										
死者	134	120	124	118	129	111	88	100	84	89
重傷者	669	605	534	468	529	472	452	477	469	417
軽傷者	6,054	5,844	5,294	4,869	4,661	4,124	3,781	3,602	3,225	2,931
合計	6,857	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321	4,179	3,778	3,437

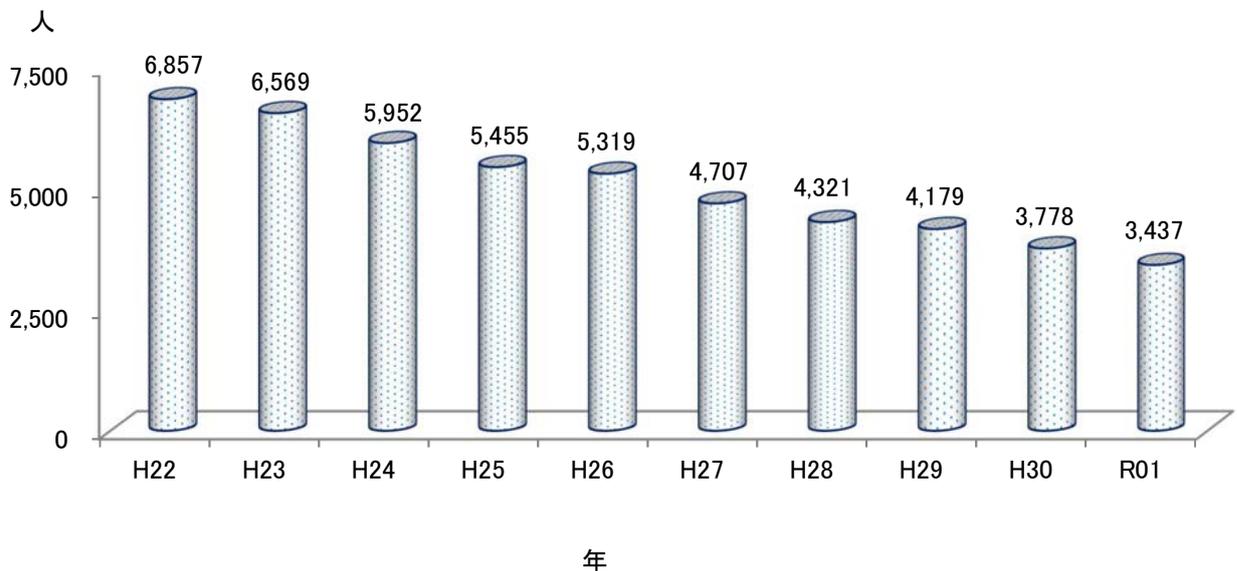


図 3-7 交差点内における死傷者数の推移（平成 22-令和元年）

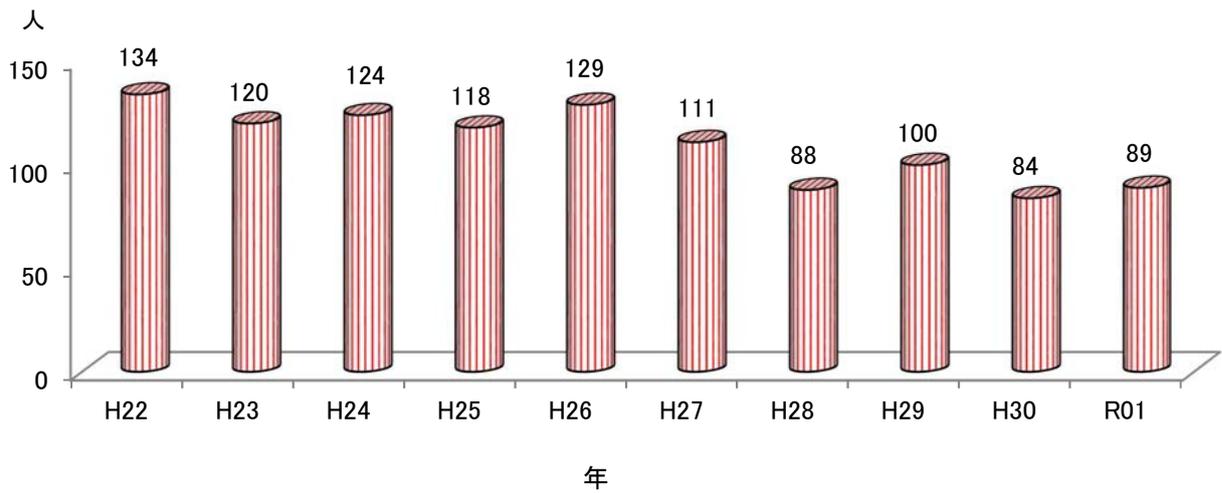


図 3-8 交差点内における死者数の推移 (平成 22-令和元年)

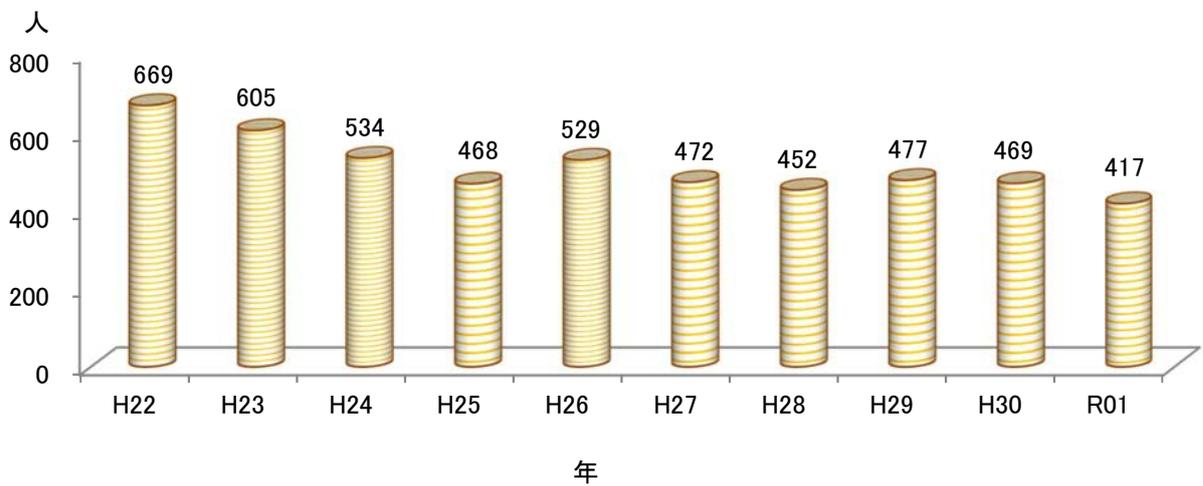


図 3-9 交差点内における重傷者数の推移 (平成 22-令和元年)

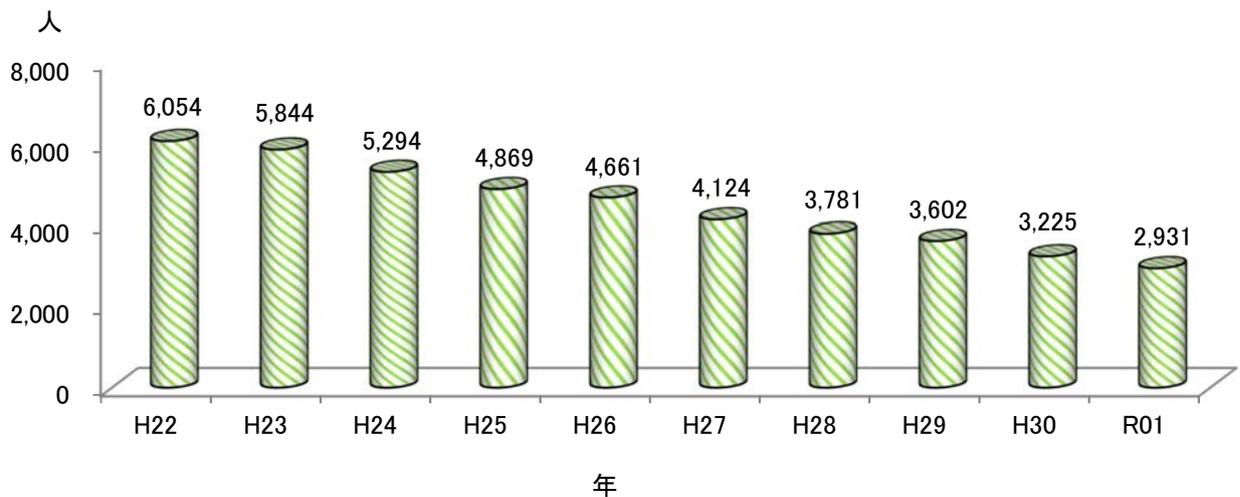


図 3-10 交差点内における軽傷者数の推移 (平成 22-令和元年)

(4) 事業用貨物自動車の衝突地点別死者割合の推移（平成 22-令和元年）

- ・衝突地点別の死者割合（死傷者数に占める死者数の割合）は、平成 22 年から令和元年までの 10 年間、全衝突地点では 1.3%から 1.6%の範囲で推移しています。
- ・また、同じ期間、単路での死者割合は 1.1%から 1.3%の範囲で推移している一方、交差点内では 1.8%から 2.5%の前後の範囲で推移しています。
- ・全体衝突地点及び単路と比較すると、交差点内は死者割合が高くなっています。

表 3-5 衝突地点別死者割合の推移（平成 22-令和元年）

年		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
全衝突地点	死傷者数(人)	28,299	27,650	26,128	24,963	24,002	21,678	19,435	18,891	17,768	15,283
	死者数(人)	402	368	389	364	340	312	270	280	260	245
	死者割合(%)	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.6
交差点内	死傷者数(人)	6,857	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321	4,179	3,778	3,437
	死者数(人)	134	120	124	118	129	111	88	100	84	89
	死者割合(%)	1.9	1.8	2.0	2.1	2.4	2.3	2.0	2.3	2.2	2.5
単路	死傷者数(人)	20,363	20,072	19,034	18,308	17,468	15,893	14,148	13,824	13,071	11,022
	死者数(人)	257	237	252	234	202	196	170	169	173	147
	死者割合(%)	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3

※ 死者割合=死者数/死傷者数×100（小数点第2位切り捨て）

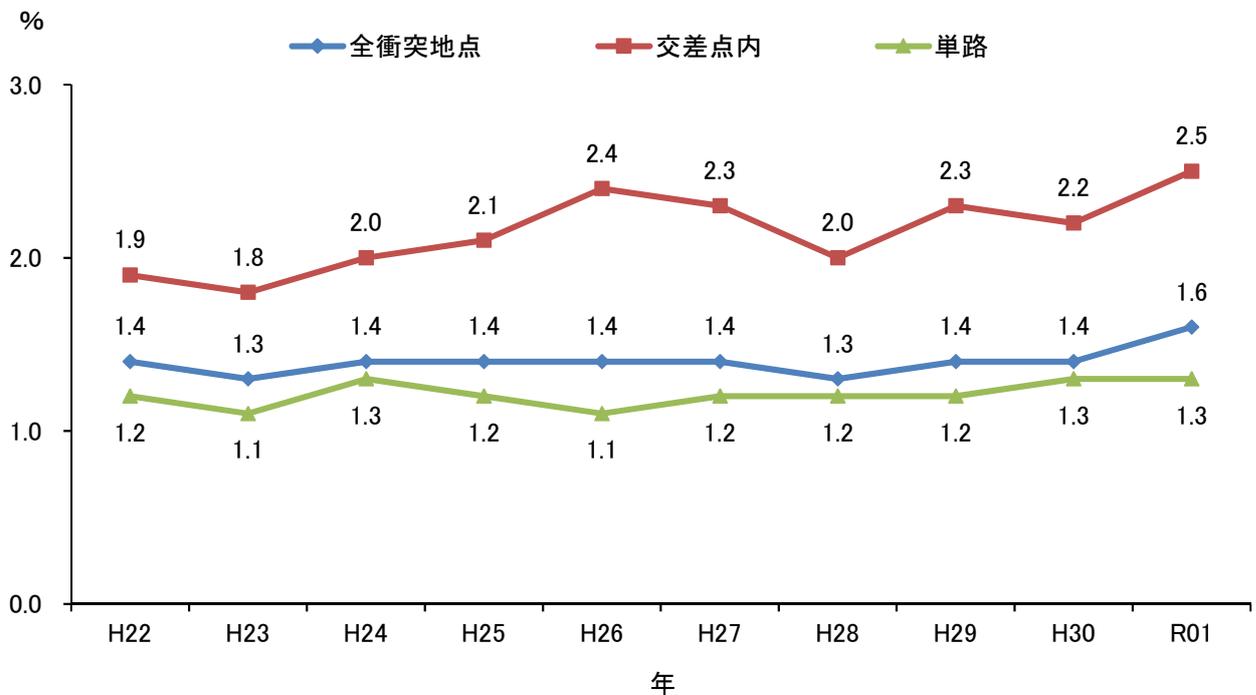


図 3-11 衝突地点別死者割合の推移（平成 22-令和元年）

4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数

令和元年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数は、45-49歳1,978件(17.0%)、50-54歳1,804件(15.5%)、55-59歳1,462件(12.6%)、40-44歳1,303件(11.2%)となっています。

また、45歳から54歳を合計すると3,782件(32.5%)となり、さらに40歳から59歳を合計すると6,547件(56.3%)となっています。

表4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数(令和元年)

		(件)											
運転者年齢		24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
事故類型													
車両相互	追突	349	369	400	517	621	916	843	702	467	455	0	5,639
	出会い頭衝突	55	53	87	81	100	194	157	116	91	119	0	1,053
	正面衝突	9	9	6	5	9	16	20	18	13	15	0	120
	左折時衝突	17	28	50	63	96	158	124	100	56	54	0	746
	右折時衝突	35	37	40	50	85	104	97	87	60	78	0	673
	その他	86	120	158	195	279	429	396	326	232	208	0	2,429
	対歩行者	30	42	59	57	91	130	144	99	80	85	0	817
車両単独	2	6	11	11	22	31	23	14	17	14	0	151	
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
合計		583	664	811	979	1,303	1,978	1,804	1,462	1,016	1,029	0	11,629

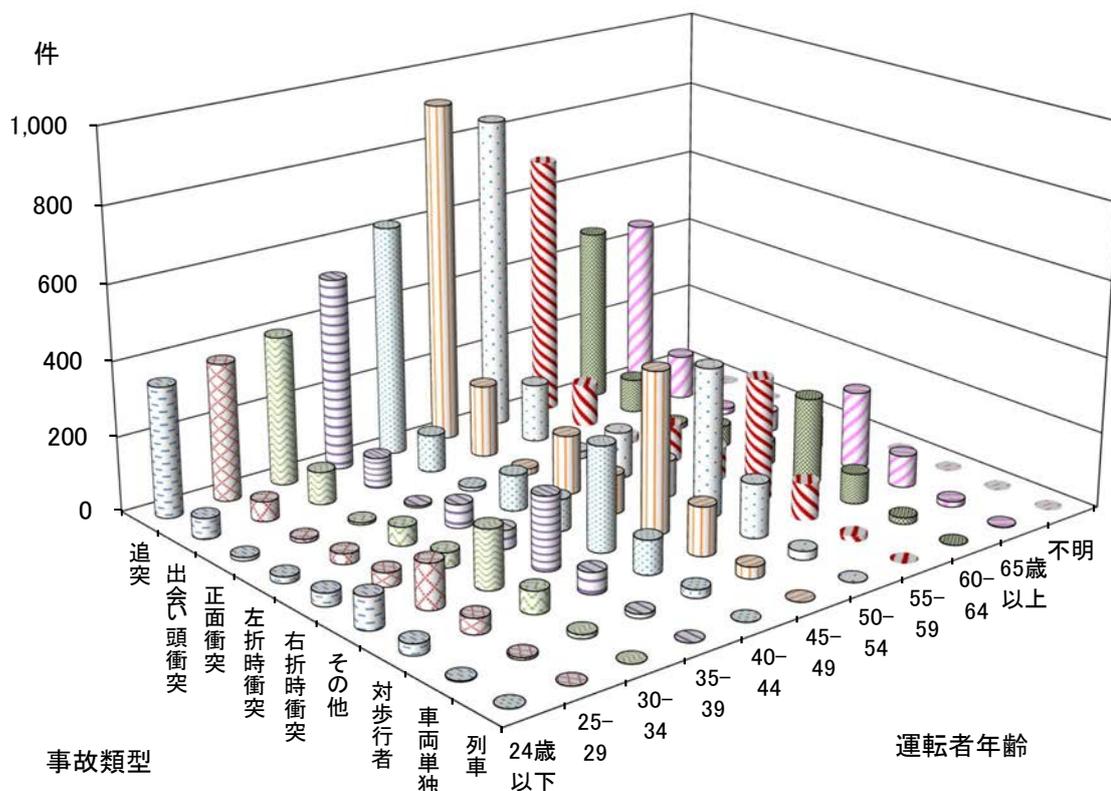


図4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数(令和元年)

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率

令和元年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数の構成率は、車両相互のうち追突では、24歳以下59.9%、25-29歳55.6%となり、35-39歳52.8%、40歳未満での割合が高くなっています。

一方、車両相互のうち出会い頭衝突は、65歳以上11.6%、30-34歳10.7%、45-49歳9.8%となり、同じく左折時衝突は、45-49歳8.0%、40-44歳7.4%となり、さらに同じく右折時衝突は、65歳以上が7.6%、40-44歳6.5%となっています。

また、対歩行者は、65歳以上8.3%、50-54歳8.0%、60-64歳7.9%となっています。

表 4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）

(%)

運転者年齢 事故類型		24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
車両相互	追突	59.9	55.6	49.3	52.8	47.7	46.3	46.7	48.0	46.0	44.2	0.0	48.5
	出会い頭衝突	9.4	8.0	10.7	8.3	7.7	9.8	8.7	7.9	9.0	11.6	0.0	9.1
	正面衝突	1.5	1.4	0.7	0.5	0.7	0.8	1.1	1.2	1.3	1.5	0.0	1.0
	左折時衝突	2.9	4.2	6.2	6.4	7.4	8.0	6.9	6.8	5.5	5.2	0.0	6.4
	右折時衝突	6.0	5.6	4.9	5.1	6.5	5.3	5.4	6.0	5.9	7.6	0.0	5.8
	その他	14.8	18.1	19.5	19.9	21.4	21.7	22.0	22.3	22.8	20.2	0.0	20.9
対歩行者	5.1	6.3	7.3	5.8	7.0	6.6	8.0	6.8	7.9	8.3	0.0	7.0	
車両単独	0.3	0.9	1.4	1.1	1.7	1.6	1.3	1.0	1.0	1.7	1.4	0.0	1.3
列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0

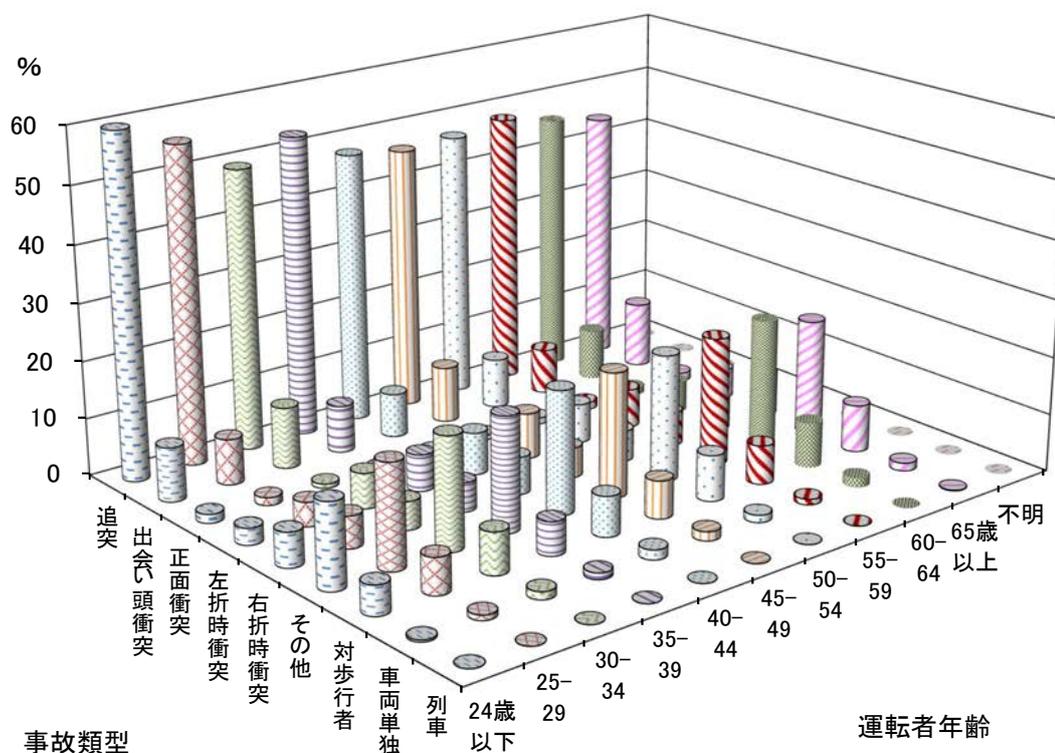


図 4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）

(3) 事業用貨物自動車の運転者年齢層別・第1当事者種別の死傷事故件数

令和元年の運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、45-49歳 959件、50-54歳 821件となっており、中型では、45-49歳 532件、50-54歳 524件、準中型では、45-49歳 400件、50-54歳 363件となり、普通では、50-54歳 96件、45-49歳 87件となっており、どの種別においても45-54歳が多くなっています。

表 4-3 運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

(件)

第1当事者種別 \ 運転者年齢	24歳以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
大型	99	208	286	372	600	959	821	616	431	361	0	4,753
中型	126	179	242	312	364	532	524	478	317	339	0	3,413
準中型	284	223	231	241	274	400	363	285	208	255	0	2,764
普通	74	54	52	54	65	87	96	83	60	74	0	699
合計	583	664	811	979	1,303	1,978	1,804	1,462	1,016	1,029	0	11,629

構成率でみると、大型は、45-49歳で48.5%、40-44歳で46.0%、50-54歳で45.5%と、40代から54歳以下での割合が高く、中型は、65歳以上で32.9%、55-59歳で32.7%となっており、24歳以下を除いてどの年代でも大型と中型でほぼ半数を占めています。

一方、準中型は、24歳以下で48.7%、25-29歳で33.6%、普通は、24歳以下で12.7%と若年層の割合が高くなっています。

このように、第1当事者の種別によって、運転者の年齢層が異なっています。

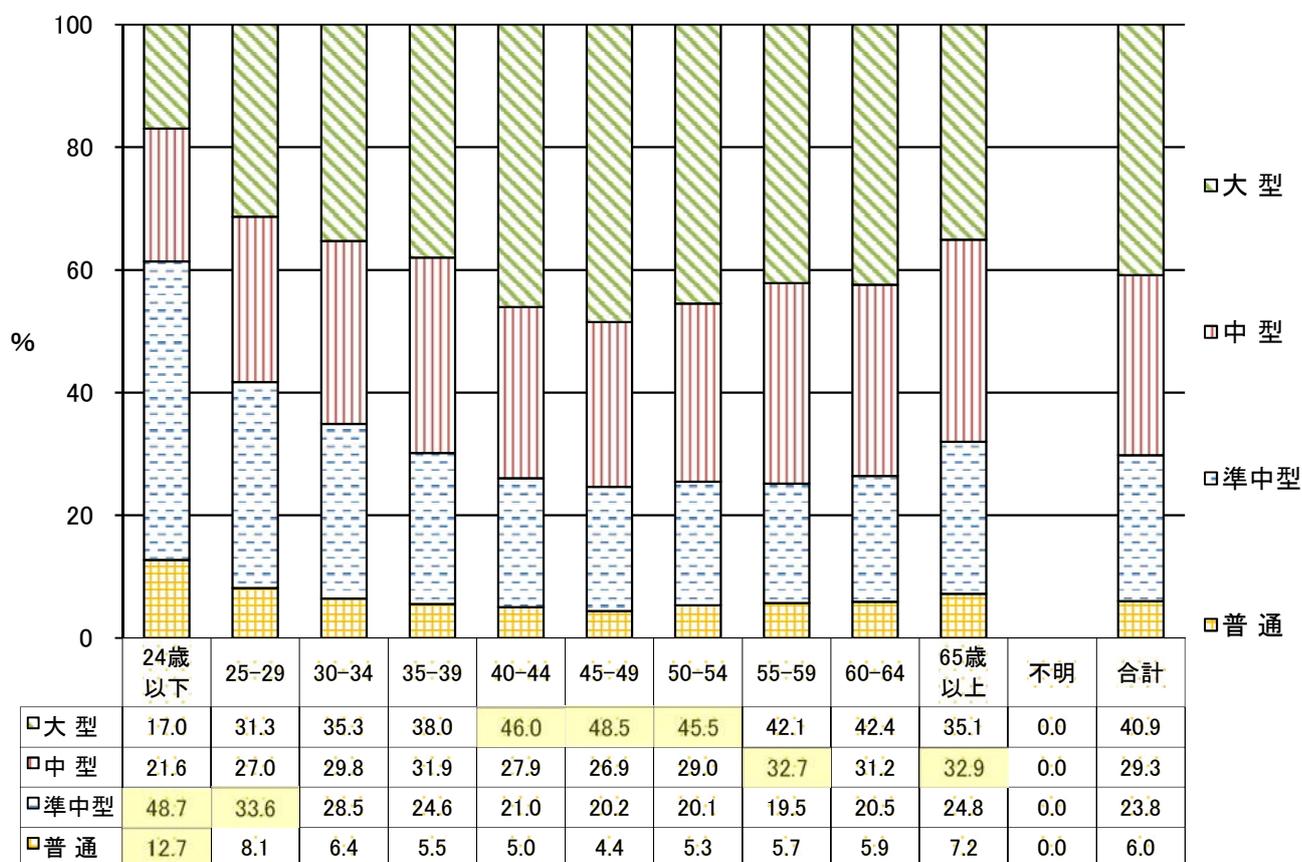


図 4-3 運転者年齢別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率（令和元年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成 22-令和元年）

- ・運転者の年齢別の死傷事故件数は、平成 22 年は 35-39 歳が最も多く、平成 23 年から平成 27 年までの 5 年間は 40-44 歳が、平成 28 年から令和元年の 4 年間は 45-49 歳がそれぞれ最も高くなっています。

表 4-4 運転者年齢別死傷事故件数の推移（平成 22-令和元年）

(件)

運転者年齢 \ 年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
24歳以下	1,242	1,101	930	667	704	715	655	672	707	583
25-29歳	2,082	1,927	1,670	1,338	1,217	1,024	888	801	770	664
30-34歳	2,766	2,439	2,193	1,695	1,634	1,394	1,210	1,110	932	811
35-39歳	3,763	3,524	3,173	2,495	2,132	1,787	1,507	1,377	1,116	979
40-44歳	3,733	3,760	3,786	3,201	3,018	2,637	2,286	2,058	1,712	1,303
45-49歳	3,067	3,027	3,134	2,761	2,830	2,607	2,464	2,443	2,291	1,978
50-54歳	2,518	2,713	2,595	2,153	2,086	2,050	1,803	1,982	2,011	1,804
55-59歳	2,644	2,674	2,448	1,818	1,864	1,678	1,542	1,553	1,550	1,462
60-64歳	2,272	2,428	2,269	1,533	1,457	1,349	1,238	1,190	1,242	1,016
65歳以上	1,365	1,272	1,341	830	859	915	1,007	1,031	1,097	1,029
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428	11,629

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率で見ると、50-54歳は平成22年の9.9%から令和元年の15.5%と、10年間で5.6ポイント増加しています。
- ・一方、40歳未満の年齢層は、平成22年の38.8%から令和元年の26.1%と、10年間で12.7ポイント減少しています。

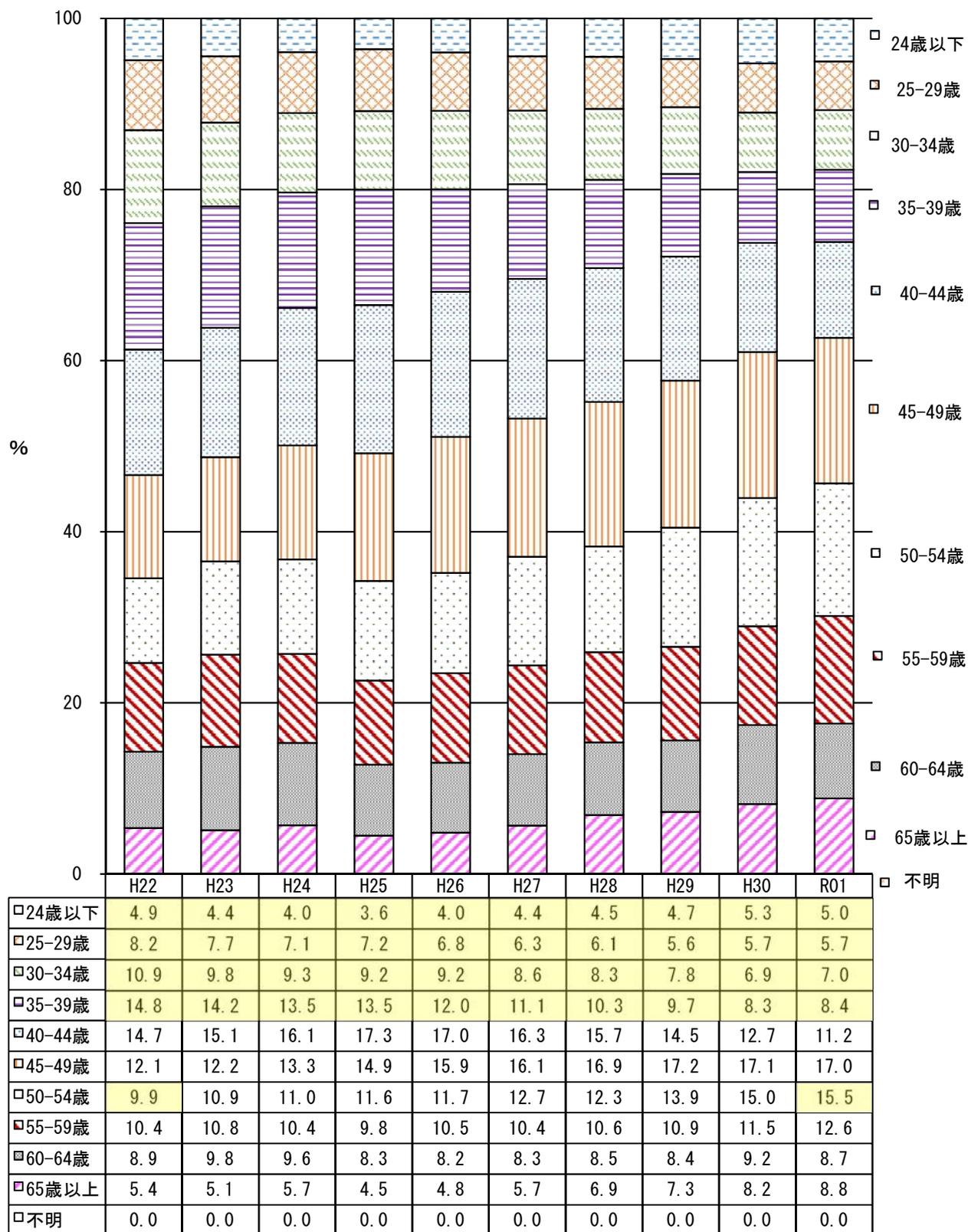


図 4-4 運転者年齢別死傷事故件数構成率の推移（平成22-令和元年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成 22-令和元年）

- ・運転者の年齢別の死亡事故件数は、平成 22 年から平成 23 年までの 2 年間は 35-39 歳が最も多く、平成 24 年から平成 29 年までの 6 年間は 40-44 歳及び 45-49 歳が多くなっており、平成 30 年は 50-54 歳、令和元年は 55-59 歳が多くなっています。また、65 歳以上は、平成 22 年から令和元年まで 13 件から 20 件の間で増減を繰り返しています。

表 4-5 運転者年齢別死亡事故件数の推移（平成 22-令和元年）

(件)

運転者年齢 \ 年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
24歳以下	14	7	12	10	9	8	9	3	5	8
25-29歳	22	27	21	24	16	18	9	11	6	12
30-34歳	45	33	44	29	36	27	19	21	11	16
35-39歳	72	65	49	45	29	36	20	26	22	13
40-44歳	69	57	76	60	65	51	48	35	37	29
45-49歳	53	43	52	63	53	51	43	56	42	41
50-54歳	39	50	40	40	48	40	39	50	53	38
55-59歳	42	40	37	23	28	31	31	34	31	44
60-64歳	32	29	39	36	29	32	20	18	33	18
65歳以上	16	16	18	19	17	14	20	17	13	20
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	404	367	388	349	330	308	258	271	253	239

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

・構成率で見ると、40歳未満の年齢層は、平成22年の37.8%から令和元年の20.4%と、10年間で17.4ポイント減少し、逆に40歳以上はその分増加しています。
特に55-59歳は、令和元年に前年の1.5倍と急増しています。

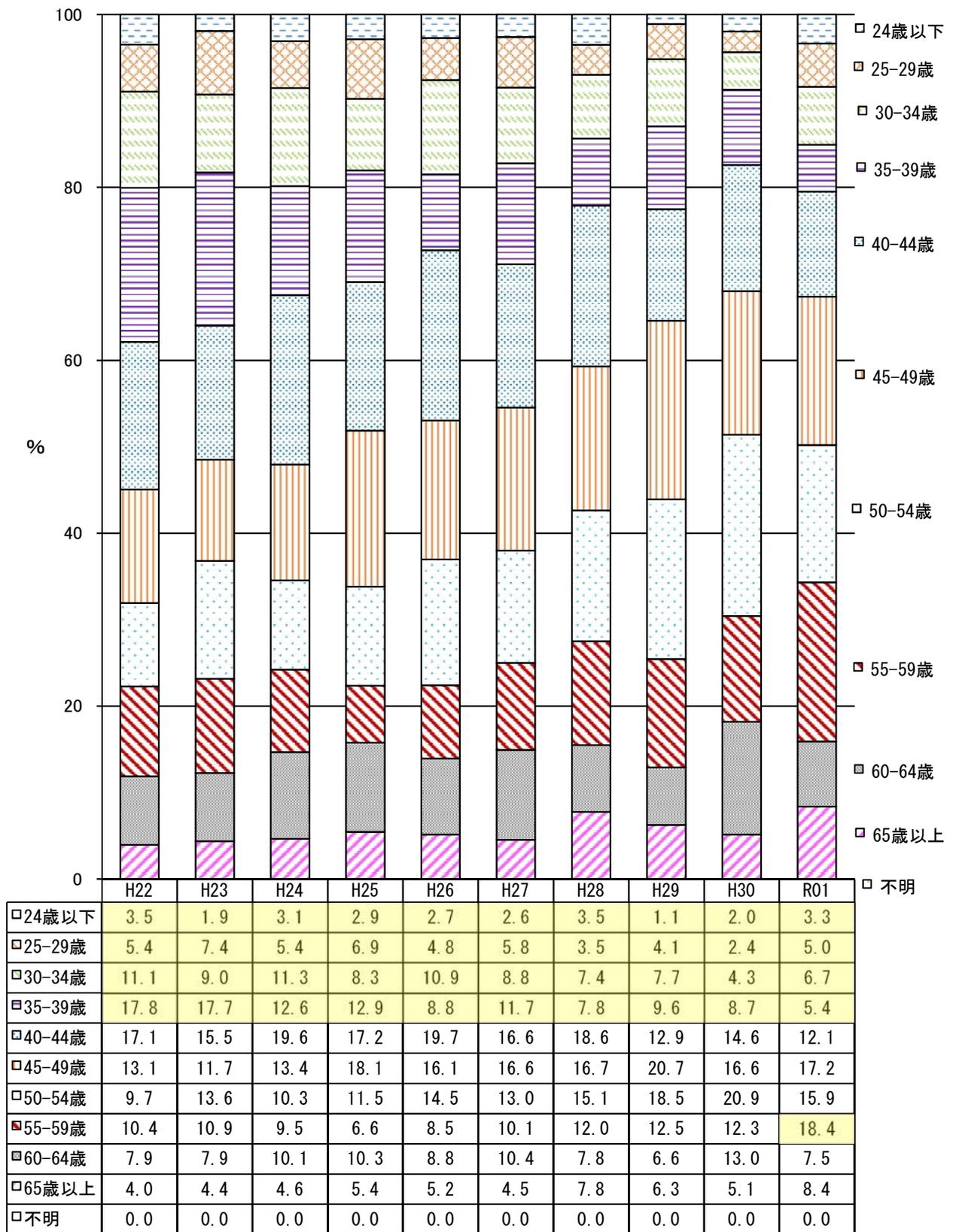


図 4-5 運転者年齢別死亡事故件数構成率の推移（平成22-令和元年）

5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の構成率（令和元年）

令和元年の時間帯別の死傷事故件数及び構成率は、10-11時台 1,997 件（17.2%）、8-9時台 1,988 件（17.1%）、12-13時台 1,475 件（12.7%）となっています。

一方、死亡事故の件数及び構成率は、4-5時台 31 件（13.0%）、10-11時台 29 件（12.1%）、2-3時台 27 件（11.3%）となっています。

また、死亡事故率（死傷事故件数に占める死亡事故件数の割合）は、2-3時台で 9.1%、0-1時台で 8.1%、4-5時台で 5.1%、22-23時台で 4.8%であり、死傷事故全体の死亡事故率（2.1%）と比較して、深夜・早朝の割合が高くなっています。

表 5-1 時間帯別死傷事故件数の構成率（令和元年）

事故種別 時間(2時間毎)	死傷事故		死亡事故		死亡事故率(%) (A/B)
	件数(B)(件)	構成率(%)	件数(A)(件)	構成率(%)	
0-1	297	2.6	24	10.0	8.1
2-3	298	2.6	27	11.3	9.1
4-5	608	5.2	31	13.0	5.1
6-7	1,279	11.0	16	6.7	1.3
8-9	1,988	17.1	22	9.2	1.1
10-11	1,997	17.2	29	12.1	1.5
12-13	1,475	12.7	20	8.4	1.4
14-15	1,389	11.9	14	5.9	1.0
16-17	1,052	9.0	10	4.2	1.0
18-19	578	5.0	20	8.4	3.5
20-21	353	3.0	11	4.6	3.1
22-23	315	2.7	15	6.3	4.8
合計	11,629	100.0	239	100.0	2.1

※ 死亡事故率=死亡事故件数/死傷事故件数×100（小数点第2位切り捨て）

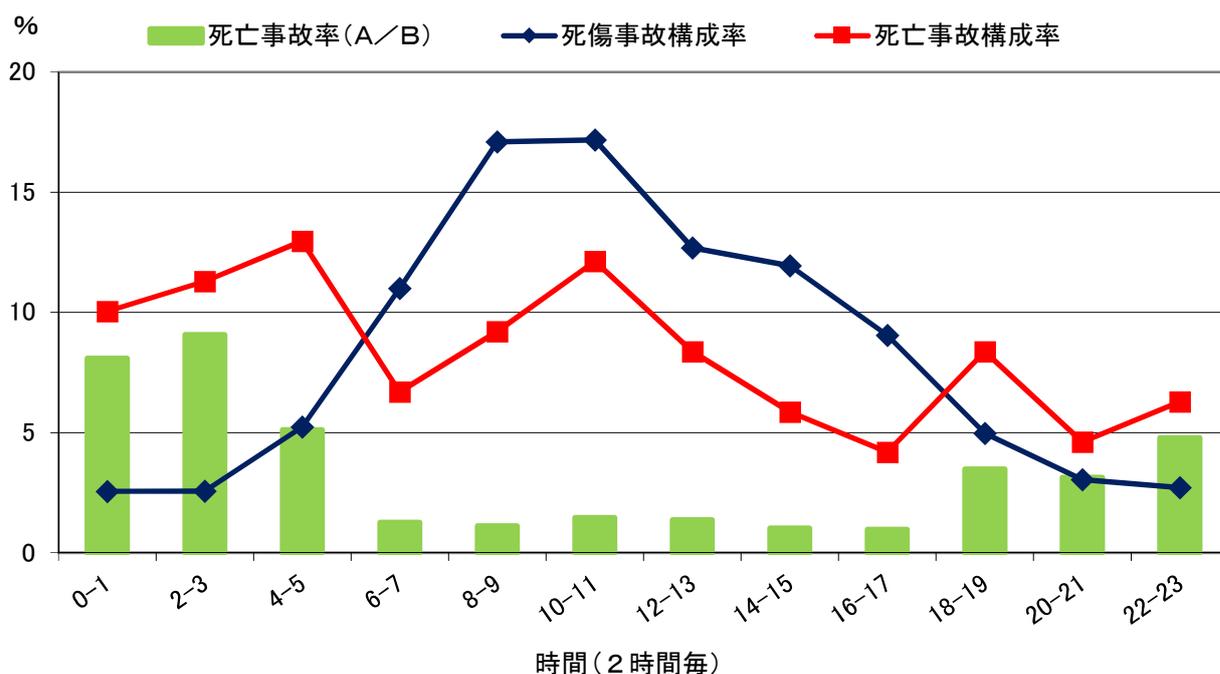


図 5-1 時間帯別死亡事故件数の構成率（令和元年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

令和元年の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10-11時台 843件、8-9時台 762件、12-13時台 556件、14-15時台 554件となっています。

同様に中型では、8-9時台 605件、10-11時台 530件、6-7時台 432件となっています。また、準中型では、8-9時台 508件、10-11時台 489件、12-13時台 402件となっており、普通では、10-11時台 135件、8-9時台 113件、12-13時台 102件となっており、特に8-13時台の昼間の割合が多くなっています。

表 5-2 時間帯別・第1当事者別の死傷事故件数（令和元年）

時間(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
第1当事者種別													
大型	146	129	246	508	762	843	556	554	434	233	182	160	4,753
中型	99	90	216	432	605	530	415	374	263	171	112	106	3,413
準中型	42	66	125	287	508	489	402	361	259	131	51	43	2,764
普通	10	13	21	52	113	135	102	100	96	43	8	6	699
合計	297	298	608	1,279	1,988	1,997	1,475	1,389	1,052	578	353	315	11,629

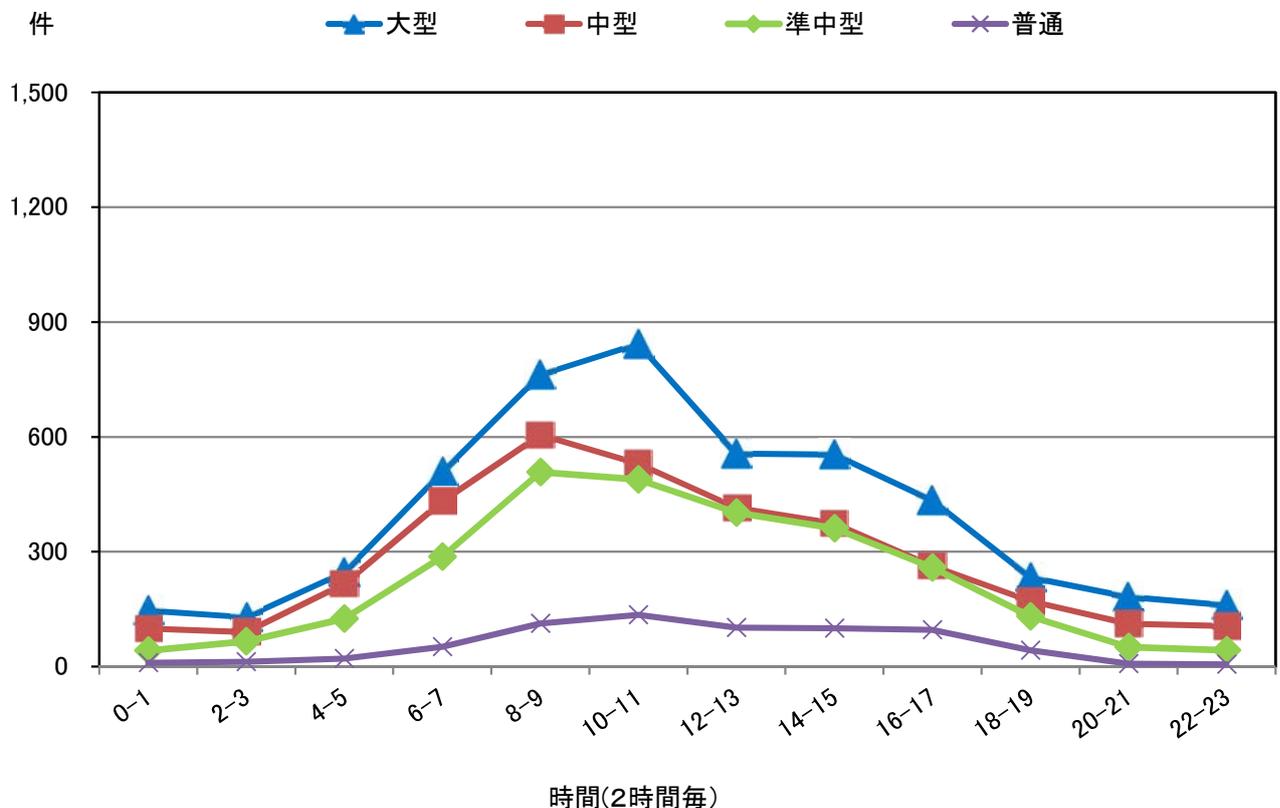


図 5-2 時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

(3) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和元年）

令和元年の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、2-3時台 20件、10-11時台 18件となっています。

同様に中型では、4-5時台 11件、6-7時台 8件となっています。また、準中型では、4-5時台 6件、8-9時台 5件となっています。

全体に、21ページの死傷事故の傾向に比べてバラつきが大きく、特徴的な傾向が見られません。

表 5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和元年）

時間(2時間毎) 第1当事者種別	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
大型	17	20	14	7	16	18	12	8	6	9	7	9	143
中型	6	2	11	8	1	7	4	3	1	7	1	6	57
準中型	1	4	6	0	5	3	4	2	3	3	3	0	34
普通	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	5
合計	24	27	31	16	22	29	20	14	10	20	11	15	239

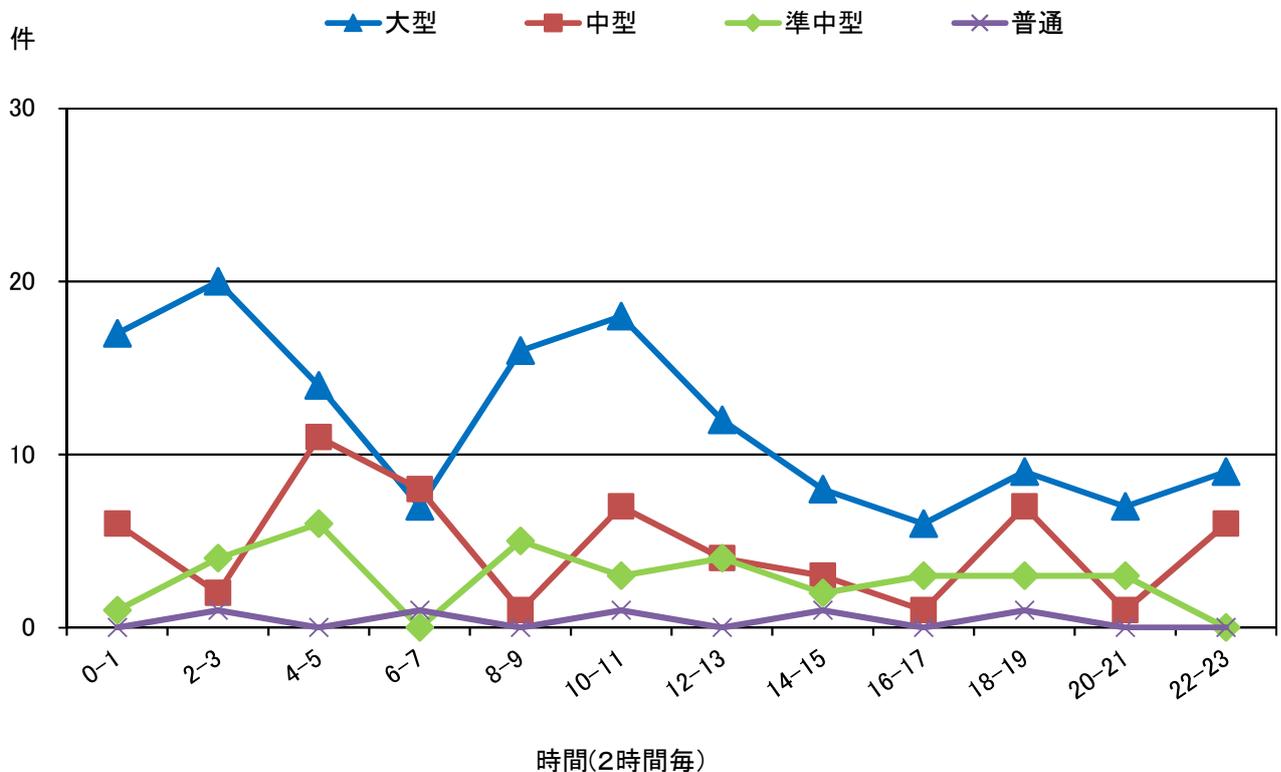


図 5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和元年）

参 考

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の推移（平成 22-令和元年）

- ・時間帯別の死傷事故件数は、平成 22 年から令和元年までの 10 年間、いずれも 10-11 時台が最も多くなっています。
- ・10-11 時台は、平成 22 年の 4,191 件から令和元年は 1,997 件となり、10 年間で半減しています。

表 5-4 時間帯別死傷事故件数の推移（平成 22-令和元年）

年 時間(2時間毎)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
0-1	701	713	652	560	554	488	436	419	379	297
2-3	827	753	720	657	595	561	416	452	414	298
4-5	1,132	1,179	1,140	942	893	818	739	732	670	608
6-7	2,515	2,414	2,392	2,036	1,952	1,770	1,643	1,511	1,530	1,279
8-9	3,808	3,732	3,531	2,848	2,797	2,601	2,395	2,310	2,211	1,988
10-11	4,191	4,060	3,779	3,000	2,882	2,639	2,438	2,388	2,242	1,997
12-13	3,343	3,239	3,036	2,443	2,303	2,049	1,858	1,871	1,763	1,475
14-15	3,121	3,086	2,931	2,265	2,092	1,891	1,730	1,752	1,585	1,389
16-17	2,484	2,398	2,343	1,577	1,647	1,429	1,257	1,225	1,195	1,052
18-19	1,581	1,530	1,459	959	955	923	745	709	655	578
20-21	956	939	880	628	581	536	469	465	421	353
22-23	793	822	676	576	550	451	474	383	363	315
合計	25,452	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428	11,629

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、平成 22 年から令和元年の 10 年間、8-9 時台及び 10-11 時台が増加傾向にあります。
- ・平成 22 年から令和元年の 10 年間では、16-17 時台は、平成 24 年の 10.0%をピークに、平成 29 年まで 8.6%と減少傾向にありましたが、平成 30 年、令和元年に約 9%と微増しています。
- ・一方で、0-1 時台、2-3 時台及び 22-23 時台が、2 から 3%台で微増減するものの、大きな変動は見られません。

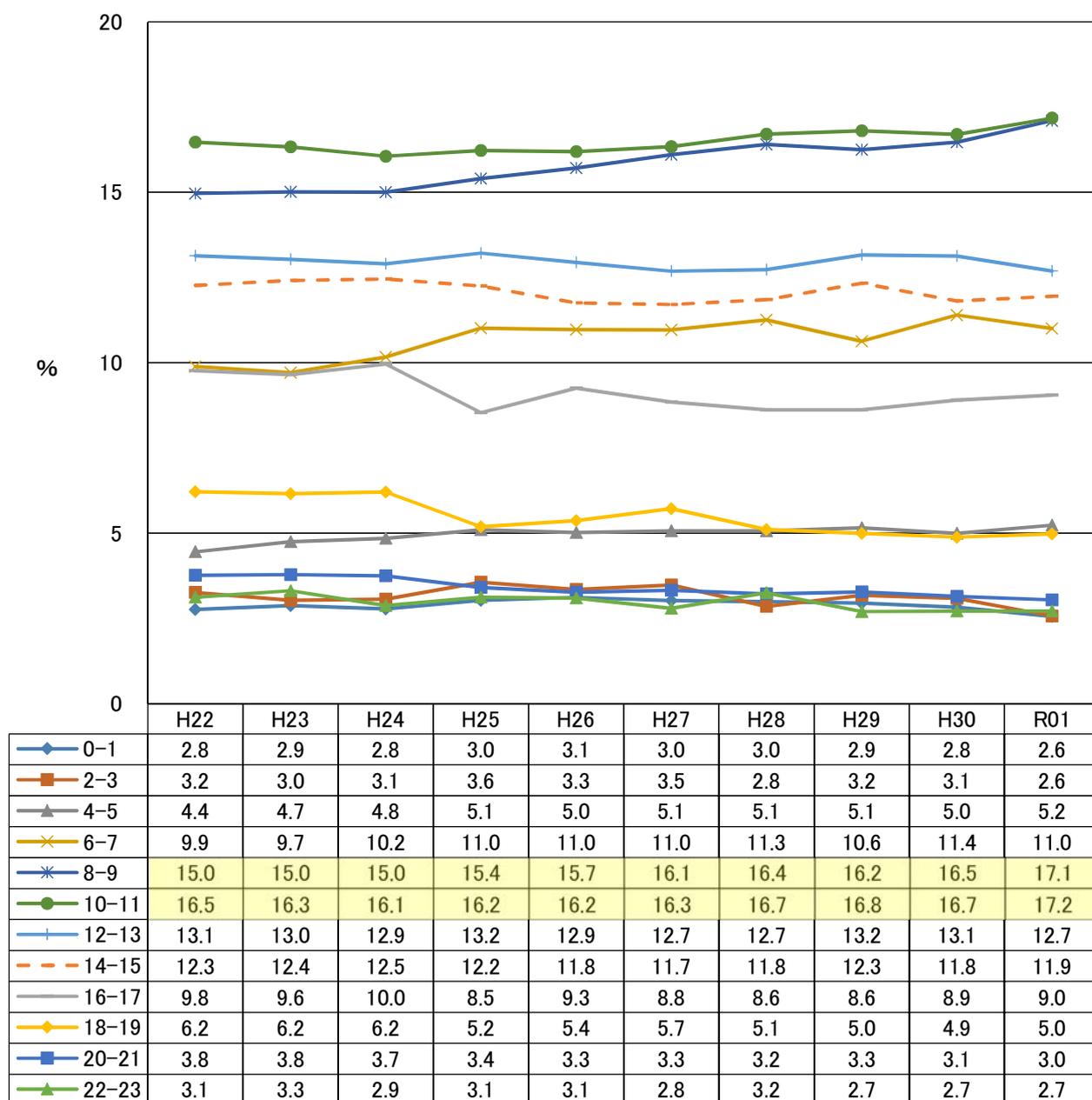


図 5-4 時間帯別死傷事故件数構成率の推移（平成 22-令和元年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故件数の推移（平成 22-令和元年）

- ・時間帯別の死亡事故件数は、平成 22 年から平成 29 年の 8 年間は、4-5 時台が最も多くなっていたいましたが、平成 30 年に 10-11 時台が最も多くなり、令和元年には再び 4-5 時台が最も多くなりました。
- ・4-5 時台は、平成 22 年の 54 件から令和元年には 31 件となり、10 年間で 23 件（42.6%）と、大幅に減少しています。

表 5-5 時間帯別死亡事故件数の推移（平成 22-令和元年）

(件)

年 時間(2時間毎)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
0-1	37	43	34	42	31	33	24	17	26	24
2-3	46	36	53	42	37	41	26	32	26	27
4-5	54	54	67	52	47	43	44	36	30	31
6-7	32	31	23	21	24	25	19	28	28	16
8-9	31	39	24	23	33	27	26	28	21	22
10-11	45	42	43	30	27	28	37	36	36	29
12-13	30	25	26	28	28	20	14	14	18	20
14-15	31	31	27	22	23	19	16	25	10	14
16-17	26	22	20	20	25	20	14	12	24	10
18-19	10	9	22	19	15	15	11	12	7	20
20-21	25	17	21	21	19	19	10	15	11	11
22-23	37	18	28	29	21	18	17	16	16	15
合計	404	367	388	349	330	308	258	271	253	239

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- 構成率で見ると、平成 22 年から令和元年までの 10 年間をとおして 4-5 時台の割合が常に最も高く、11%台から 17%台の間で推移しています。
- 平成 22 年から令和元年までの 10 年間をとおして、0 時-5 時の夜中から早朝時間帯の割合が概して高く、逆に 18-19 時の夕方から夜間時間帯の割合は概して低い傾向にあります。
- 全体に、24 ページの死傷事故の傾向に比べてバラつきが大きくなっています。

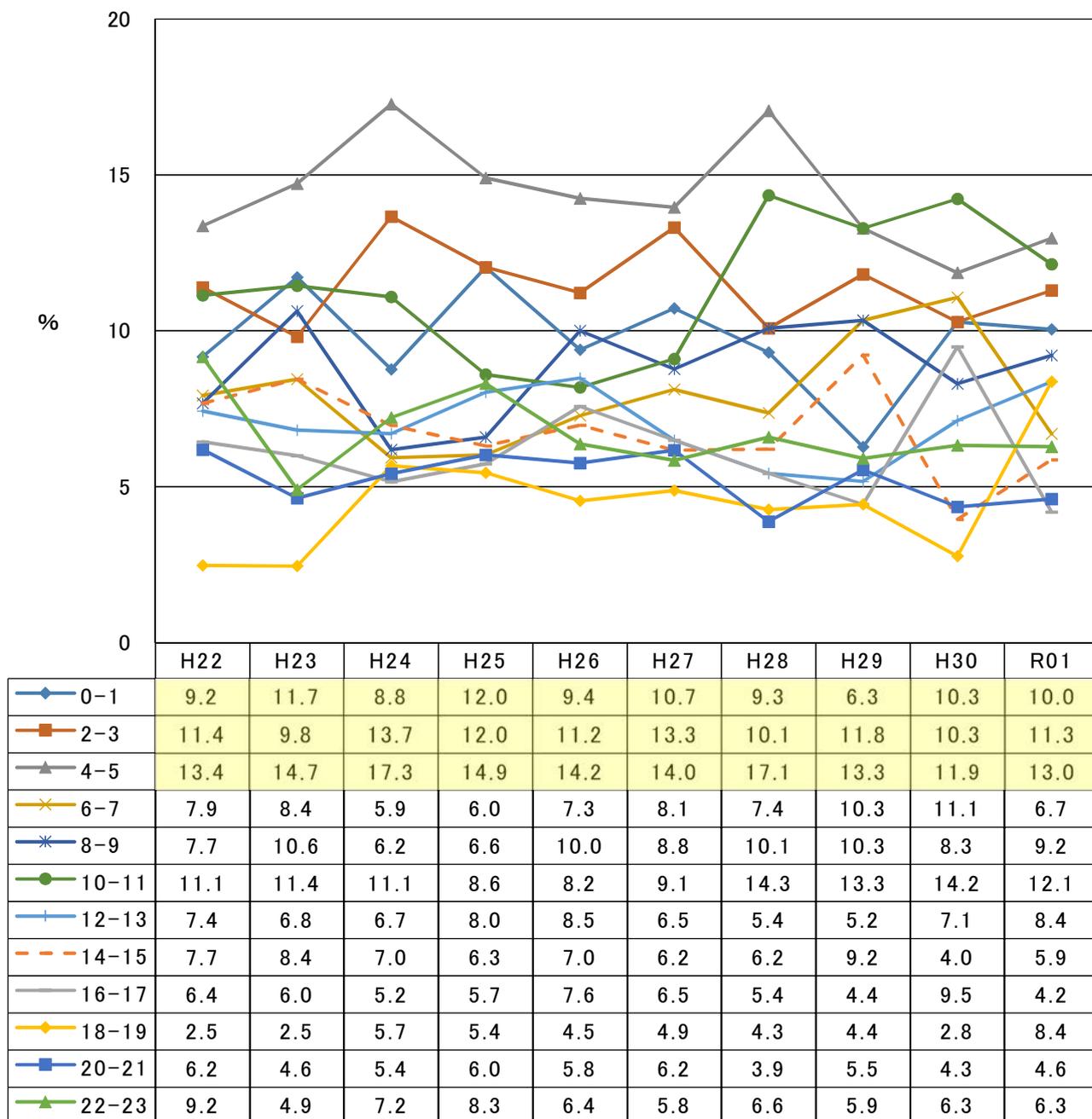


図 5-5 時間帯別死亡事故件数構成率の推移（平成 22-令和元年）

6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

令和元年の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10km/h以下が1,443件、11-20km/h以下が631件、41-50km/h以下が614件となっています。中型では、10km/h以下が988件、31-40km/h以下が514件、11-20km/h以下が498件となっており、準中型では、10km/h以下が962件、11-20km/h以下が545件、31-40km/h以下が422件、普通では、10km/h以下が295件、11-20km/h以下が162件、21-30km/h以下が81件となっています。

概して、20km/h以下の低速での死傷事故が多くなっています。

表 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

速度 第1当事者種別	(件)															合計
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	
大型	1,443	631	397	603	614	522	172	224	117	21	0	0	0	0	9	4,753
中型	988	498	354	514	483	320	96	81	30	32	7	0	0	0	10	3,413
準中型	962	545	367	422	268	132	31	23	6	5	1	0	0	0	2	2,764
普通	295	162	81	71	46	35	5	2	0	2	0	0	0	0	0	699
合計	3,688	1,836	1,199	1,610	1,411	1,009	304	330	153	60	8	0	0	0	21	11,629

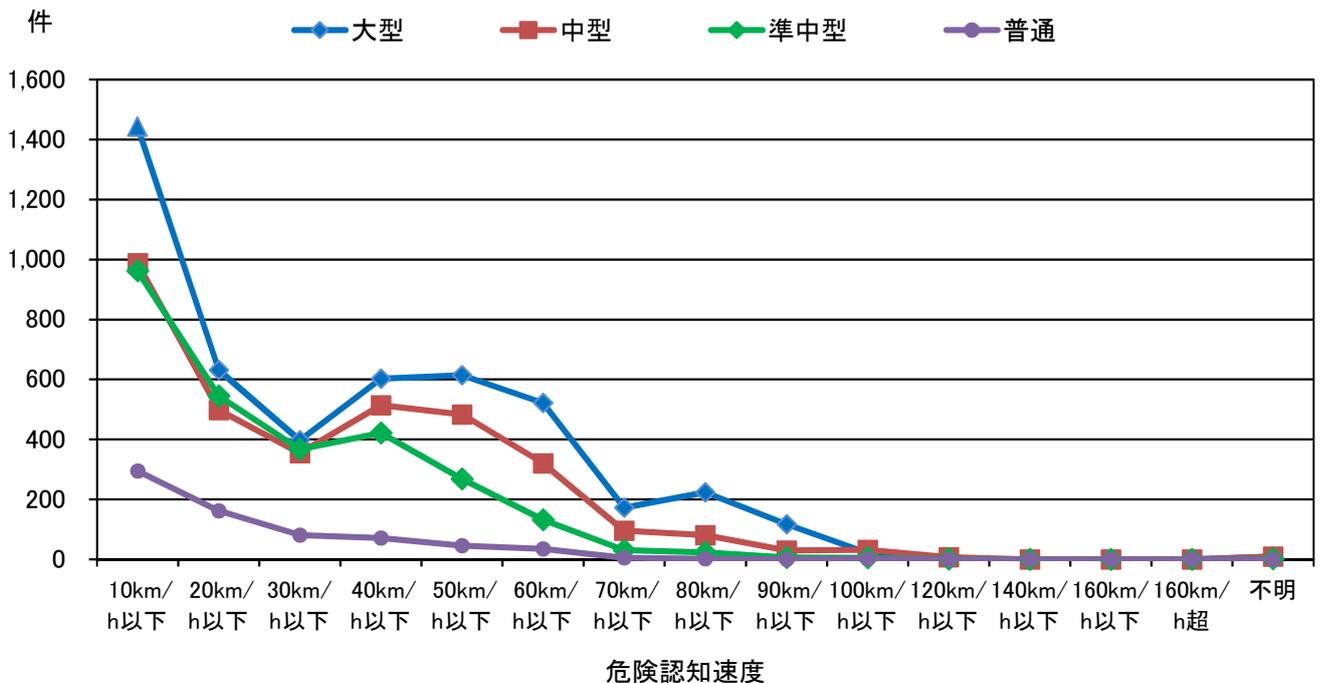


図 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

(2) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和元年）

令和元年の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、10km/h以下、51-60km/h以下が各27件、11-20km/h以下が18件となっています。中型では、51-60km/h以下が16件、41-50km/h以下が9件、11-20km/h以下、61-70km/h以下が各8件となっており、準中型では、51-60km/h以下が9件、11-20km/h以下、31-40km/h以下が各6件、10km/h以下が4件となり、普通では、11-20km/h以下が2件となっています。

概して20km/h以下の低速度と51-60km/hでの死傷事故が多くなっています。

表 6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和元年）

危険認知速度 第1当事者種別	(件)															
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	合計
大型	27	18	10	8	13	27	15	13	9	2	0	0	0	0	1	143
中型	3	8	4	3	9	16	8	2	2	1	0	0	0	0	1	57
準中型	4	6	2	6	3	9	0	2	0	2	0	0	0	0	0	34
普通	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
合計	35	34	16	17	26	52	24	17	11	5	0	0	0	0	2	239

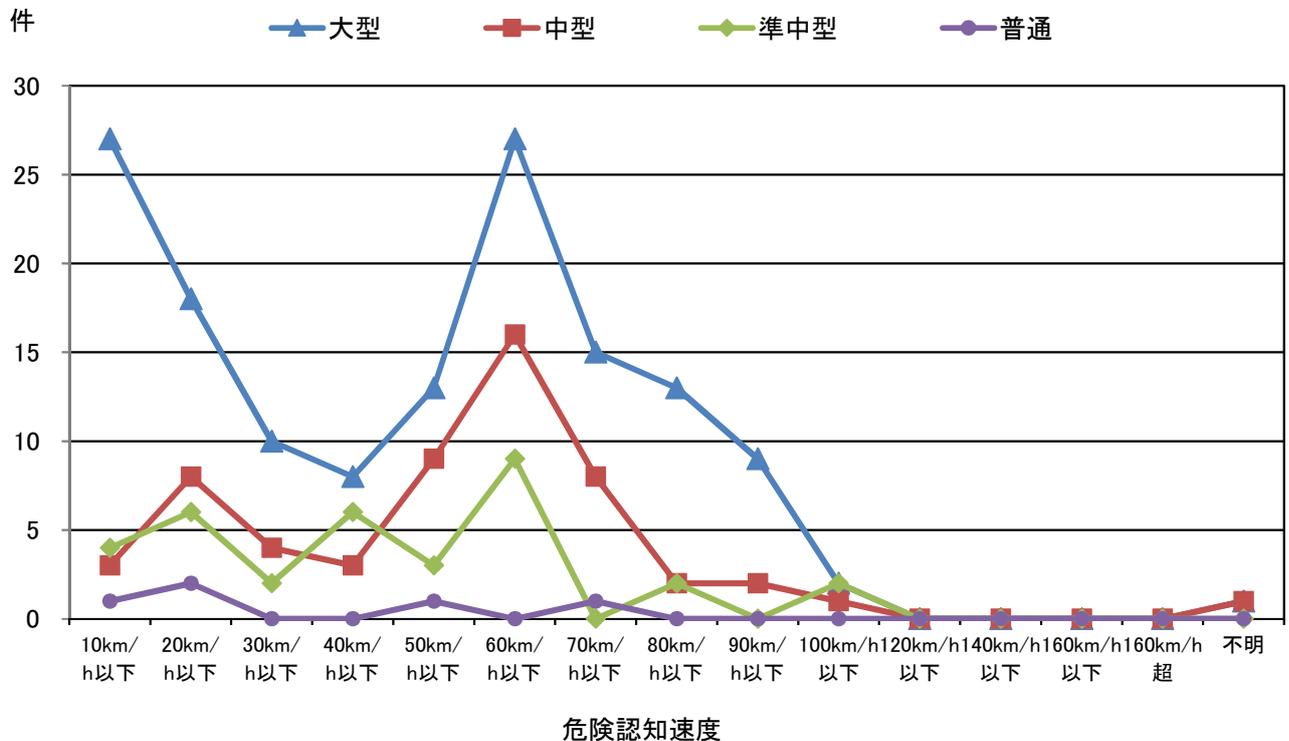


図 6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数（令和元年）

(3) 事業用貨物自動車の危険認知速度別の死亡事故率（令和元年）

令和元年の危険認知速度別の死亡事故率は、91-100km/h以下が8.3%、61-70km/h以下が7.9%、81-90km/h以下が7.2%、51-60km/h以下、71-80km/h以下が各5.2%であり、51km/h以上の速度で死亡事故率が高くなっています。

表 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（令和元年）

事故種別	速度												不明	合計
	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	100km/h超			
死傷事故件数(件)	3,688	1,836	1,199	1,610	1,411	1,009	304	330	153	60	8	21	11,629	
死亡事故件数(件)	35	34	16	17	26	52	24	17	11	5	0	2	239	
死亡事故率(%)	0.9	1.9	1.3	1.1	1.8	5.2	7.9	5.2	7.2	8.3	0.0	9.5	2.1	

※ 死亡事故率=死亡事故件数/事故件数×100

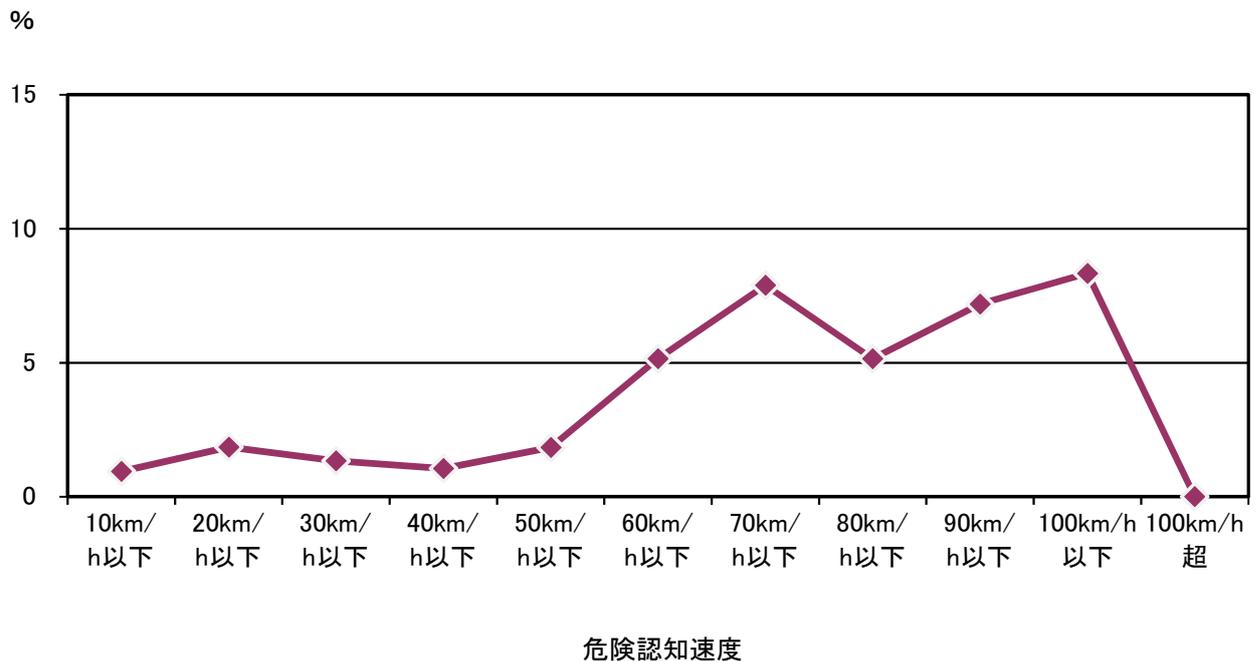


図 6-3 危険認知速度別の死亡事故率（令和元年）

7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（令和元年）

令和元年の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数は、10km/h以下の低速では10-11時台が253件、8-9時台が245件、14-15時台が183件、12-13時台が177件と昼間の時間帯での事故が多くなっており、31-50km/hの速度帯でも同様の傾向となっています。

表 7-1 時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数（令和元年）

(件)

時間(2時間毎) 危険認知速度	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	8	7	29	154	245	253	177	183	130	57	24	13	1,280
20km/h以下	4	9	27	84	107	131	99	83	73	19	9	10	655
30km/h以下	6	13	23	77	113	119	114	98	69	28	10	11	681
40km/h以下	25	26	34	114	172	179	149	153	78	47	22	20	1,019
50km/h以下	25	26	50	100	156	159	120	89	64	33	32	32	886
60km/h以下	25	23	34	52	86	106	81	78	55	22	18	28	608
70km/h以下	8	6	10	16	22	28	16	30	14	7	11	6	174
80km/h以下	15	12	14	14	25	22	17	21	15	9	6	14	184
90km/h以下	8	12	14	5	4	4	8	9	5	3	11	10	93
100km/h以下	3	7	4	4	6	3	2	3	3	1	5	5	46
120km/h以下	0	0	2	1	0	0	1	1	0	1	0	1	7
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	6
合計	127	141	243	621	936	1,005	785	748	506	228	149	150	5,639

構成率で見ると、6-19 時台では 10km/h以下の低速度の割合が高く、一方、0-5 時の深夜帯は 41-60km/h以下の割合が高くなっています。

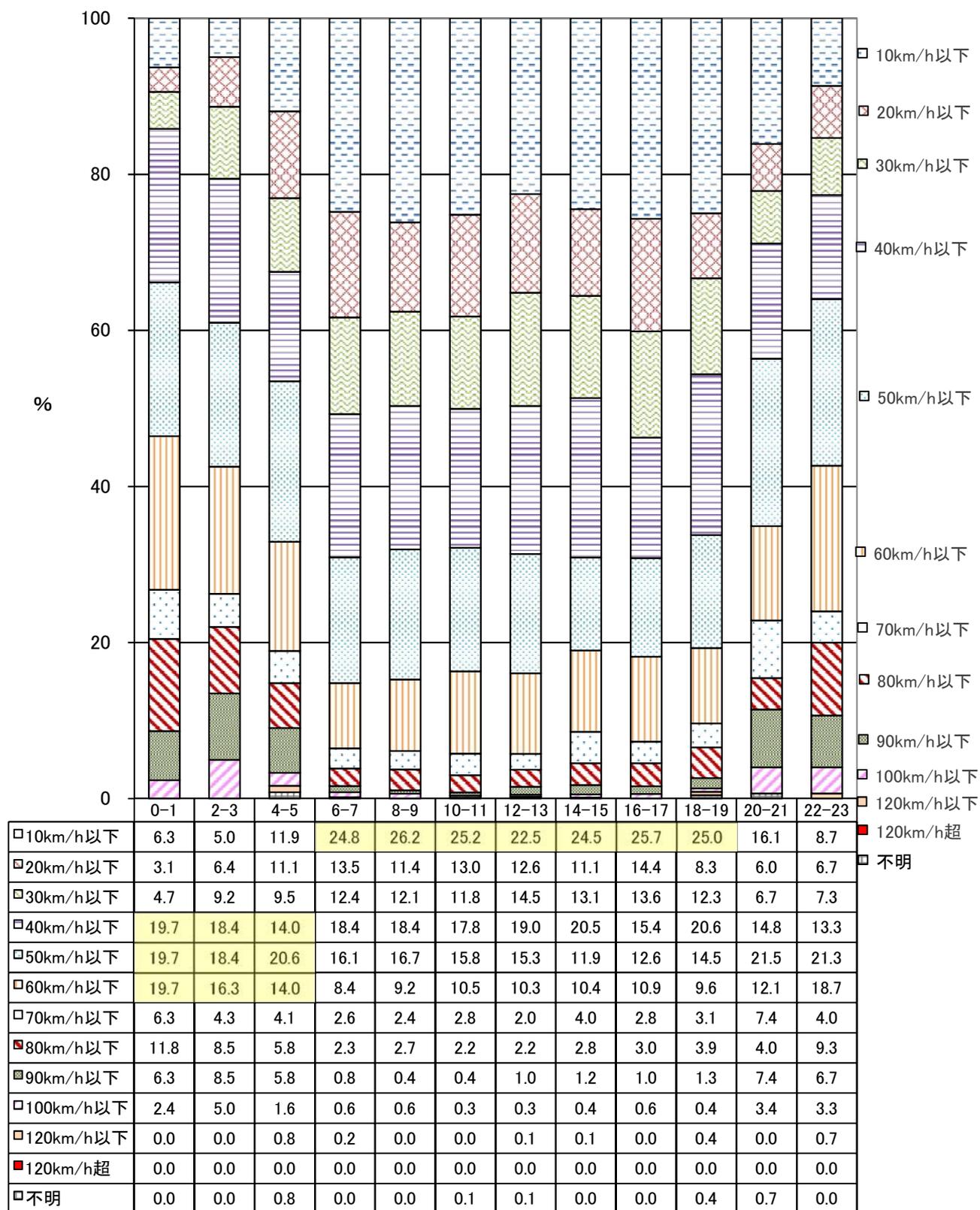


図 7-1 時間帯別・危険認知速度別追突死傷事故件数の構成率（令和元年）

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（令和元年）

令和元年の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数は、22-23 時台・51-60km/h以下の3件が最も多い状況になっています。

表 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（令和元年）

(件)

危険認知速度 \ 時間帯(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
20km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30km/h以下	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
40km/h以下	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	5
50km/h以下	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
60km/h以下	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	3	9
70km/h以下	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
80km/h以下	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	6
90km/h以下	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	6
100km/h以下	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	5	5	3	4	1	4	1	0	2	4	5	37

構成率でみると、2-3 時台では 71-80km/h以下（計 60%）に、4-5 時台では 71-90km/h以下（計 60.0%）に、6-7 時台では 81-90km/h以下（計 66.6%）に、10-11 時台では 51-60km/h以下（100%）に、12-13 時台では 81-100km/h以下（計 75%）に、14-15 時台では 31-40km/h以下（100%）に、22-23 時台では 61-90km/h以下（計 100%）が多くなっています。

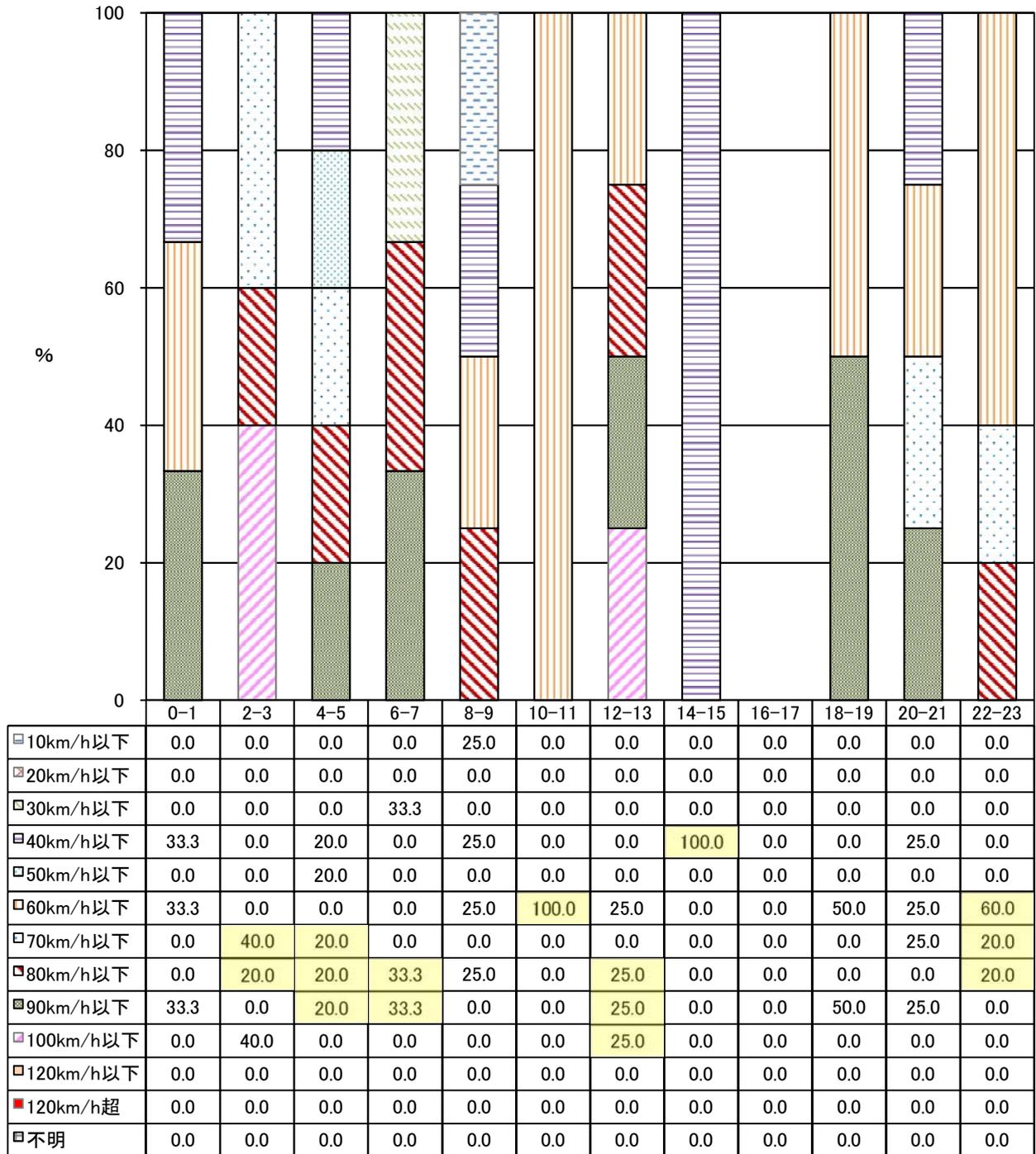


図 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数（令和元年）

8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況

令和元年の行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、直進（等速）1,943件、発進639件、左折431件となっています。中型では、直進（等速）1,676件、発進413件、直進（減速）309件となっており、準中型では、直進（等速）1,255件、発進288件、直進（減速）282件、普通では、直進（等速）265件、発進112件、左折時（その他）85件となっています。

いずれの種別でも、直進（等速）が最も多く、次に発進が多くなっています。

表8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

(件)

行動類型 第1当事者種別	発進	直進 加速	直進 等速	直進 減速	追越・ 追抜	進路変 更右に	進路変 更左に	左折	右折時 専用車 線利用	右折時 その他	転回	後退	横断	蛇行	急停止	停止	駐車 (運転者 在)	その他	合計
大型	639	48	1,943	376	100	231	383	431	124	219	20	193	13	0	4	13	0	16	4,753
中型	413	40	1,676	309	76	95	74	214	84	211	16	168	9	1	2	17	0	8	3,413
準中型	288	43	1,255	282	29	47	48	215	54	226	18	175	12	1	0	45	5	21	2,764
普通	112	11	265	72	3	14	12	47	13	85	10	39	2	0	0	11	0	3	699
合計	1,452	142	5,139	1,039	208	387	517	907	275	741	64	575	36	2	6	86	5	48	11,629

構成率でみると、大型では、直進（等速）40.9%、発進13.4%、左折9.1%、進路変更（左に）8.1%となっています。中型では、直進（等速）49.1%、発進12.1%、直進（減速）9.1%となっており、準中型では、直進（等速）45.4%、発進10.4%、直進（減速）10.2%、右折時（その他）8.2%、となっており、普通では、直進（等速）37.9%、発進16.0%、右折時（その他）12.2%、直進（減速）10.3%となっています。

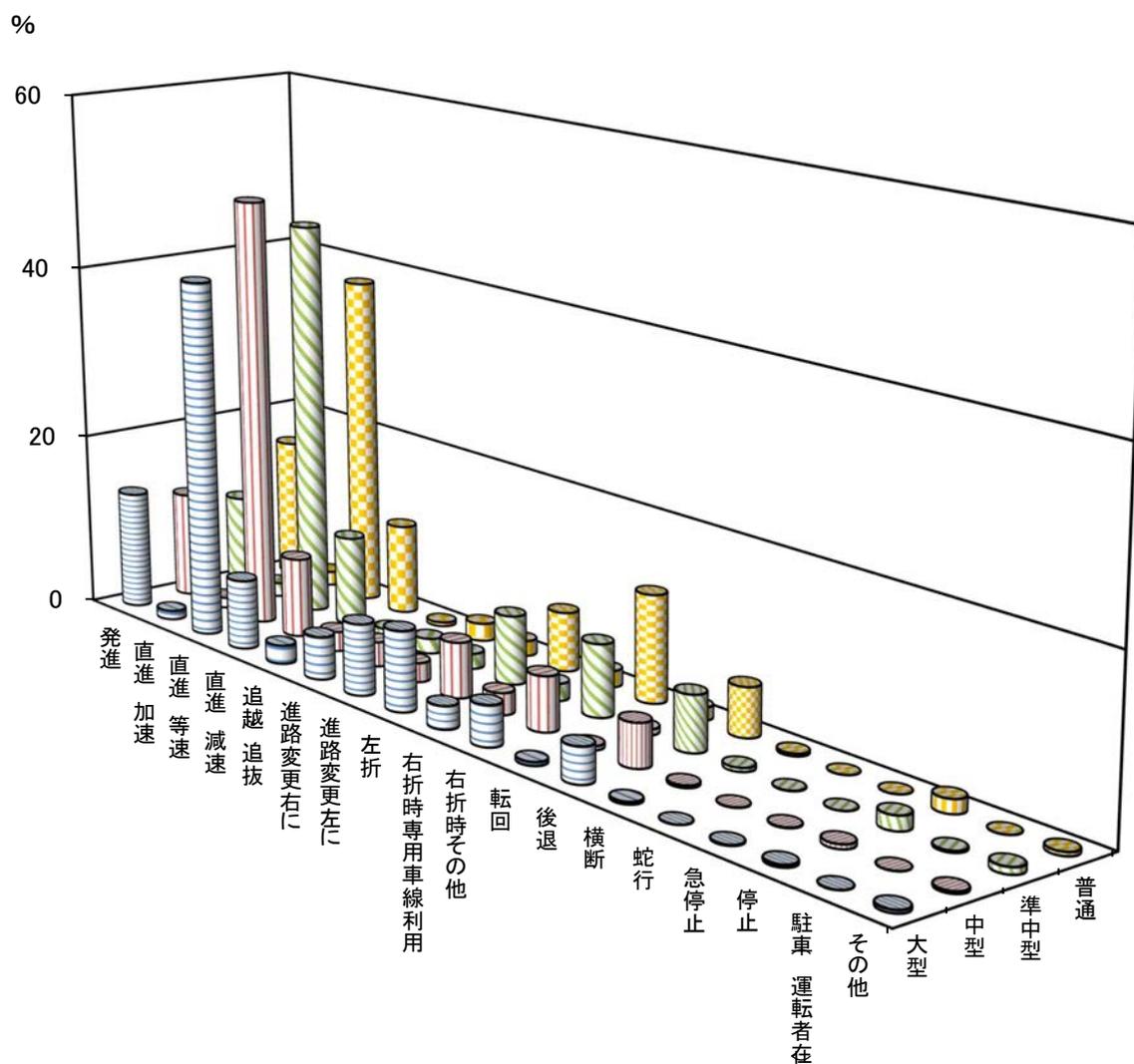


図8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数の構成率（令和元年）

9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況

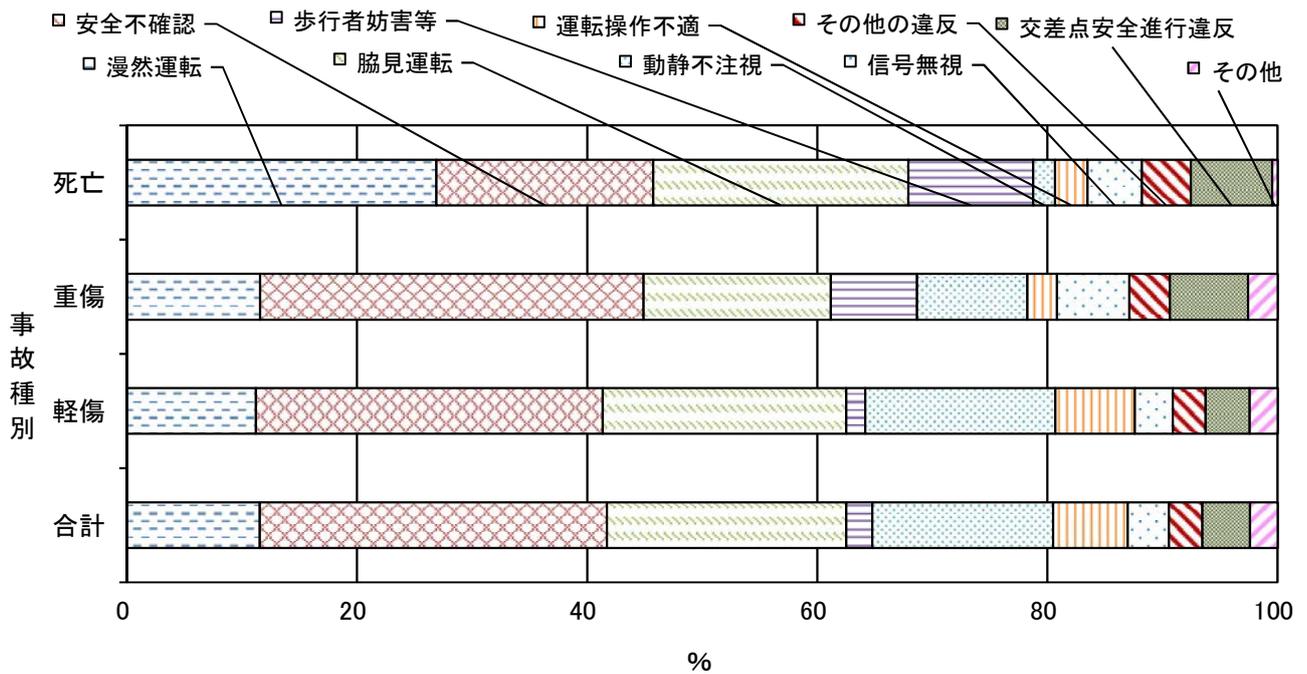
令和元年の法令違反（事故の結果に最も影響を与えている違反であって、無免許運転、無資格運転及び酒気帯び運転以外の違反）別の死傷事故件数及び構成率は、全体では、安全不確認 3,282 件（28.2%）、脇見運転 2,262 件（19.5%）、動静不注視 1,707 件（14.7%）となっています。

一方、死亡事故では、漫然運転 57 件（23.8%）、脇見運転 47 件（19.7%）、安全不確認 40 件（16.7%）となっています。

また、重傷事故では、安全不確認 285 件（29.5%）、脇見運転 139 件（14.4%）、漫然運転 99 件（10.2%）となっており、軽傷事故では、安全不確認 2,957 件（28.4%）、脇見運転 2,076 件（19.9%）、動静不注視 1,621 件（15.6%）となっています。

表 9-1 法令違反別の死傷事故件数及び構成率（令和元年）

法令違反 事故類型	死亡事故件数		重傷事故件数		軽傷事故件数		合 計		
	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	
信号無視	10	4	54	6	325	3	389	3	
通行区分違反	3	1	10	1	44	0	57	0	
最高速度違反	1	0	3	0	8	0	12	0	
横断・転回等違反	3	1	8	1	84	1	95	1	
車間距離不保持	0	0	4	0	76	1	80	1	
追越し禁止違反	2	1	19	2	50	0	71	1	
踏切不停止	1	0	0	0	0	0	1	0	
右折違反	0	0	4	0	21	0	25	0	
左折違反	0	0	11	1	65	1	76	1	
環状交差点違反	0	0	0	0	0	0	0	0	
優先通行妨害	2	1	20	2	92	1	114	1	
交差点安全進行違反	15	6	58	6	377	4	450	4	
歩行者妨害等	23	10	64	7	162	2	249	2	
徐行違反	1	0	6	1	23	0	30	0	
一時不停止	3	1	10	1	84	1	97	1	
整備不良	1	0	2	0	6	0	9	0	
酒酔い運転	0	0	1	0	0	0	1	0	
過労等	薬物運転	0	0	0	0	0	0	0	0
	過労運転	4	2	2	0	6	0	12	0
安全運転義務違反	運転操作不適	6	3	22	2	679	7	707	6
	漫然運転	57	24	99	10	1,100	11	1,256	11
	脇見運転	47	20	139	14	2,076	20	2,262	19
	動静不注視	4	2	82	8	1,621	16	1,707	15
	安全不確認	40	17	285	29	2,957	28	3,282	28
	安全速度違反	4	2	11	1	46	0	61	1
	その他	1	0	22	2	237	2	260	2
その他の違反	9	4	30	3	278	3	317	3	
不明	2	1	1	0	6	0	9	0	
合 計	239	100	967	100	10,423	100	11,629	100	



※ 構成率については、死亡事故件数の多い9項目及びその他とする。

図9-1 法令違反別死傷事故件数の構成率 (令和元年)

(参考)

主な用語の意味

用語	意味
漫然運転	脇見運転ではないが、運転中に“運転以外のことを考えていた”、“ぼんやりしていた”、“ラジオ放送に聞き入っていた”等のために注意の的がはずれ、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
脇見運転	風景、案内標識、他車や歩行者等の動静を見ていた等、前方の交通環境を認識せず運転し、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
動静不注視	相手当事者を発見(認識)したが、危険でないと思って注視を怠り、又は相手が譲ってくれる(避けてくれる)ものと思い込んで注視を怠り、事故を発生させた場合等をいいます。
安全不確認	前方、後方、側方の確認が可能な速度に減速したが、確認を十分に行われなかったために、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。

参 考

事業用貨物自動車の主な法令違反別死亡事故の推移（平成 22-令和元年）

- ・死亡事故において多い法令違反 3 項目では、漫然運転は、平成 22 年に 103 件と大きく増加したものの、平成 25 年以降はおおむね減少傾向にあり、令和元年は 57 件と、平成 22 年から半減しています。
- ・脇見運転は、平成 24 年の 75 件をピークに平成 28 年までは減少していましたが、平成 29 年から増加傾向に転じています。
- ・安全不確認は、大きな減少傾向がみられず、令和元年は前年の 51 件と比べて 40 件と、大きく減少しています。

表 9-2 法令違反別死亡事故件数の推移（平成 22-令和元年）

法令違反	(件)										
	年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
漫然運転		103	76	77	88	78	63	57	58	50	57
脇見運転		74	63	75	56	51	55	35	41	41	47
安全不確認		53	50	48	50	40	49	40	36	51	40
合計		404	367	388	349	330	308	258	271	253	239

※ 平成 24 年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率で見ると、漫然運転は、平成 22 年と平成 25 年に 25%を超えたものの、令和元年は 24%を下回っています。脇見運転は、平成 25 年から平成 30 年まで、おおむね 16%前後だったものの、令和元年は大きく増加し 19%を超えています。さらに、安全不確認は、平成 22 年から平成 29 年まではおおむね 14%程度だったものの、平成 30 年は大きく増加し 20%を超えていましたが、令和元年は 16%台に減少しました。

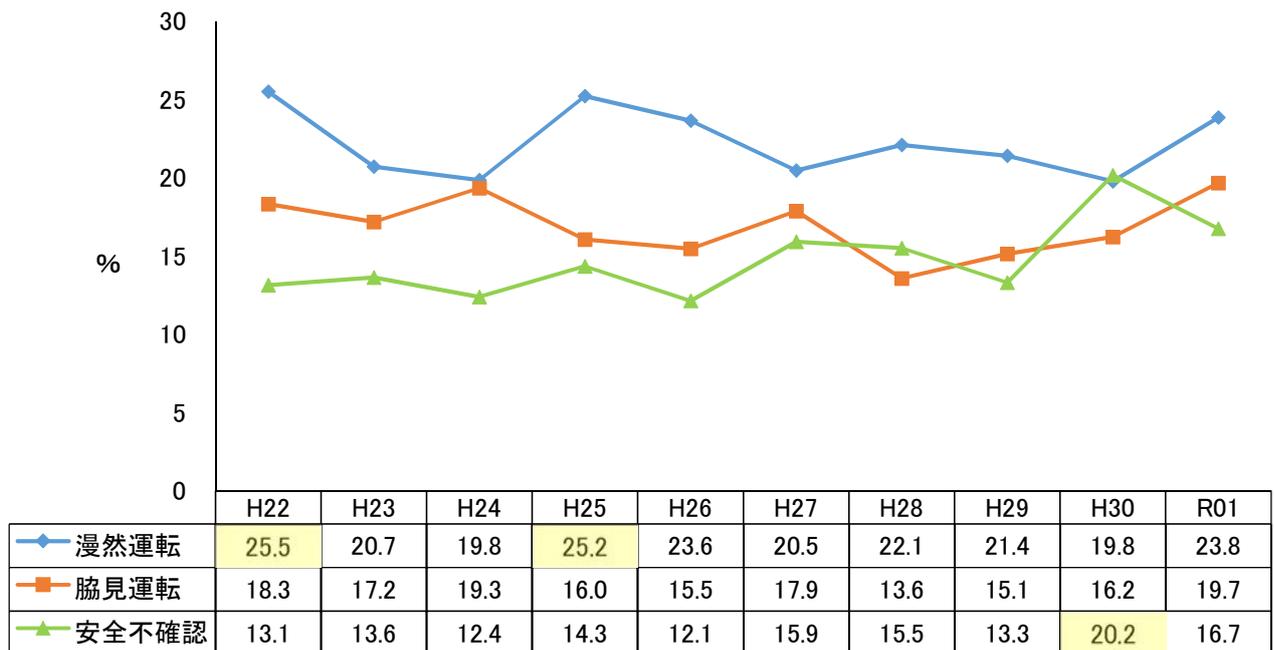


図 9-2 法令違反別死亡事故件数構成率の推移（平成 22-令和元年）

10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数（令和元年）

令和元年の飲酒運転による死傷事故は28件で、うち、死亡事故5件（17.9%）、重傷事故3件（10.7%）、軽傷事故20件（71.4%）となっています。

飲酒基準別では、酒酔い2件、酒気帯び(0.25以上)16件、酒気帯び(0.25未満)5件、基準以下5件となり、酒酔いと酒気帯び(0.25以上)を合わせると全体の64.2%を占めています。

表 10-1 飲酒運転による死傷事故件数及び構成率（令和元年）

事故内容	飲酒基準					合計	構成率(%)	(参考)	
	酒酔い	酒気帯び (0.25以上)	酒気帯び (0.25未満)	基準 以下	検知 不能			飲酒なし等 件数	構成率(%)
死亡(件)	0	4	1	0	0	5	17.9	234	2.0
重傷(件)	1	0	0	2	0	3	10.7	964	8.3
軽傷(件)	1	12	4	3	0	20	71.4	10,403	89.7
合計	2	16	5	5	0	28	100.0	11,601	100.0
構成率(%)	7.1	57.1	17.9	17.9	0.0	100.0			

※ 「酒気帯び」欄の数値は、呼気中のアルコール濃度（mg/l）を示す。

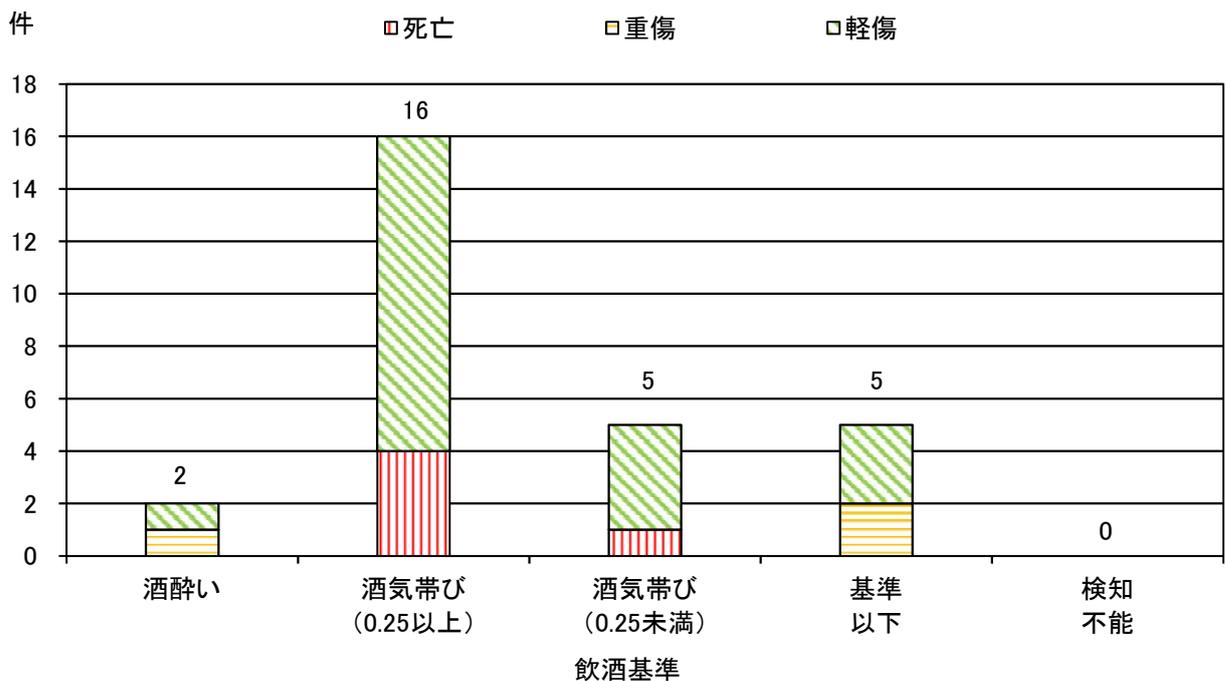


図 10-1 飲酒運転による死傷事故件数（令和元年）

(2) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 22-令和元年）

飲酒運転事故による死傷事故件数は、平成 22 年の 34 件に比べて令和元年には 28 件となり、10 年間で見ると 6 件（17.6%）減少しています。しかし、依然として飲酒運転による事故件数 0 件には厳しい状況です。

表 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 22-令和元年）

飲酒基準	年									
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
酒酔い	1	0	3	2	3	3	3	1	0	2
酒気帯び(0.25以上)	22	14	8	15	15	14	23	13	12	16
酒気帯び(0.25未満)	7	6	3	7	3	4	5	4	3	5
基準以下	4	14	10	8	8	12	6	10	5	5
検知不能	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	34	35	24	32	30	33	37	28	20	28

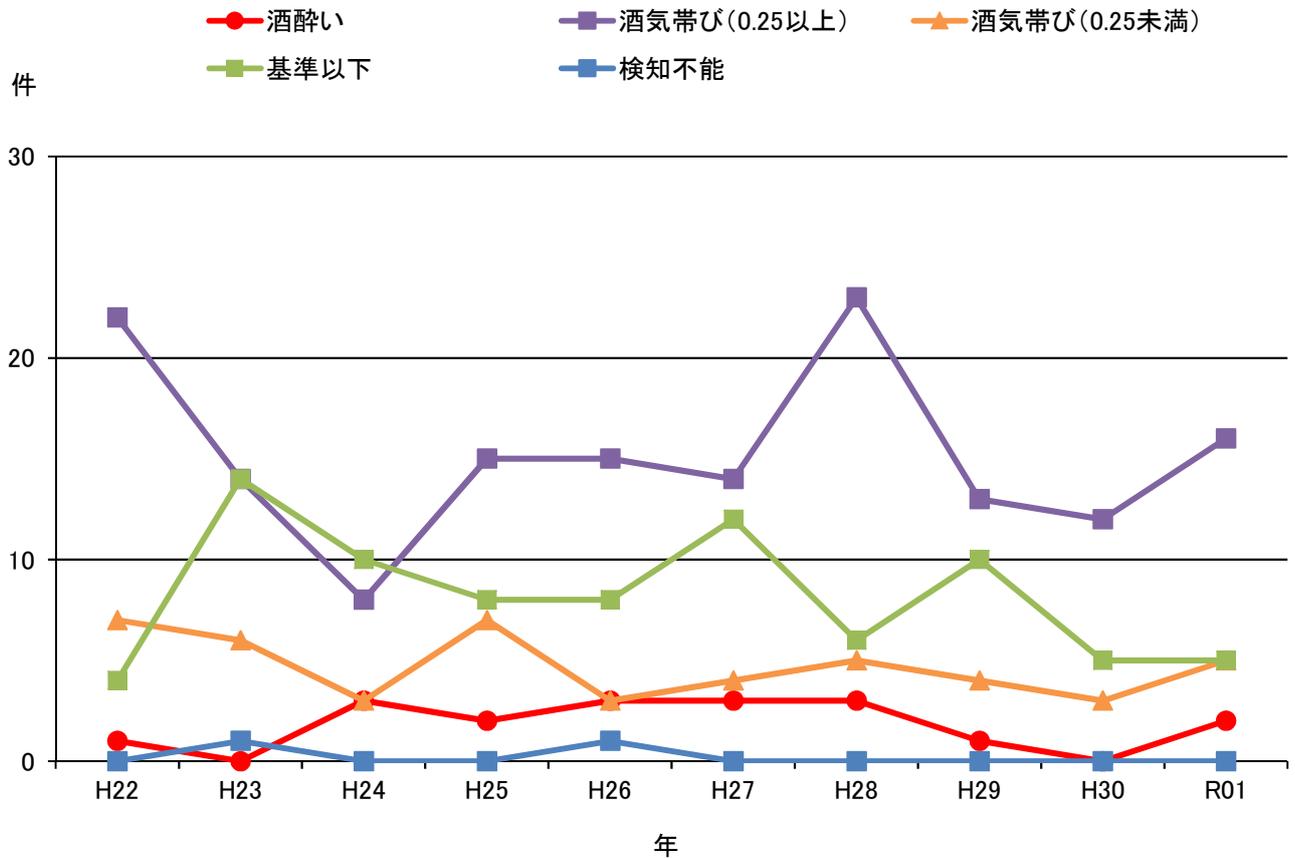


図 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成 22-令和元年）

(3) 事業用貨物自動車の管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移

管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数は、平成22年から令和元年までの10年間の合計で、大阪29件、東京20件、福岡17件、北海道15件、愛知及び兵庫14件、千葉及び埼玉12件、茨城11件、神奈川10件となっています。

表10-3 管轄運輸支局（車籍）別の飲酒運転による死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

年 車籍	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	H22-R01
北海道	2	1	1	2	1	3	1	2	2	0	15
宮城	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
福島	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
岩手	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
青森	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3
山形	1	2	0	1	0	0	0	0	0	2	6
秋田	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
新潟	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
長野	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	4
石川	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	6
富山	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3
東京	5	1	3	2	3	0	3	2	0	1	20
神奈川	0	2	0	1	1	3	1	1	1	0	10
千葉	2	1	1	0	3	2	1	0	0	2	12
埼玉	2	2	2	1	1	1	0	2	0	1	12
茨城	0	1	0	2	0	1	1	0	2	4	11
群馬	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4
栃木	0	1	1	1	0	1	2	1	0	0	7
山梨	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
愛知	1	2	3	1	1	1	0	2	1	2	14
静岡	0	1	0	2	0	1	5	0	0	0	9
岐阜	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	4
三重	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	4
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
大阪	4	3	2	7	3	2	3	3	1	1	29
京都	2	0	0	0	1	0	2	1	0	1	7
兵庫	3	1	0	1	3	3	1	1	1	0	14
滋賀	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
奈良	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	5
和歌山	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
広島	1	2	0	1	2	0	0	1	1	1	9
鳥取	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
島根	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
岡山	0	1	1	0	2	0	1	0	0	0	5
山口	1	0	0	0	2	0	0	0	2	1	6
高松	0	1	0	1	0	0	2	1	0	2	7
徳島	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	4
愛媛	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	5
高知	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
福岡	3	1	1	0	1	4	3	1	1	2	17
佐賀	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
長崎	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
熊本	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
大分	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
宮崎	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
鹿児島	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	4
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
不明	1	1	1	1	0	1	0	2	0	2	9
合計	34	35	24	32	30	33	37	28	20	28	301

10年間の合計が10件以上の都道府県

1年間の事故件数が3件以上

11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況

整備不良違反による第1当事者種別の死傷事故件数は、平成27年に4件と一旦減少したものの、平成28年は13件、平成29年は11件、平成30年は13件と増加し、令和元年には9件と再び減少しており、10年間をとおして変動が大きい状況です。

第1当事者種別で見ると大型の事故件数が多く、10年間のうち6回、10件を超えています。

また、普通では、平成25年の1件を除いて平成22年以降はいずれの年も0件で、10年間をとおしても比較的少ない状況です。

※ 「整備不良違反」とは、当該事故の発生に最も影響を与えた道路交通法上の法令違反が「整備不良」であったものをいう。

表11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

第1当事者種別	年									
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
大型	12	5	11	11	9	3	12	10	10	9
中型	2	4	1	2	1	1	1	0	1	0
準中型								1	2	0
普通	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	14	9	12	14	10	4	13	11	13	9

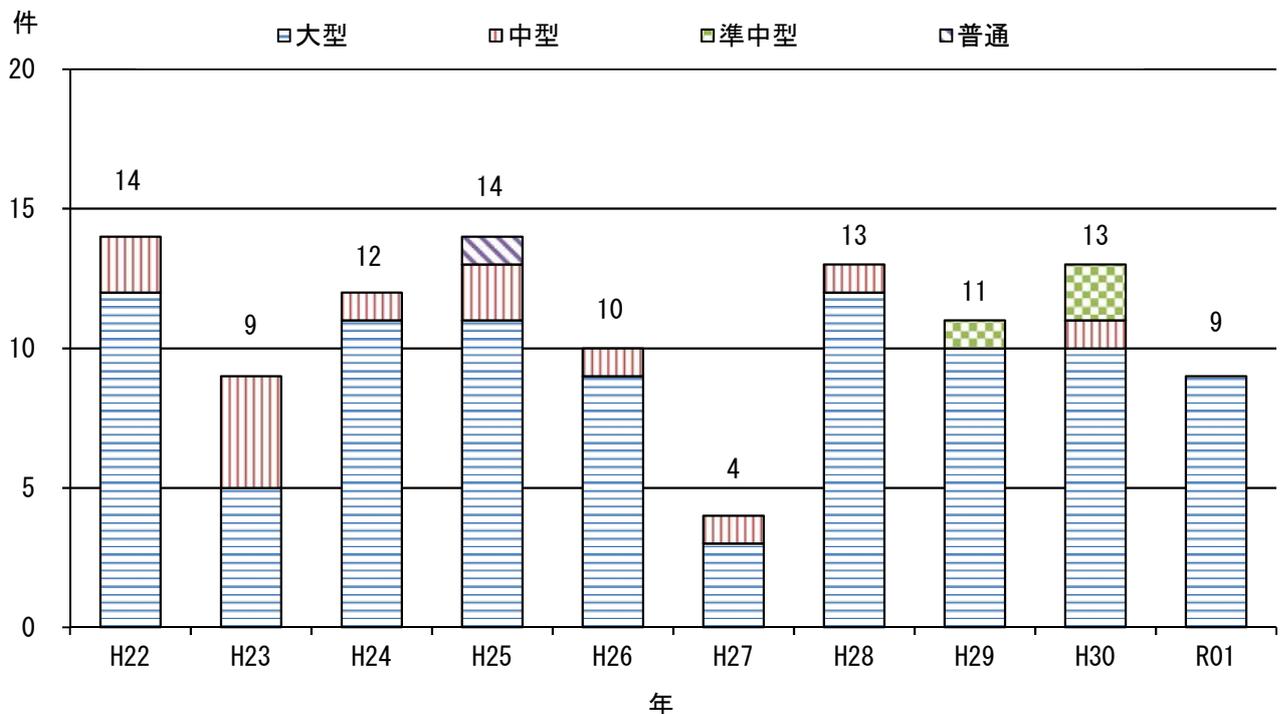


図11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況

令和元年の車両的要因による死傷事故件数は57件で、内訳は大型41件、中型13件、準中型2件、普通1件となっています。

整備不良による死傷事故の要因別件数は、大型では、タイヤ不良10件、制動装置不良8件で、中型では、制動装置不良3件、タイヤ不良及び荷くずれ2件、準中型では、制動装置不良及び積み荷等の車外はみ出し1件、普通では制動装置不良1件となっています。

同様に、状態的不良のある死傷事故の要因別件数は、大型では、荷くずれ8件、中型では、荷くずれ2件、準中型では、積み荷等の車外はみ出し1件となっています。

このように車両的要因別のある事故では、制動装置不良とタイヤ不良が多くなっています。

※ 「車両的要因」とは、車両の構造、装置の不良及び車両の状態的不良が事故の発生の要因と考えられる場合をいい、車両の不良状態が人的要因を誘発した場合を含む。

表12 車両的要因別の死傷事故件数（令和元年）

車両的要因		大型	中型	準中型	普通	合計	
整備不良	制動装置不良	8	3	1	1	13	
	かじ取り装置不良	0	0	0	0	0	
	タイヤ不良	10	2	0	0	12	
	車輪不良	2	0	0	0	2	
	灯火不良	0	0	0	0	0	
	エンジン故障	0	0	0	0	0	
	変速機不良・故障	0	0	0	0	0	
	燃料・潤滑装置不良	0	0	0	0	0	
	フロントガラス等不良	1	0	0	0	1	
	ミラー調整不良、破損、欠落	0	0	0	0	0	
	不良改造(オーバーフェンダ等)	0	0	0	0	0	
	その他車両等の構造・装置等の整備不良	2	0	0	0	2	
	小計	23	5	1	1	30	
状態的不良	車内の状態	着色フィルムが視界に影響した	0	0	0	0	0
		ワイパーを作動させなかった、フロントガラスを拭かなかったなどのため相手の発見が遅れた	0	0	0	0	0
		車室内の飾り物が視界に影響した	0	0	0	0	0
		車室内の同乗者が視界、操作に影響した	0	0	0	0	0
		車室内の荷物が視界、操作に影響した	1	0	0	0	1
		計	1	0	0	0	1
	積荷の状態	過積載が制動距離に影響した	0	0	0	0	0
		過積載が車両の安全性に影響した	0	0	0	0	0
		荷くずれ	8	2	0	0	10
		積み荷等の車外はみ出し	2	1	1	0	4
		積み荷等が自車の灯火を妨害した	0	0	0	0	0
	計	10	3	1	0	14	
	灯火の状態	前照灯不点火	0	0	0	0	0
		駐車灯不点火(尾灯、非常点滅を含む)	0	0	0	0	0
		自車前照灯の上下向きが視界に影響	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0		
小計	11	3	1	0	15		
その他の車両的要因	7	5	0	0	12		
合計	41	13	2	1	57		

13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数 (令和元年)

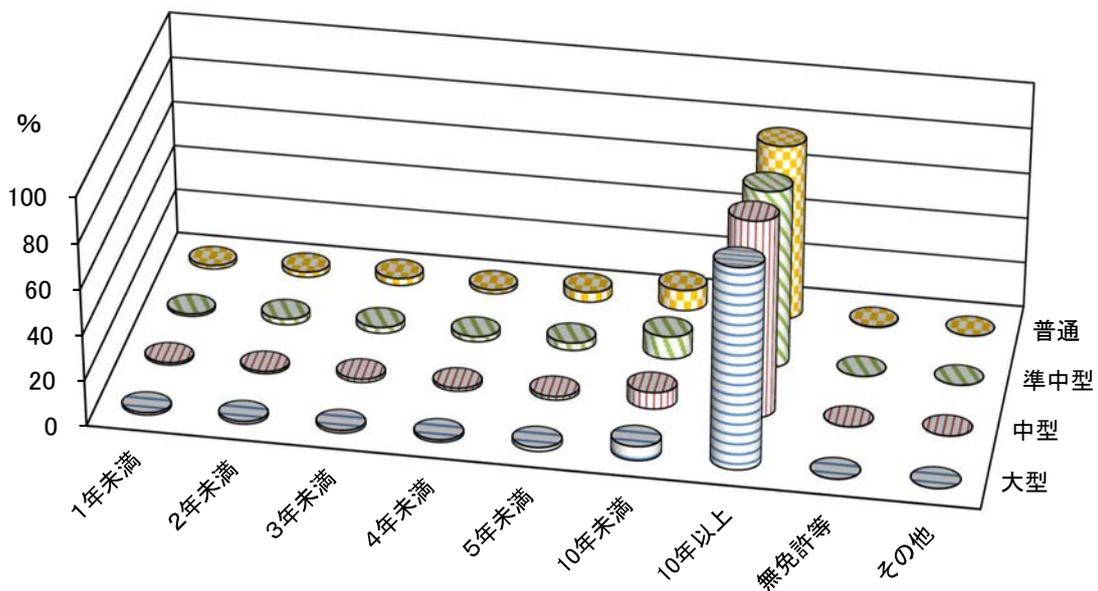
令和元年の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数は、いずれの種別においても10年以上の年数の運転者が多く、大型で4,174件、中型で2,950件、準中型で2,162件、普通で541件となっています。

表 13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

運転免許経過年数 第1当事者種別	(件)									
	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他	合計
大型	49	55	55	49	79	291	4,174	1	0	4,753
中型	33	34	49	45	52	248	2,950	1	1	3,413
準中型	28	70	72	63	92	276	2,162	1	0	2,764
普通	11	16	22	12	31	64	541	2	0	699
合計	121	175	198	169	254	879	9,827	5	1	11,629

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

構成率でみると、大型では、10年以上87.8%、5年以上10年未満6.1%となっています。中型では、10年以上86.4%、5年以上10年未満7.3%となっており、準中型では、10年以上78.2%、5年以上10年未満10.0%、普通では、10年以上77.4%、5年以上10年未満9.2%となっています。



	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他
□大型	1.0	1.2	1.2	1.0	1.7	6.1	87.8	0.0	0.0
□中型	1.0	1.0	1.4	1.3	1.5	7.3	86.4	0.0	0.0
□準中型	1.0	2.5	2.6	2.3	3.3	10.0	78.2	0.0	0.0
■普通	1.6	2.3	3.1	1.7	4.4	9.2	77.4	0.3	0.0

図 13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率（令和元年）

(2) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数
(令和元年)

令和元年の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数は、運転免許経過年数10年以上の45-49歳1,898件、50-54歳1,753件、55-59歳1,412件となっています。

表 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数（令和元年）

(件)

運転者年齢 運転免許経過年	19歳以下	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
1年未満	21	49	11	8	4	7	6	4	5	5	1	0	121
2年未満	23	87	21	11	9	5	7	6	4	0	2	0	175
3年未満	0	141	18	7	6	4	6	5	5	3	3	0	198
4年未満	0	106	25	14	7	6	5	1	3	0	2	0	169
5年未満	0	96	96	22	5	10	11	6	7	1	0	0	254
10年未満	0	57	451	133	64	45	45	29	26	15	14	0	879
10年以上	0	0	41	615	884	1,226	1,898	1,753	1,412	991	1,007	0	9,827
無免許等	1	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	6
合計	45	538	664	811	979	1,303	1,978	1,804	1,462	1,016	1,029	0	11,629

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

※ 「無免許等」とは、無資格運転、免許外、無免許、調査不能をいう。

構成率でみると、19歳以下では、運転免許経過年数が1年未満の46.7%と1年以上2年未満51.1%で、合わせて97.8%を占め、20-24歳では、5年未満の件数の合計で89.0%となります。また、25-29歳では5年以上10年未満が67.9%に、さらに30-34歳では10年以上が75.8%となり、35歳以上ではすべての年齢層で10年以上が90%を超えています。

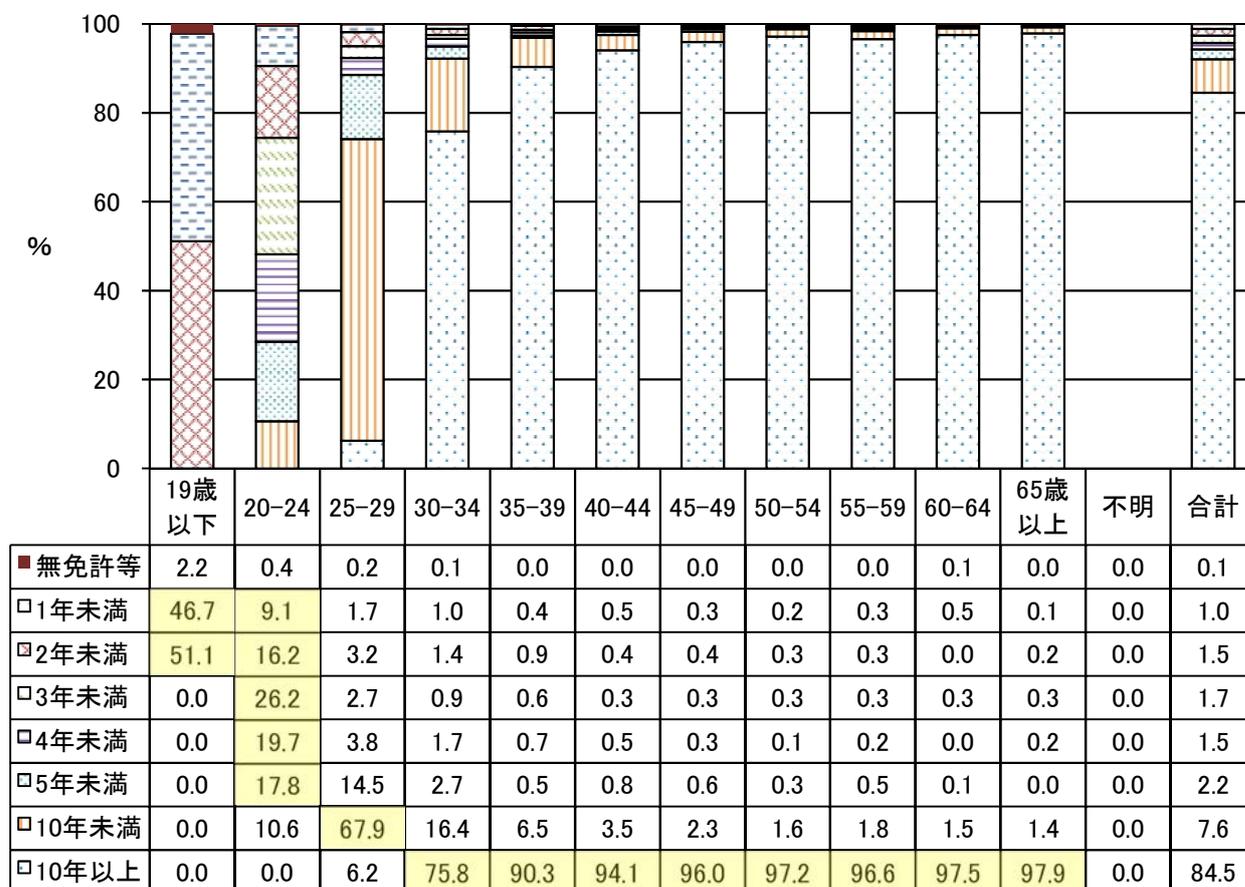


図 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別死傷事故件数の構成率（令和元年）

14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況

令和元年における運転者の運転資格別の死傷事故のうち、有資格者以外の事故は、無免許等の5件となっています。

これを第1当事者種別で見ると、大型は、無免許等1件、中型は、無免許等1件、準中型は、無免許等1件、普通は、無免許等2件となっています。

表 14 運転者の運転資格別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

第1当事者種別	免許資格							合計
	有資格	免許停止中	免許期限切れ	免許条件違反	無免許等	不明		
大型	4,752	0	0	0	1	0	4,753	
中型	3,411	0	0	0	1	1	3,413	
準中型	2,763	0	0	0	1	0	2,764	
普通	697	0	0	0	2	0	699	
合計	11,623	0	0	0	5	1	11,629	

※ 「無免許等」とは無資格運転、免許外、無免許をいう。

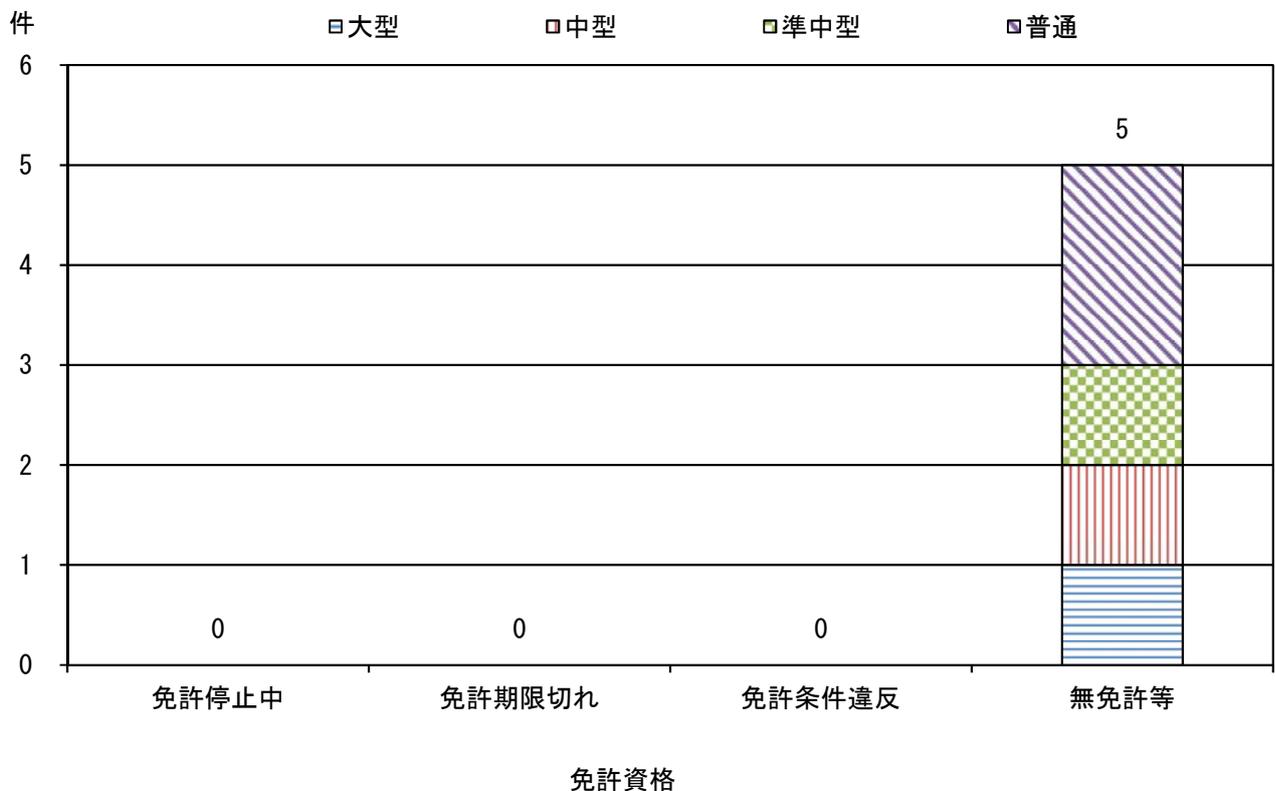


図 14 運転者の運転資格別・第1当事者種別の死傷事故件数（令和元年）

15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況

令和元年における運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別の死傷事故件数は、着用11,470件、非着用100件となっています。

これを死傷率で見ると、シートベルト着用では、死亡0.2%、重傷0.4%、軽傷1.0%、損傷なし98.4%となっています。

一方、シートベルト非着用では、死亡13.0%、重傷2.0%、軽傷3.0%、損傷なし82.0%となり、着用と比較すると死傷率が非常に高くなっています。

また、死傷率の構成率で見ると、シートベルト着用では軽傷の64.0%が最も多く、一方、シートベルト非着用では死亡の72.2%が最も高くなっています。

※「死傷率」とは、被害程度を対象者で割った値（例：着用死亡死傷率＝着用の死亡/着用の合計）

表 15-1 運転者（第1当事者）のシートベルト着用有無別・第1当事者種別の死傷事故件数
（令和元年）

第1当事者種別 運転者の着用状況		（件）				合計	死傷率(%)	構成率(%)
		大型	中型	準中型	普通			
着用	死 亡	11	5	2	0	18	0.2	10.1
	重 傷	23	19	4	0	46	0.4	25.8
	軽 傷	47	29	25	13	114	1.0	64.0
	小計	81	53	31	13	178	1.6	100.0
	損傷なし	4,612	3,322	2,679	679	11,292	98.4	
	計	4,693	3,375	2,710	692	11,470	100.0	
非着用	死 亡	8	3	2	0	13	13.0	72.2
	重 傷	1	0	1	0	2	2.0	11.1
	軽 傷	1	1	1	0	3	3.0	16.7
	小計	10	4	4	0	18	18.0	100.0
	損傷なし	23	22	33	4	82	82.0	
	計	33	26	37	4	100	100.0	
不 明	死 亡	2	0	0	0	2	3.4	22.2
	重 傷	1	1	2	0	4	6.8	44.4
	軽 傷	2	1	0	0	3	5.1	33.3
	小計	5	2	2	0	9	15.3	100.0
	損傷なし	22	10	15	3	50	84.7	
	計	27	12	17	3	59	100.0	
合 計		4,753	3,413	2,764	699	11,629		

当事者種別・
着用状況

□ 軽 傷 □ 重 傷 □ 死 亡

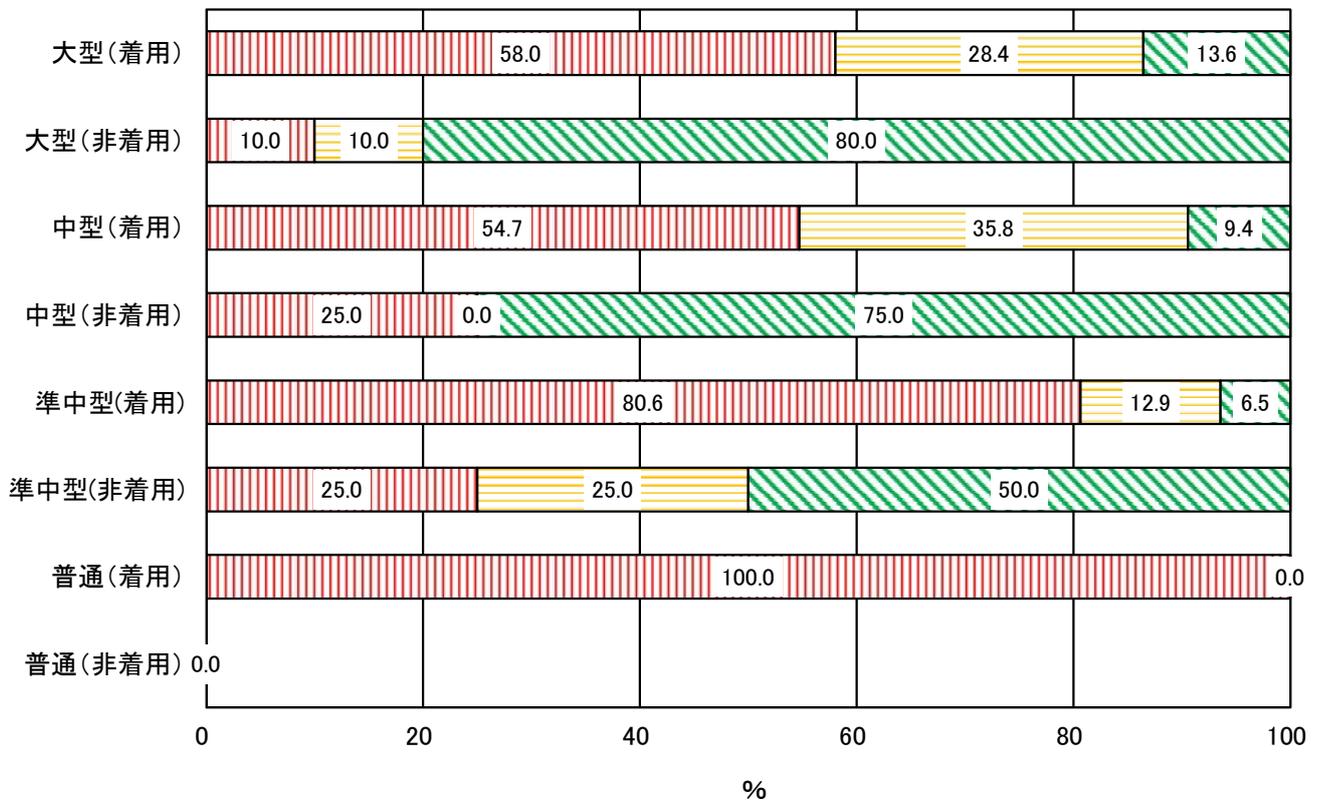


図 15-1 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別・第 1 当事者種別死傷事故件数の構成率
(令和元年)

参 考

事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用状況（平成 22-令和元年）

- ・運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別の死傷者数の内、死者では、着用・非着用ともに平成 22 年から令和元年の 10 年間では、増減を繰り返しており、大きな減少傾向はみられません。また、着用・非着用に関わらず、死者数は 2 桁台を下回ることはありません。
- ・重傷者では、着用は平成 22 年から令和元年の 10 年間では増減があるものの、平成 25 年からは確実に減少傾向にあります。また、非着用でも微増減を繰り返しながらも減少傾向にあります。
- ・軽傷者では、着用は平成 22 年の 394 人から令和元年の 114 人と着実に減少しており、10 年間で 280 人（71.1%）の減少となっています。また、非着用は平成 22 年から令和元年の 10 年間で微増減はあるもののおおむね減少傾向にあり、特に軽傷者は、平成 27 年以降、10 人を下回る人数となっています。

表 15-2 運転者（第 1 当事者）のシートベルト着用有無別死傷者数の推移（平成 22-令和元年）

(人)

運転者の着用状況		年									
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
着用	死者	33	26	37	33	27	23	24	26	16	18
	重傷者	102	136	102	112	97	78	65	52	50	46
	軽傷者	394	355	318	314	274	190	192	165	152	114
	計	529	517	457	459	398	291	281	243	218	178
非着用	死者	30	18	23	19	20	26	15	18	13	13
	重傷者	19	21	11	8	11	11	9	4	8	2
	軽傷者	19	19	13	16	11	4	6	4	2	3
	計	68	58	47	43	42	41	30	26	23	18
不明	死者	2	1	3	3	4	2	2	2	4	2
	重傷者	9	9	8	5	5	0	1	2	6	4
	軽傷者	6	4	1	1	1	1	1	3	2	3
	計	17	14	12	9	10	3	4	7	12	9
合計	死者	65	45	63	55	51	51	41	46	33	33
	重傷者	130	166	121	125	113	89	75	58	64	52
	軽傷者	419	378	332	331	286	195	199	172	156	120
	計	614	589	516	511	450	335	315	276	253	205

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト着用率は、平成22年から令和元年までの10年間をとおして、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト着用率で見ると、死者は、最も低いのは平成27年の45.1%、最も高いのは平成25年の60.0%など、着用率の増減が激しく、また、平成22年から令和元年までの10年間をとおして多くても6割までの着用率にとどまっています。
- ・一方、重傷者は、最も高いときで平成29年の89.7%と、死者の着用率よりも高いものの、平成22年から令和元年までの10年間をとおして、90%を超えていません。
- ・さらに、軽傷者は、平成27年、平成30年の97.4%を最高値とし、10年間をとおして常に90%を超えています。

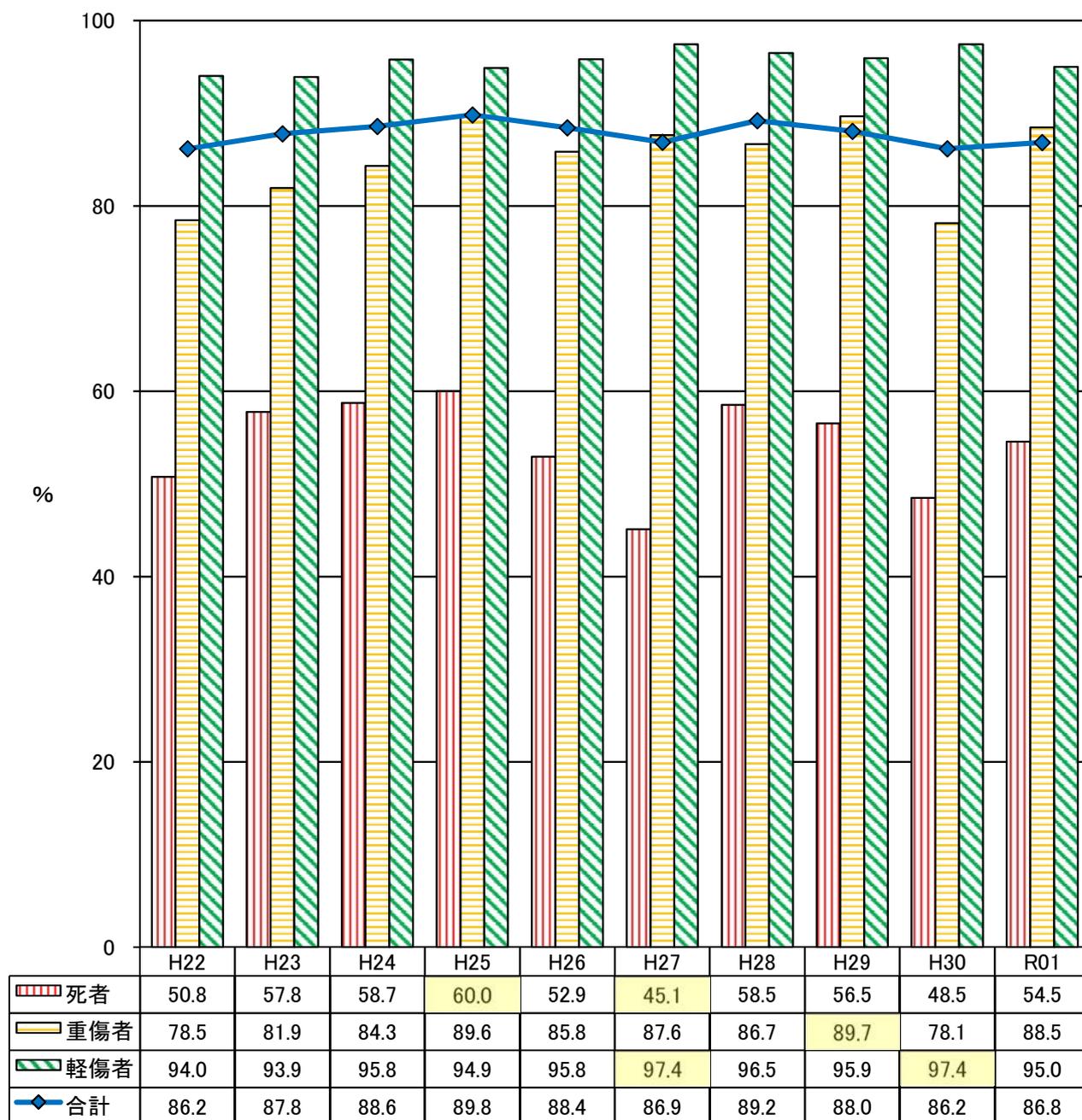


図 15-2 運転者の傷害程度別シートベルト着用率の推移（平成22-令和元年）

- ・運転者（第1当事者）のシートベルト非着用率は、平成22年から令和元年までの10年間をとおして8%台から12%台の範囲で、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト非着用率で見ると、死者では、平成25年の34.5%が最も低く、平成27年の51.0%が最も高くなっています。
- ・一方、重傷者では、令和元年の3.8%が最も低く、平成22年の14.6%が最も高くなっています。
- ・さらに、軽傷者では、平成30年の1.3%が最も低く、平成23年の5.0%が最も高くなっています。
- ・死者のシートベルト非着用率は、重傷者及び軽傷者と比較して、非常に高い値となっています。

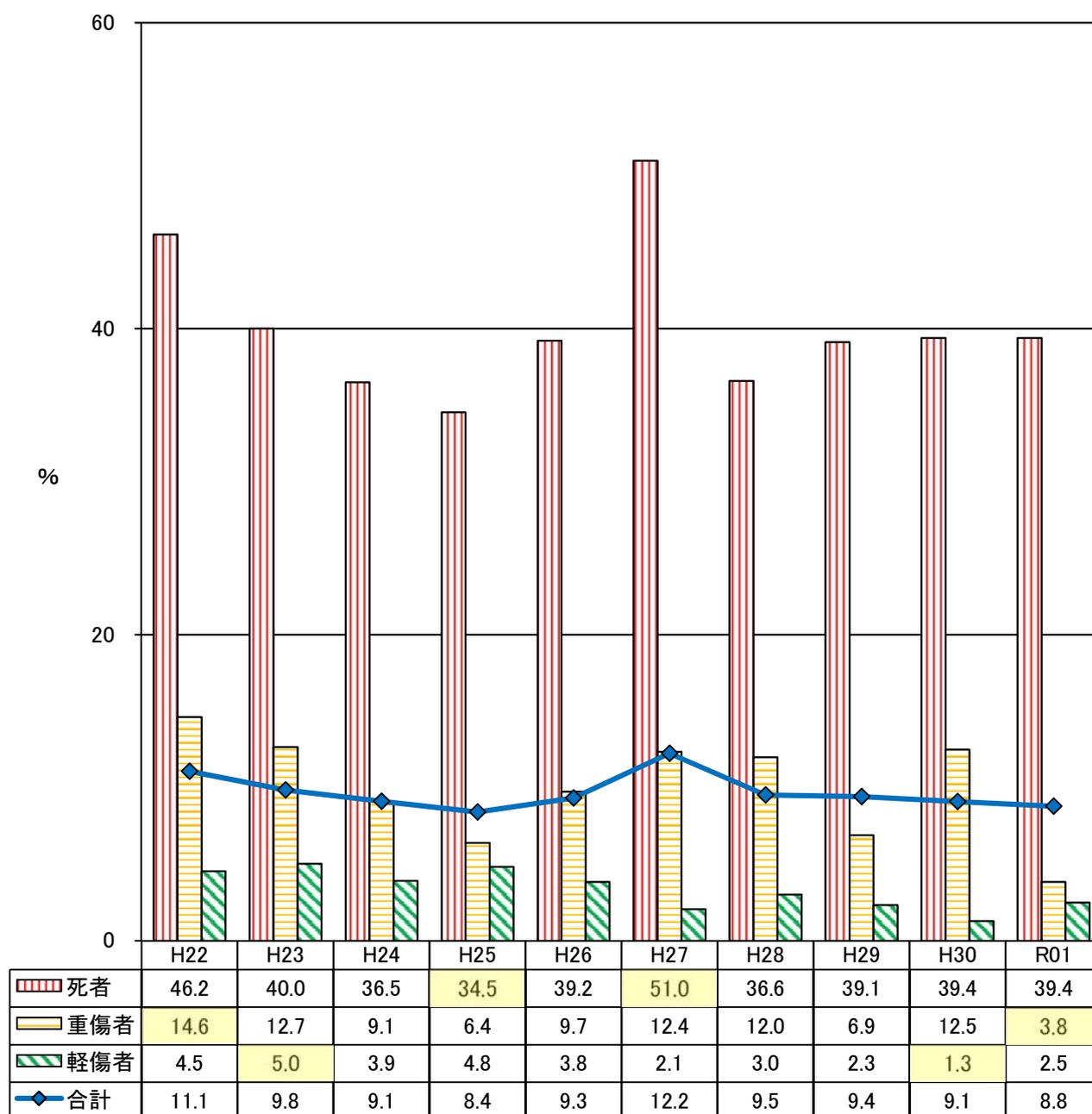


図 15-3 運転者（第1当事者）の傷害程度別シートベルト非着用率の推移（平成22-令和元年）

16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況

(1) 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（平成30・令和元年）

令和元年の高速道路における追突死傷事故件数は810件で、平成30年の958件から148件（15.4%）減少しています。

事故詳細区分別にみると、走行車に追突では、平成30年の死亡11件、重傷36件、軽傷390件の計437件から、令和元年の死亡4件、重傷24件、軽傷314件の計342件となり、死亡で7件減少、重傷12件減少、軽傷76件減少の、合計95件減少となっています。

同様に車線停止中（その他）では、平成30年の死亡16件、重傷16件、軽傷386件の計418件から、令和元年には死亡8件、重傷30件、軽傷335件の計373件となり、死亡で8件減少、重傷14件増加、軽傷51件減少の、合計45件減少となっています。

※ 「車線停止中その他」には、渋滞停止中が含まれる。

※ 「高速道路」とは、高速自動車国道、自動車専用道路（道路交通法施行令第42条の規定により指定された自動車専用道路）をいう。

表 16-1 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数（平成30・令和元年）

(件)

事故内容		H30				R01				増減	
		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計		
追突	追越・追抜	0	0	5	5	0	1	11	12	7	
	走行車に	11	36	390	437	4	24	314	342	-95	
	流入車に	0	0	2	2	0	1	2	3	1	
	流出車に	0	1	3	4	0	0	5	5	1	
	車線停止中	故障車に	1	5	10	16	1	4	8	13	-3
		事故車に	0	4	14	18	3	1	12	16	-2
		その他	16	16	386	418	8	30	335	373	-45
	路肩停止中	故障車に	0	1	3	4	0	0	2	2	-2
		事故車に	0	0	0	0	0	1	0	1	1
		その他	0	2	6	8	0	0	3	3	-5
	料金所付近停止車に	0	0	22	22	0	0	16	16	-6	
	その他	0	1	23	24	0	1	23	24	0	
	合計	28	66	864	958	16	63	731	810	-148	

(2) 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（平成 30・令和元年）

高速道路における追突の道路区分別事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、平成 30 年の死亡 20 件、重傷 36 件、軽傷 402 件の計 458 件から、令和元年には死亡 6 件、重傷 37 件、軽傷 311 件の計 354 件となり、死亡は 14 件減少、重傷は 1 件増加、軽傷は 91 件の減少の、合計 104 件の減少となっています。

走行車線（第二通行帯以上）では、平成 30 年の死亡 5 件、重傷 13 件、軽傷 243 件の計 261 件から、令和元年には死亡 5 件、重傷 16 件、軽傷 220 件の計 241 件となり、死亡は増減なし、重傷は 3 件増加、軽傷は 23 件減少の、合計 20 件の減少となっています。

追越車線では、平成 30 年の死亡 3 件、重傷 9 件、軽傷 137 件の計 149 件から、令和元年には死亡 4 件、重傷 7 件、軽傷 135 件の計 146 件となり、死亡は 1 件増加、重傷は 2 件減少、軽傷は 2 件減少の、合計 3 件の減少となっています。

一方で、路肩では、平成 30 年の 15 件から令和元年には 7 件となり、合計 8 件の減少となっています。

表 16-2 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数（平成 30・令和元年）

(件)

年	H30				R01				増減
	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
道路区分									
走行車線-第一通行帯	20	36	402	458	6	37	311	354	-104
走行車線-第二通行帯以上	5	13	243	261	5	16	220	241	-20
追越車線	3	9	137	149	4	7	135	146	-3
登板車線	0	2	1	3	0	0	4	4	1
加速車線	0	1	2	3	0	0	0	0	-3
減速車線	0	0	5	5	1	0	7	8	3
路肩	0	4	11	15	0	1	6	7	-8
ランプウェイ-入路	0	0	6	6	0	1	2	3	-3
ランプウェイ-出路	0	0	25	25	0	0	13	13	-12
ジャンクション	0	0	2	2	0	0	3	3	1
料金所等付近-本線上	0	0	14	14	0	0	16	16	2
料金所等付近-その他	0	0	8	8	0	0	9	9	1
サービスエリア	0	0	0	0	0	1	0	1	1
パーキングエリア	0	1	5	6	0	0	0	0	-6
その他	0	0	3	3	0	0	5	5	2
合計	28	66	864	958	16	63	731	810	-148

(3) 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（平成30・令和元年）

高速道路における対歩行者の死傷事故件数は、平成30年の死亡4件、重傷4件、軽傷4件の計12件から、令和元年には死亡3件、重傷2件、軽傷3件の計8件となり、合計で4件（33.3%）減少しています。

表16-3 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数（平成30・令和元年）

(件)

年		H30				R01				増減
事故内容		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
人対車両	故障修理中	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路上作業中	0	1	1	2	1	0	1	2	0
	その他	4	3	3	10	2	2	2	6	-4
	合計	4	4	4	12	3	2	3	8	-4

(4) 高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数（平成30・令和元年）

高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数は、走行車線（第一通行帯）では、平成30年の死亡2件から、令和元年には死亡2件、重傷1件と増加しています。

また、走行車線（第二通行帯以上）では、平成30年の死亡1件、重傷1件から、令和元年には、重傷1件となり、死亡が1件減少しています。

表16-4 高速道路における人対車両の道路区分別死傷事故件数（平成30・令和元年）

(件)

年		H30				R01				増減
事故内容		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
道路区分										
	走行車線-第一通行帯	2	0	0	2	2	1	0	3	1
	走行車線-第二通行帯以上	1	1	0	2	0	1	0	1	-1
	追越車線	1	0	1	2	0	0	0	0	-2
	登板車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減速車線	0	0	0	0	1	0	1	2	2
	路肩	0	0	1	1	0	0	1	1	0
	ランプウェイ-入路	0	1	0	1	0	0	0	0	-1
	ランプウェイ-出路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジャンクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-本線上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	料金所等付近-その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービスエリア	0	1	0	1	0	0	1	1	0
	パーキングエリア	0	1	2	3	0	0	0	0	-3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	4	4	4	12	3	2	3	8	-4

17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況

(1) 事業用貨物自動車の死傷者数（令和元年）

令和元年の死傷者数は、死者 245 人、重傷者 1,052 人、軽傷者 13,986 人の計 15,283 人となっています。

第2当事者種別では、対普通乗用車 6,008 人、対軽乗用 2,541 人、対自転車 1,419 人、対歩行者 839 人となっています。

死傷者別・第1当事者種別でみると、死者は、大型では、対歩行者 53 人、対自転車 33 人、中型では、対歩行者 28 人、対自転車 9 人、準中型では、対歩行者 22 人、対自転車 3 人、普通では、対歩行者 3 人、対自転車 1 人となっています。

一方、重傷者は、大型では、対自転車 107 人、対歩行者 83 人、中型では、対歩行者 66 人、対自転車 52 人、準中型では、対自転車 62 人、対歩行者 55 人、普通では、対自転車 16 人、対歩行者 12 人となっています。

また、軽傷者は、大型では、対普通乗用車 2,528 人、対軽乗用 998 人、中型では、対普通乗用車 1,887 人、対軽乗用 800 人、準中型では、対普通乗用車 1,152 人、対軽乗用 516 人、普通では、対普通乗用車 284 人、対軽乗用 138 人となっています。

表 17-1 事業用貨物自動車の死傷者数（令和元年）

死傷者別		死者					重傷者					軽傷者					合計
第1当事者種別	第2当事者種別	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	
乗用車	バス	1	0	0	0	1	1	1	2	0	4	38	9	29	0	76	81
	マイクロバス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5	5	1	0	11	12
	普通乗用車	9	6	1	1	17	67	42	28	3	140	2,528	1,887	1,152	284	5,851	6,008
	軽乗用	2	1	0	0	3	36	36	11	3	86	998	800	516	138	2,452	2,541
	ミニカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4	4
	小計	12	7	1	1	21	104	80	41	6	231	3,571	2,701	1,700	422	8,394	8,646
貨物車	大型貨物	8	3	2	0	13	28	8	3	0	39	303	95	32	6	436	488
	中型貨物	0	1	0	0	1	19	6	0	0	25	180	102	49	4	335	361
	準中型貨物	1	1	0	0	2	7	5	0	0	12	184	195	121	15	515	529
	普通貨物	1	0	0	0	1	8	3	3	0	14	190	145	109	24	468	483
	ライトバン	0	0	0	0	0	8	1	0	1	10	133	98	72	15	318	328
	軽貨物	2	1	0	0	3	14	14	7	1	36	273	240	228	46	787	826
	小計	12	6	2	0	20	84	37	13	2	136	1,263	875	611	110	2,859	3,015
トレーラ	4	0	0	0	4	5	1	1	0	7	88	18	12	0	118	129	
自動二輪	小型二輪	4	0	1	0	5	13	9	4	0	26	52	38	49	8	147	178
	軽二輪	2	0	0	0	2	13	5	9	2	29	55	49	50	7	161	192
	原付二輪	2	2	0	0	4	16	14	19	6	55	66	60	106	14	246	305
	小計	8	2	1	0	11	42	28	32	8	110	173	147	205	29	554	675
原付	6	1	1	0	8	24	16	24	3	67	95	71	122	26	314	389	
特殊車	農耕用	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
	大型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	5	5	
	小型	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	1	0	0	1	4	
	小計	1	0	0	0	1	3	1	0	0	4	3	2	2	0	7	12
路面電車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
列車	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	31	0	0	0	31	32	
軽車両	自転車	33	9	3	1	46	107	52	62	16	237	329	323	359	125	1,136	1,419
	駆動補助機付自転車	4	0	1	0	5	4	2	2	1	9	12	8	17	7	44	58
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	37	9	4	1	51	111	54	64	17	246	341	331	376	132	1,180	1,477
歩行者	53	28	22	3	106	83	66	55	12	216	121	136	191	69	517	839	
駐車車両(運転者不在)	6	2	1	0	9	10	3	0	0	13	25	13	8	0	46	68	
物件	12	2	2	0	16	15	5	4	1	25	40	8	21	7	76	117	
相手なし	1	0	0	0	1	1	1	1	0	3	4	2	0	1	7	11	
不明	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2	
合計		149	57	34	5	245	477	292	234	49	1,052	5,667	4,287	3,236	796	13,986	15,283

(2) 事業用貨物自動車の死傷者の構成率（令和元年）

令和元年の死傷者の第1当事者種別の構成率は、大型では、対普通乗用車41.4%、対軽乗用16.5%、対自転車7.5%、中型では、対普通乗用車41.7%、対軽乗用18.1%、対自転車8.3%、準中型では、対普通乗用車33.7%、対軽乗用15.0%、対自転車12.1%、普通では、対普通乗用車33.9%、対自転車16.7%、対軽乗用16.6%となっています。

表 17-2 相関別死傷者数の構成率（令和元年）

	（％）			
	大型	中型	準中型	普通
バス	0.6	0.2	0.9	0.0
マイクロバス	0.1	0.1	0.0	0.0
普通乗用車	41.4	41.7	33.7	33.9
軽乗用	16.5	18.1	15.0	16.6
ミニカー	0.0	0.0	0.1	0.0
大型貨物	5.4	2.3	1.1	0.7
中型貨物	3.2	2.4	1.4	0.5
準中型貨物	3.1	4.3	3.5	1.8
普通貨物	3.2	3.2	3.2	2.8
ライトバン	2.2	2.1	2.1	1.9
軽貨物	4.6	5.5	6.7	5.5
小型二輪	1.1	1.0	1.5	0.9
軽二輪	1.1	1.2	1.7	1.1
原付二輪	1.3	1.6	3.6	2.4
原付	2.0	1.9	4.2	3.4
農耕用	0.0	0.0	0.0	0.0
特殊大型	0.0	0.0	0.0	0.0
特殊小型	0.0	0.0	0.0	0.0
路面電車	0.0	0.0	0.0	0.0
列車	0.5	0.0	0.0	0.0
自転車	7.5	8.3	12.1	16.7
駆動補助機付自転車	0.3	0.2	0.6	0.9
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
歩行者	4.1	5.0	7.6	9.9
駐車車両（運転者不在）	0.7	0.4	0.3	0.0
物件	1.1	0.3	0.8	0.9
相手なし	0.1	0.1	0.0	0.1
不明	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

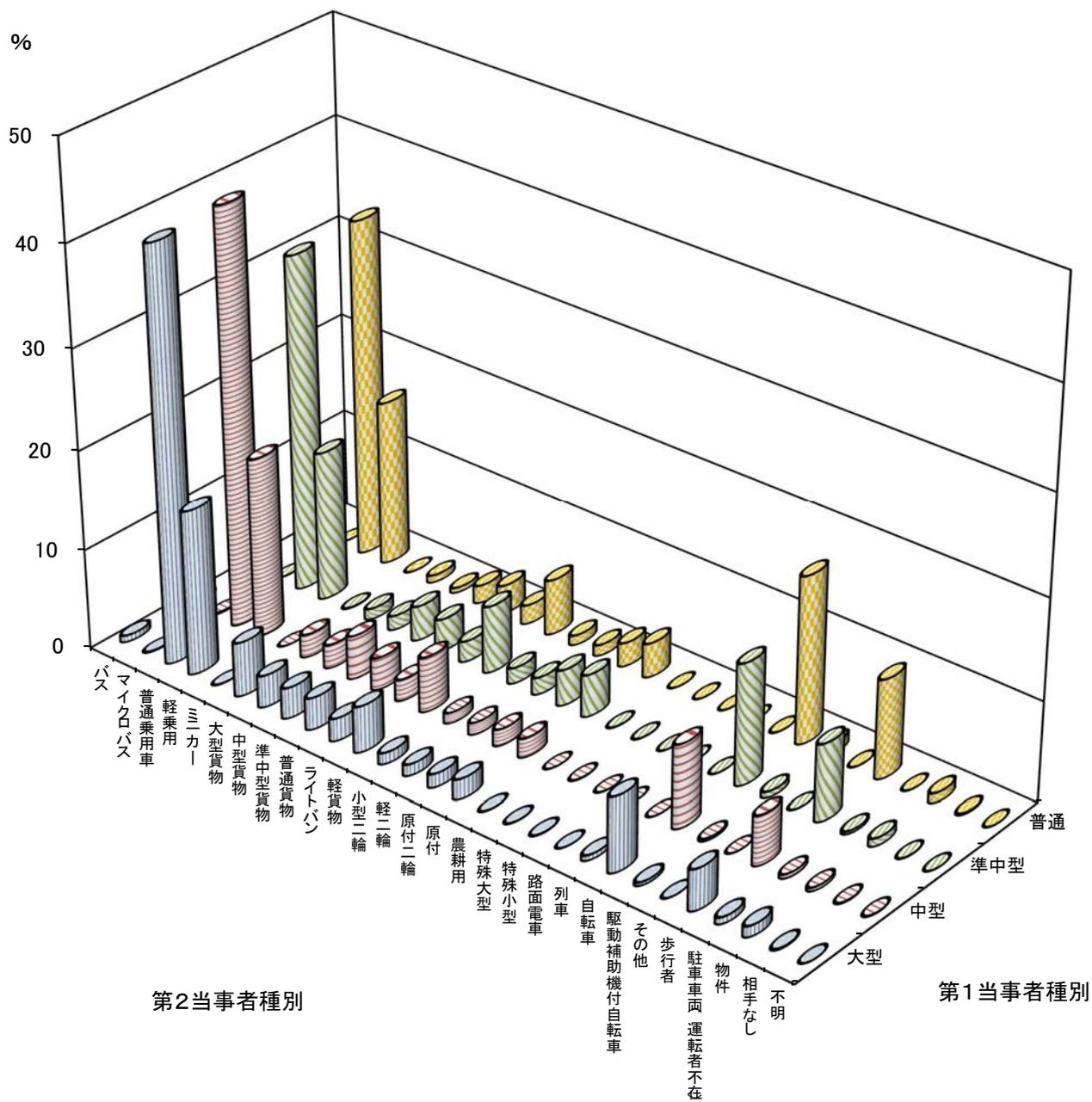


図 17-1 相関別死傷者数の構成率 (令和元年)

(3) 事業用貨物自動車の第1当事者種別・年齢別の死傷者数（令和元年）

令和元年の第1当事者種別・年齢別の死傷者数は、45-49歳1,653人、40-44歳1,543人、50-54歳1,496人、35-39歳1,457人となっています。

死傷者別にみると、死者は、大型では、45-49歳18人、中型では、55-59歳、60-64歳及び70-74歳の各5人、準中型では、80-84歳6人、普通では、70-74歳2人となっています。

一方、重傷者は、大型では、45-49歳48人、50-54歳46人、中型では、35-39歳及び60-64歳の各30人、準中型では、65-69歳24人、40-44歳20人、普通では、50-54歳9人、35-39歳5人となっています。

また、軽傷者は、大型では、40-44歳587人、45-49歳584人、中型では、45-49歳450人、40-44歳449人、準中型では、45-49歳403人、40-44歳366人、普通では、45-49歳98人、50-54歳84人となっています。

第1当事者別にみると、大型が6,293人（41.2%）、中型が4,636人（30.3%）、準中型が3,504人（22.9%）、普通850人（5.6%）で、大型・中型で全体の約71%を占めています。

また、65歳以上では、死者が102人（41.6%）、重傷者311人（29.6%）、軽傷者1,924人（13.8%）となっています。

表 17-3 第1当事者種別・年齢別の死傷者数（令和元年）

(人)

死傷者 第1当事者種別 年齢別	死者					重傷者					軽傷者					合計				
	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	合計
6歳以下	2	0	0	0	2	2	1	2	1	6	88	61	52	15	216	92	62	54	16	224
7-12歳	1	0	0	0	1	5	0	5	2	12	78	84	50	20	232	84	84	55	22	245
13-15歳	1	0	0	0	1	6	3	1	1	11	45	44	30	4	123	52	47	31	5	135
16-19歳	3	2	3	1	9	14	9	14	2	39	163	110	107	26	406	180	121	124	29	454
20-24歳	11	3	1	0	15	36	20	16	3	75	457	369	260	54	1,140	504	392	277	57	1,230
25-29歳	7	0	2	0	9	25	11	17	1	54	516	373	231	73	1,193	548	384	250	74	1,256
30-34歳	5	2	0	0	7	32	25	17	0	74	549	387	257	71	1,264	586	414	274	71	1,345
35-39歳	13	4	0	0	17	29	30	14	5	78	574	418	302	68	1,362	616	452	316	73	1,457
40-44歳	5	4	4	0	13	28	21	20	1	70	587	449	366	58	1,460	620	474	390	59	1,543
45-49歳	18	4	1	0	23	48	24	19	4	95	584	450	403	98	1,535	650	478	423	102	1,653
50-54歳	13	3	1	0	17	46	22	10	9	87	545	425	338	84	1,392	604	450	349	93	1,496
55-59歳	10	5	3	0	18	37	14	14	4	69	403	325	238	51	1,017	450	344	255	55	1,104
60-64歳	6	5	0	0	11	20	30	17	4	71	312	218	153	39	722	338	253	170	43	804
65-69歳	10	4	4	1	19	38	13	24	2	77	281	225	161	40	707	329	242	189	43	803
70-74歳	6	5	4	2	17	34	21	8	3	66	228	164	131	40	563	268	190	143	45	646
75-79歳	6	4	3	0	13	33	27	17	4	81	139	107	73	25	344	178	138	93	29	438
80-84歳	16	4	6	1	27	22	14	9	2	47	85	59	55	22	221	123	77	70	25	295
85-89歳	10	4	0	0	14	17	7	7	1	32	27	17	24	5	73	54	28	31	6	119
90-94歳	6	4	1	0	11	5	0	3	0	8	5	2	5	3	15	16	6	9	3	34
95歳以上	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	2
合計	149	57	34	5	245	477	292	234	49	1,052	5,667	4,287	3,236	796	13,986	6,293	4,636	3,504	850	15,283

(4) 事業用貨物自動車の年齢別死傷者数の構成率（令和元年）

令和元年の年齢別死傷者数の構成率は、死者では、80-84歳 11.0%、45-49歳 9.4%、65-69歳 7.8%となっています。

一方、重傷者では、45-49歳 9.0%、50-54歳 8.3%、75-79歳 7.7%となっています。

また、軽傷者では、45-49歳 11.0%、40-44歳 10.4%、35-39歳 10.0%となっています。

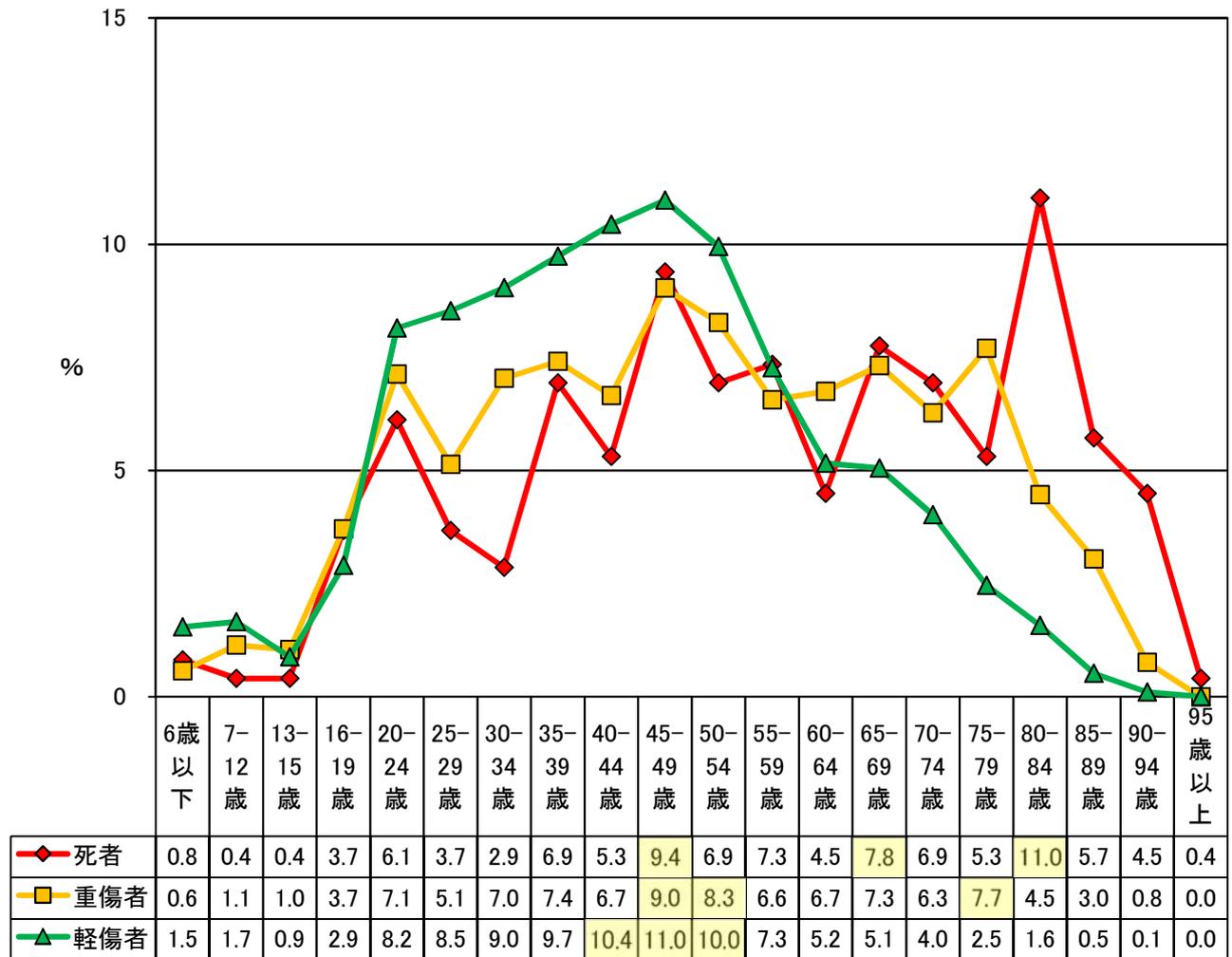


図 17-2 年齢別死傷者数の構成率（令和元年）

(5) 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 22-令和元年）

事業用貨物自動車の死者数全体の推移は、増減しながらおおむね減少傾向にあり、平成 28 年以降は 300 人を下回っています。

第 2 当事者別でみると、比較的顕著な減少傾向にあるのは対歩行者で、平成 24 年の 143 人をピークに平成 30 年には 83 人まで減少していますが、令和元年は 106 人と再び増加しています。

表 17-4 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 22-令和元年）

(人)

年 第2当事者	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
乗用車	46	51	48	41	30	33	31	30	36	21
貨物車	71	57	52	53	51	41	36	41	31	20
二輪車	35	37	38	37	28	25	29	27	27	19
対自転車	84	78	57	73	74	59	53	47	62	51
対歩行者	121	119	143	124	121	112	89	91	83	106
物件	23	10	28	14	23	20	15	22	12	16
その他	22	16	23	22	13	22	17	22	9	12
合計	402	368	389	364	340	312	270	280	260	245

※ 「第2当事者」は、表 17-1 の項目とする。

※ 「対自転車」は、自転車、駆動補助機付自転車の合計とする。

※ 「その他」は、特殊車、路面電車、列車、駐車車両（運転者不在）、相手なし、不明の合計とする。

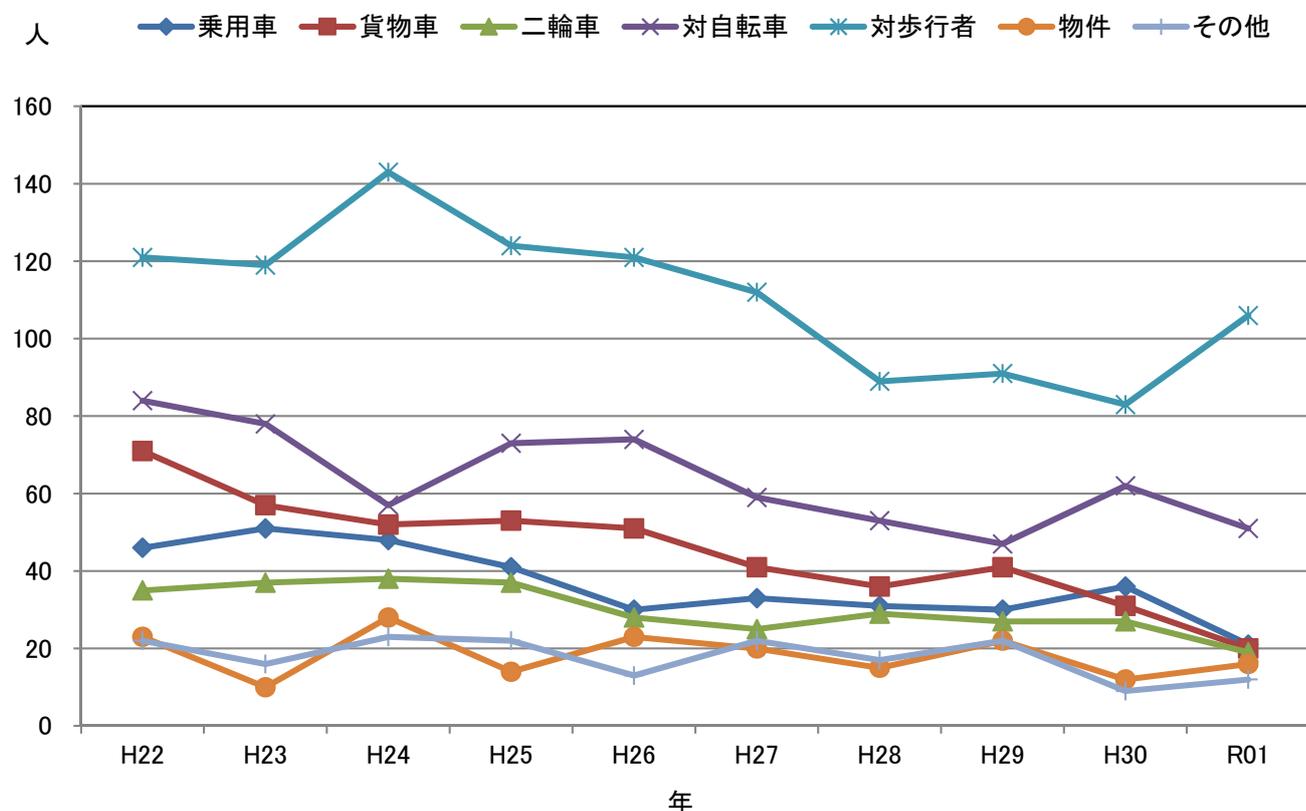


図 17-3 事業用貨物自動車の死者数の推移（平成 22-令和元年）

(6) 事業用貨物自動車の対歩行者・対自転車の年齢別死者数（令和元年）

令和元年の対歩行者と対自転車の年齢別死者数は、対歩行者の年齢別で見ると、第1当事者種別では、大型は80-84歳9人、85-89歳7人、中型は、35-39歳及び70-74歳が各4人、準中型は、80-84歳5人、65-69歳及び70-74歳が各3人、普通は、70-74歳2人、80-84歳1人となり、高齢者が多くなっています。

対自転車の年齢別で見ると、大型では、80-84歳6人、中型では、65-69歳2人、準中型では、40-44歳、55-59歳、75-79歳及び80-84歳が各1人、普通では、16-19歳1人となっています。

表 17-5 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（令和元年）

第2当事者 第1当事者 年齢(第2当事者)	対歩行者					対自転車					合計
	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	
6歳以下	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
7-12歳	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
13-15歳	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
16-19歳	1	0	2	0	3	1	1	0	1	3	6
20-24歳	1	1	1	0	3	4	1	0	0	5	8
25-29歳	3	0	1	0	4	2	0	0	0	2	6
30-34歳	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
35-39歳	4	4	0	0	8	1	0	0	0	1	9
40-44歳	1	2	1	0	4	1	0	1	0	2	6
45-49歳	0	1	0	0	1	2	1	0	0	3	4
50-54歳	4	0	1	0	5	2	0	0	0	2	7
55-59歳	1	0	1	0	2	3	0	1	0	4	6
60-64歳	4	2	0	0	6	0	0	0	0	0	6
65-69歳	3	2	3	0	8	2	2	0	0	4	12
70-74歳	4	4	3	2	13	2	0	0	0	2	15
75-79歳	2	3	2	0	7	4	1	1	0	6	13
80-84歳	9	3	5	1	18	6	1	1	0	8	26
85-89歳	7	3	0	0	10	3	1	0	0	4	14
90-94歳	4	3	1	0	8	2	1	0	0	3	11
95歳以上	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	53	28	22	3	106	37	9	4	1	51	157

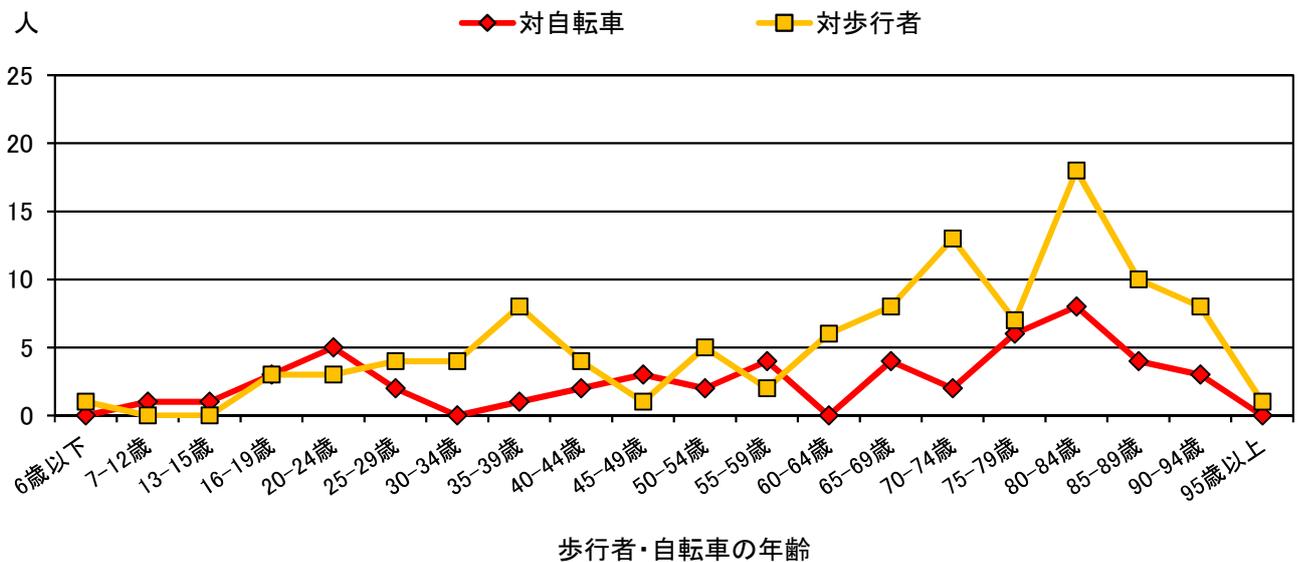


図 17-4 対歩行者・対自転車の年齢別死者数（令和元年）

付 録

- 付録 1. 都道府県別の死傷事故件数（令和元年）
- 付録 2. 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（令和元年）
- 付録 3. 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（令和元年）
- 付録 4. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（令和元年）
- 付録 5. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（令和元年）
- 付録 6. 交通事故発生状況の推移（平成4-令和元年）
- 付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成22-令和元年）
- 付録 8. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成22-令和元年）
- 付録 9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）
- 付録10. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）
- 付録11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（令和元年）
- 付録12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（令和元年）
- 付録13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成22-令和元年）
- 付録14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成22-令和元年）
- 付録15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（令和元年）
- 付録16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）
- 付録17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（令和元年）
- 付録18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）
- 付録19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況
- 付録20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況
- 付録21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況
- 付録22. 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況
- 付録23. 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況
- 付録24. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数（平成28-令和元年）
- 付録25. 事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成30-令和元年）

付録1 都道府県別の死傷事故件数（令和元年）

都道府県	区分	死亡			重傷			軽傷			合計				
		件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)		
北海道	札幌 函館 旭川 釧路 北見 計	77	17	28.3	670	65	10.7	6,277	-14	-0.2	7,024	68	1.0		
		8	-1	-11.1	79	-15	-16.0	574	-123	-17.6	661	-139	-17.4		
		25	-4	-13.8	104	-7	-6.3	795	-52	-6.1	924	-63	-6.4		
		28	4	16.7	120	-11	-8.4	614	-130	-17.5	762	-137	-15.2		
		10	2	25.0	32	-22	-40.7	182	-45	-19.8	224	-65	-22.5		
		148	18	13.8	1,005	10	1.0	8,442	-364	-4.1	9,595	-336	-3.4		
東北	青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島	37	-2	-5.1	252	37	17.2	2,502	-210	-7.7	2,791	-175	-5.9		
		44	-14	-24.1	299	-36	-10.7	1,625	36	2.3	1,968	-14	-0.7		
		61	6	10.9	568	-15	-2.6	5,046	-1,131	-18.3	5,675	-1,140	-16.7		
		39	0	0.0	223	-32	-12.5	1,252	-238	-16.0	1,514	-270	-15.1		
		32	-17	-34.7	430	-6	-1.4	3,830	-782	-17.0	4,292	-805	-15.8		
		60	-14	-18.9	465	-91	-16.4	3,394	-568	-14.3	3,919	-673	-14.7		
東京		130	-12	-8.5	1,215	100	9.0	29,122	-2,211	-7.1	30,467	-2,123	-6.5		
関東	茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 神奈川 新潟 山梨 長野 静岡	105	-17	-13.9	752	-57	-7.0	6,590	-1,161	-15.0	7,447	-1,235	-14.2		
		77	-11	-12.5	487	-50	-9.3	3,989	-150	-3.6	4,553	-211	-4.4		
		59	-5	-7.8	287	-70	-19.6	11,485	-1,181	-9.3	11,831	-1,256	-9.6		
		126	-46	-26.7	2,149	-261	-10.8	19,084	-2,457	-11.4	21,359	-2,764	-11.5		
		167	-16	-8.7	1,565	-185	-10.6	14,744	-697	-4.5	16,476	-898	-5.2		
		132	-27	-17.0	1,304	-16	-1.2	21,858	-2,875	-11.6	23,294	-2,918	-11.1		
		89	-10	-10.1	739	-1	-0.1	2,656	-304	-10.3	3,484	-315	-8.3		
		24	-12	-33.3	306	-31	-9.2	2,673	-516	-16.2	3,003	-559	-15.7		
		63	-1	-1.6	592	-77	-11.5	5,626	-891	-13.7	6,281	-969	-13.4		
		98	-5	-4.9	1,106	-116	-9.5	23,898	-3,179	-11.7	25,102	-3,300	-11.6		
		中部	富山 石川 福井 岐阜 愛知 三重	34	-19	-35.8	299	-5	-1.6	2,020	-462	-18.6	2,353	-486	-17.1
				30	3	11.1	277	7	2.6	2,101	-244	-10.4	2,408	-234	-8.9
31	-8			-20.5	216	-34	-13.6	921	-188	-17.0	1,188	-230	-16.5		
81	-10			-11.0	444	-106	-19.3	3,572	-647	-15.3	4,097	-763	-15.7		
153	-36			-19.0	823	-115	-12.3	29,860	-4,271	-12.5	30,836	-4,422	-12.5		
74	-8			-9.8	521	-142	-21.4	3,052	-890	-22.6	3,647	-1,040	-22.2		
近畿	滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山	54	15	38.5	382	4	1.1	3,211	-584	-15.4	3,647	-565	-13.4		
		55	4	7.8	954	-156	-14.1	4,174	-807	-16.2	5,183	-959	-15.6		
		129	-16	-11.0	2,973	-192	-6.1	27,812	-3,260	-10.5	30,914	-3,468	-10.1		
		135	-12	-8.2	1,345	-176	-11.6	21,416	-1,583	-6.9	22,896	-1,771	-7.2		
		34	-3	-8.1	468	-37	-7.3	2,826	-648	-18.7	3,328	-688	-17.1		
		33	-3	-8.3	381	-18	-4.5	1,445	-390	-21.3	1,859	-411	-18.1		
中国	鳥取 島根 岡山 広島 山口	30	11	57.9	138	-8	-5.5	637	-67	-9.5	805	-64	-7.4		
		24	4	20.0	218	2	0.9	685	-102	-13.0	927	-96	-9.4		
		73	6	9.0	496	-93	-15.8	4,121	-1,125	-21.4	4,690	-1,212	-20.5		
		72	-20	-21.7	962	-55	-5.4	5,223	-1,250	-19.3	6,257	-1,325	-17.5		
		44	-8	-15.4	523	-13	-2.4	2,642	-780	-22.8	3,209	-801	-20.0		
		39	10	34.5	326	33	11.3	2,150	-337	-13.6	2,515	-294	-10.5		
四国	徳島 香川 愛媛 高知	45	1	2.3	240	-53	-18.1	4,252	-579	-12.0	4,537	-631	-12.2		
		41	-17	-29.3	553	-111	-16.7	2,217	-548	-19.8	2,811	-676	-19.4		
		31	2	6.9	340	-31	-8.4	1,185	-28	-2.3	1,556	-57	-3.5		
		93	-41	-30.6	886	16	1.8	25,957	-4,318	-14.3	26,936	-4,343	-13.9		
九州	福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄	34	6	21.4	164	26	18.8	4,842	-717	-12.9	5,040	-685	-12.0		
		33	-3	-8.3	340	-11	-3.1	3,586	-668	-15.7	3,959	-682	-14.7		
		69	10	16.9	604	-37	-5.8	3,431	-653	-16.0	4,104	-680	-14.2		
		41	3	7.9	295	-52	-15.0	2,701	-524	-16.2	3,037	-573	-15.9		
		39	7	21.9	351	29	9.0	6,231	-861	-12.1	6,621	-825	-11.1		
		56	-7	-11.1	639	-48	-7.0	4,076	-1,007	-19.8	4,771	-1,062	-18.2		
35	-2	-5.4	468	-83	-15.1	3,572	-275	-7.1	4,075	-360	-8.1				
合計		3,133	-316	-9.2	30,370	-2,356	-7.2	347,734	-46,692	-11.8	381,237	-49,364	-11.5		

付録2 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数（令和元年）

(件)

第1当事者種別 都道府県		事業用									事業用 合計	
		乗用車				貨物車						
		バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計		トレーラ
北海道	札幌	34	1	466	501	114	46	37	19	216	44	717
	函館	2	0	32	34	10	2	5	1	18	2	52
	旭川	5	0	40	45	18	6	5	0	29	6	74
	釧路	6	1	16	23	14	5	1	1	21	2	44
	北見	0	0	0	0	4	1	0	1	6	1	6
	計	47	2	554	603	160	60	48	22	290	55	893
東北	青森	8	0	48	56	19	14	7	1	41	2	97
	岩手	3	0	33	36	39	14	8	0	61	4	97
	宮城	8	3	136	147	67	50	27	5	149	16	296
	秋田	0	0	27	27	14	11	4	0	29	2	56
	山形	5	1	40	46	44	22	11	4	81	4	127
	福島	4	0	50	54	57	25	10	6	98	9	152
東京		195	11	2,989	3,195	298	303	484	161	1,246	141	4,441
関東	茨城	13	1	44	58	110	84	37	16	247	34	305
	栃木	4	0	25	29	54	47	24	2	127	10	156
	群馬	5	2	53	60	106	89	46	8	249	20	309
	埼玉	31	4	333	368	340	298	257	51	946	72	1,314
	千葉	67	2	317	386	216	181	167	15	579	44	965
	神奈川	135	0	835	970	282	219	296	56	853	69	1,823
	新潟	6	0	38	44	37	16	10	3	66	8	110
	山梨	4	0	22	26	35	29	10	2	76	9	102
	長野	11	3	48	62	56	46	25	7	134	7	196
	静岡	33	3	275	311	323	202	106	14	645	51	956
中部	富山	4	0	10	14	29	19	9	2	59	3	73
	石川	8	0	49	57	14	29	9	9	61	1	118
	福井	0	1	16	17	20	19	4	4	47	3	64
	岐阜	3	1	32	36	55	31	14	7	107	7	143
	愛知	61	8	487	556	403	331	154	70	958	75	1,514
	三重	7	1	22	30	79	43	13	6	141	9	171
近畿	滋賀	8	1	39	48	78	45	15	1	139	8	187
	京都	78	3	250	331	44	48	72	8	172	6	503
	大阪	97	4	1,476	1,577	431	370	385	104	1,290	79	2,867
	兵庫	73	3	539	615	325	211	159	34	729	73	1,344
	奈良	7	1	25	33	34	27	24	3	88	8	121
	和歌山	3	1	18	22	15	7	12	0	34	0	56
中国	鳥取	0	0	11	11	7	7	5	0	19	1	30
	島根	3	0	9	12	10	3	4	3	20	2	32
	岡山	12	1	57	70	87	49	18	1	155	13	225
	広島	21	1	172	194	78	58	29	5	170	12	364
	山口	10	1	62	73	67	25	12	3	107	11	180
四国	徳島	6	0	23	29	23	11	16	4	54	6	83
	香川	8	0	51	59	42	24	13	0	79	7	138
	愛媛	2	0	48	50	37	15	15	3	70	8	120
	高知	1	1	33	35	19	5	11	3	38	2	73
九州	福岡	94	3	938	1,035	347	181	116	14	658	41	1,693
	佐賀	16	0	46	62	51	44	18	6	119	9	181
	長崎	42	0	132	174	22	14	13	2	51	7	225
	熊本	12	0	89	101	43	28	17	2	90	6	191
	大分	3	0	60	63	31	13	7	2	53	4	116
	宮崎	13	1	98	112	44	18	9	8	79	17	191
	鹿児島	23	0	83	106	42	25	11	3	81	8	187
	沖縄	10	1	233	244	19	3	3	19	44	2	288
合計		1,204	65	10,975	12,244	4,753	3,413	2,764	699	11,629	985	23,873

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型、準中型及び普通）の内数。

付録3 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数（令和元年）

(件)

第1当事者種別	事業用										事業用 合計		
	乗用車				貨物車								
	バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	トレーラ			
法令違反													
車 両 の 運 者	信号無視	19	1	299	319	143	133	96	17	389	40	708	
	通行区分	7	-	30	37	26	16	12	3	57	5	94	
	最高速度	-	-	6	6	7	3	2	-	12	3	18	
	横断転回後退	7	-	113	120	40	23	26	6	95	3	215	
	車間距離不保持	5	-	22	27	34	32	9	5	80	7	107	
	追越し	5	-	12	17	36	27	8	-	71	10	88	
	踏切不停止	-	-	1	1	1	-	-	-	1	1	2	
	右折	3	1	29	33	13	9	3	-	25	3	58	
	左折	2	-	46	48	33	17	24	2	76	7	124	
	環状交差点違反	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	優先通行妨害	5	1	239	245	37	30	40	7	114	9	359	
	交差点安全進行	49	3	1,019	1,071	145	102	142	61	450	32	1,521	
	歩行者妨害等	43	2	508	553	85	69	67	28	249	14	802	
	徐行	1	1	81	83	3	7	14	6	30	1	113	
	一時不停止	1	1	399	401	19	26	38	14	97	5	498	
	整備不良	-	-	-	-	9	-	-	-	9	3	9	
	酒酔い	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	2	
	過労運転	-	-	9	9	4	7	1	-	12	-	21	
	薬物運転	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	安 全 運 転 義 務 者	運転操作	187	11	699	897	319	230	117	41	707	72	1,604
前方不注意		漫然	46	5	454	505	465	419	309	63	1,256	81	1,761
		脇見	98	5	1,095	1,198	828	773	552	109	2,262	170	3,460
動静不注視		165	6	703	874	740	514	371	82	1,707	143	2,581	
安全不確認		358	20	4,392	4,770	1,458	820	784	220	3,282	305	8,052	
安全速度		13	2	32	47	36	10	12	3	61	11	108	
その他		144	4	254	402	103	70	69	18	260	28	662	
その他の違反	45	2	526	573	163	73	67	14	317	30	890		
不明	1	-	6	7	5	3	1	-	9	2	16		
合計	1,204	65	10,975	12,244	4,753	3,413	2,764	699	11,629	985	23,873		

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

※ トレーラは、貨物車（大型、中型、準中型及び普通）の内数。

付録4 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷事故件数（令和元年）

区分 運輸支局等	(件)												合計			
	死亡				重傷				軽傷				バス	ハイタク	トラック	
	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	
北海道	札幌	2	3	4	9	5	42	24	71	24	405	160	589	31	450	188
	函館	0	1	1	2	0	2	2	4	1	29	20	50	1	32	23
	室蘭	0	0	1	1	1	2	4	7	5	11	34	50	6	13	39
	帯広	0	0	1	1	1	1	2	4	5	9	9	23	6	10	12
	釧路	0	0	0	0	0	4	1	5	1	2	8	11	1	6	9
	北見	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4	4	0	0	6
	旭川	0	0	3	3	0	3	5	8	4	36	24	64	4	39	32
小計	2	4	10	16	7	54	40	101	40	492	259	791	49	550	309	
東北	宮城	0	3	5	8	1	15	21	37	10	117	134	261	11	135	160
	福島	1	1	2	4	1	8	12	21	3	41	89	133	5	50	103
	岩手	0	2	2	4	1	3	10	14	2	28	50	80	3	33	62
	青森	0	0	3	3	3	3	10	16	5	45	53	103	8	48	66
	山形	0	2	3	5	1	2	5	8	5	36	56	97	6	40	64
	秋田	0	1	2	3	0	4	3	7	0	22	32	54	0	27	37
	小計	1	9	17	27	7	35	61	103	25	289	414	728	33	333	492
北陸信越	新潟	0	0	4	4	2	5	15	22	5	33	62	100	7	38	81
	長野	0	0	6	6	1	5	14	20	15	43	123	181	16	48	143
	石川	0	1	4	5	4	6	4	14	5	42	71	118	9	49	79
	富山	0	0	0	0	0	2	6	8	4	8	60	72	4	10	66
小計	0	1	14	15	7	18	39	64	29	126	316	471	36	145	369	
関東	東京	3	4	4	11	9	105	61	175	182	2,887	839	3,908	194	2,996	904
	神奈川	0	1	10	11	13	35	39	87	114	775	694	1,583	127	811	743
	千葉	3	3	18	24	12	28	57	97	68	272	547	887	83	303	622
	埼玉	0	0	16	16	8	26	89	123	32	283	935	1,250	40	309	1,040
	茨城	0	0	12	12	1	4	35	40	15	43	278	336	16	47	325
	群馬	0	0	3	3	0	0	11	11	6	53	234	293	6	53	248
	栃木	0	0	3	3	1	4	23	28	3	20	115	138	4	24	141
	山梨	0	1	0	1	1	3	5	9	6	20	61	87	7	24	66
	小計	6	9	66	81	45	205	320	570	426	4,353	3,703	8,482	477	4,567	4,089
中部	愛知	0	0	13	13	5	8	30	43	60	471	825	1,356	65	479	868
	静岡	0	0	7	7	1	6	22	29	32	264	508	804	33	270	537
	岐阜	0	0	3	3	2	3	8	13	2	28	126	156	4	31	137
	三重	0	0	3	3	0	1	15	16	3	20	147	170	3	21	165
	福井	0	0	2	2	0	2	4	6	1	15	45	61	1	17	51
小計	0	0	28	28	8	20	79	107	98	798	1,651	2,547	106	818	1,758	
近畿	大阪	1	3	23	27	7	112	122	241	90	1,363	1,154	2,607	98	1,478	1,299
	京都	0	1	2	3	19	49	35	103	61	203	221	485	80	253	258
	兵庫	1	1	6	8	8	32	42	82	68	498	515	1,081	77	531	563
	滋賀	1	0	1	2	3	6	5	14	3	31	76	110	7	37	82
	奈良	0	0	1	1	2	3	10	15	5	23	95	123	7	26	106
	和歌山	0	1	3	4	0	2	8	10	5	15	65	85	5	18	76
小計	3	6	36	45	39	204	222	465	232	2,133	2,126	4,491	274	2,343	2,384	
中国	広島	0	2	6	8	4	24	20	48	17	145	170	332	21	171	196
	鳥取	0	1	4	5	0	2	4	6	0	7	18	25	0	10	26
	島根	0	0	1	1	1	5	3	9	2	4	19	25	3	9	23
	岡山	0	2	8	10	0	3	24	27	13	52	166	231	13	57	198
	山口	0	1	3	4	2	8	10	20	9	52	62	123	11	61	75
小計	0	6	22	28	7	42	61	110	41	260	435	736	48	308	518	
四国	香川	0	0	5	5	1	6	15	22	11	45	83	139	12	51	103
	徳島	0	1	1	2	0	3	2	5	5	20	57	82	5	24	60
	愛媛	0	0	4	4	0	3	6	9	1	29	58	88	1	32	68
	高知	0	0	4	4	2	5	12	19	0	28	40	68	2	33	56
	小計	0	1	14	15	3	17	35	55	17	122	238	377	20	140	287
九州	福岡	1	3	9	13	6	33	48	87	88	896	604	1,588	95	932	661
	佐賀	0	0	0	0	2	5	5	12	14	41	96	151	16	46	101
	長崎	0	2	2	4	6	15	6	27	36	114	64	214	42	131	72
	熊本	0	0	4	4	1	17	13	31	12	71	98	181	13	88	115
	大分	0	0	4	4	1	11	6	18	2	48	59	109	3	59	69
	宮崎	0	1	3	4	2	6	3	11	11	92	84	187	13	99	90
	鹿児島	1	1	6	8	5	10	11	26	17	70	83	170	23	81	100
小計	2	7	28	37	23	97	92	212	180	1,332	1,088	2,600	205	1,436	1,208	
沖縄	0	3	0	3	3	26	6	35	8	202	38	248	11	231	44	
不明	0	1	4	5	0	12	12	24	10	91	155	256	10	104	171	
合計	14	47	239	300	149	730	967	1,846	1,106	10,198	10,423	21,727	1,269	10,975	11,629	

※ 軽自動車及びミニカーを除く。

※ バスは、バス及びマイクロバス、ハイタクは、ミニバン・セダン等、トラックは、貨物車。

付録5 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局（車籍）別の死傷者数（令和元年）

区分 運輸支局等	死亡				重傷				軽傷				合計			
	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	小計	バス	ハイタク	トラック	
北海道	札幌	2	3	4	9	6	43	27	76	31	462	193	686	39	508	224
	函館	0	1	1	2	0	2	2	4	2	36	26	64	2	39	29
	室蘭	0	0	1	1	1	2	5	8	8	12	42	62	9	14	48
	帯広	0	0	1	1	2	1	2	5	7	9	9	25	9	10	12
	釧路	0	0	0	0	0	4	1	5	1	2	13	16	1	6	14
	北見	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4	4	0	0	6
	旭川	0	0	3	3	0	3	5	8	6	46	33	85	6	49	41
小計	2	4	10	16	9	55	44	108	55	567	320	942	66	626	374	
東北	宮城	0	3	5	8	1	17	25	43	10	147	184	341	11	167	214
	福島	1	1	2	4	1	8	15	24	3	45	117	165	5	54	134
	岩手	0	2	2	4	1	3	10	14	4	34	62	100	5	39	74
	青森	0	0	3	3	3	3	11	17	7	53	73	133	10	56	87
	山形	0	2	5	7	1	2	5	8	5	44	62	111	6	48	72
	秋田	0	1	2	3	0	4	3	7	0	24	42	66	0	29	47
小計	1	9	19	29	7	37	69	113	29	347	540	916	37	393	628	
北陸信越	新潟	0	0	4	4	2	5	19	26	10	40	83	133	12	45	106
	長野	0	0	6	6	1	5	17	23	28	49	166	243	29	54	189
	石川	0	1	4	5	4	6	5	15	8	49	95	152	12	56	104
	富山	0	0	0	0	0	2	6	8	5	10	78	93	5	12	84
	小計	0	1	14	15	7	18	47	72	51	148	422	621	58	167	483
関東	東京	3	4	4	11	9	106	64	179	215	3,298	1,037	4,550	227	3,408	1,105
	神奈川	0	1	10	11	15	36	41	92	142	876	898	1,916	157	913	949
	千葉	3	3	19	25	18	28	61	107	94	325	784	1,203	115	356	864
	埼玉	0	0	16	16	9	26	92	127	48	329	1,300	1,677	57	355	1,408
	茨城	0	0	12	12	1	4	35	40	33	54	394	481	34	58	441
	群馬	0	0	3	3	0	0	12	12	8	61	311	380	8	61	326
	栃木	0	0	3	3	1	4	25	30	4	23	151	178	5	27	179
	山梨	0	1	0	1	1	3	5	9	13	24	84	121	14	28	89
	小計	6	9	67	82	54	207	335	596	557	4,990	4,959	10,506	617	5,206	5,361
中部	愛知	0	0	13	13	5	9	35	49	90	564	1,060	1,714	95	573	1,108
	静岡	0	0	7	7	1	6	24	31	36	335	676	1,047	37	341	707
	岐阜	0	0	3	3	2	3	9	14	2	33	175	210	4	36	187
	三重	0	0	4	4	0	1	16	17	4	20	210	234	4	21	230
	福井	0	0	2	2	0	2	5	7	1	17	68	86	1	19	75
小計	0	0	29	29	8	21	89	118	133	969	2,189	3,291	141	990	2,307	
近畿	大阪	1	3	23	27	11	114	132	257	125	1,594	1,552	3,271	137	1,711	1,707
	京都	0	1	2	3	20	51	38	109	81	235	339	655	101	287	379
	兵庫	2	1	7	10	9	34	46	89	92	584	668	1,344	103	619	721
	滋賀	1	0	1	2	3	6	5	14	3	34	108	145	7	40	114
	奈良	0	0	1	1	2	3	10	15	5	32	115	152	7	35	126
	和歌山	0	1	3	4	0	2	8	10	11	19	104	134	11	22	115
	小計	4	6	37	47	45	210	239	494	317	2,498	2,886	5,701	366	2,714	3,162
中国	広島	0	2	6	8	4	27	22	53	20	179	229	428	24	208	257
	鳥取	0	1	4	5	0	2	4	6	0	8	20	28	0	11	28
	島根	0	0	1	1	1	5	3	9	2	4	25	31	3	9	29
	岡山	0	2	8	10	0	3	28	31	14	58	233	305	14	63	269
	山口	0	1	3	4	2	8	10	20	9	62	86	157	11	71	99
小計	0	6	22	28	7	45	67	119	45	311	593	949	52	362	682	
四国	香川	0	0	5	5	1	6	16	23	20	50	115	185	21	56	136
	徳島	0	1	1	2	0	3	2	5	7	26	77	110	7	30	80
	愛媛	0	0	4	4	0	3	7	10	1	30	72	103	1	33	83
	高知	0	0	4	4	2	5	12	19	0	29	54	83	2	34	70
小計	0	1	14	15	3	17	37	57	28	135	318	481	31	153	369	
九州	福岡	1	3	10	14	6	34	53	93	116	1,136	817	2,069	123	1,173	880
	佐賀	0	0	0	0	2	5	6	13	20	53	130	203	22	58	136
	長崎	0	2	2	4	6	15	9	30	48	143	84	275	54	160	95
	熊本	0	0	4	4	1	18	17	36	13	92	152	257	14	110	173
	大分	0	0	4	4	1	11	6	18	2	59	97	158	3	70	107
	宮崎	0	1	3	4	2	6	3	11	12	105	108	225	14	112	114
	鹿児島	1	1	6	8	5	10	12	27	24	84	115	223	30	95	133
	小計	2	7	29	38	23	99	106	228	235	1,672	1,503	3,410	260	1,778	1,638
沖縄	0	3	0	3	3	26	6	35	9	230	46	285	12	259	52	
不明	0	1	4	5	0	13	13	26	12	125	210	347	12	139	227	
合計	15	47	245	307	166	748	1,052	1,966	1,471	11,992	13,986	27,449	1,652	12,787	15,283	

※ 軽自動車及びミニカーを除く

※ バスは、バス及びマイクロバス、ハイタクは、ミニバン及びセダン等、トラックは、貨物車。

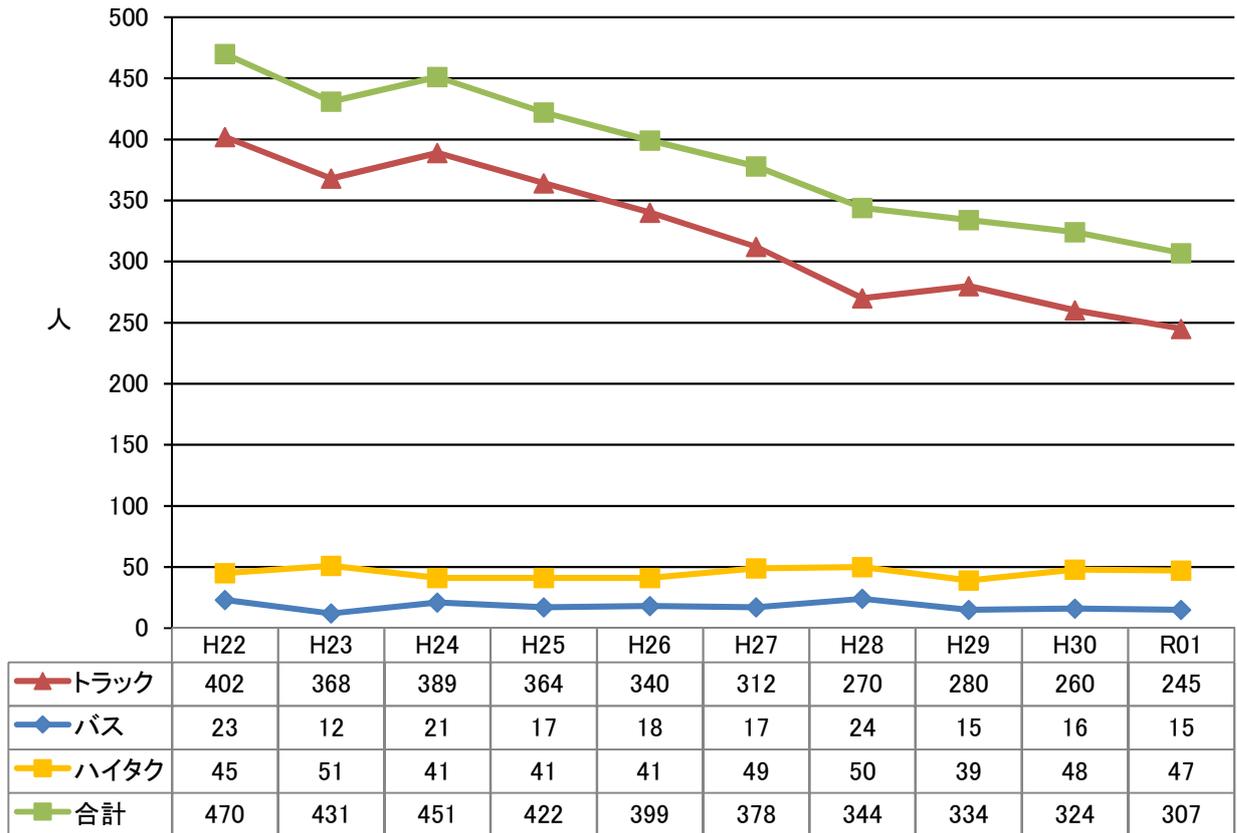
※ 死傷者数とは、事業用自動車が第1当事者となった事故における全当事者数をいう。

付録6 交通事故発生状況の推移（平成4-令和元年）

事故状況 年	全体			貨物自動車					
	事故件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)	事故件数(件)		死者数(人)		負傷者数(人)	
				事業用	自家用	事業用	自家用	事業用	自家用
平成4年	695,346	11,452	844,003	23,694	74,660	763	1,133	30,605	89,592
平成5年	724,678	10,945	878,633	24,258	77,740	708	1,074	31,281	93,211
平成6年	729,461	10,653	881,723	26,114	78,910	750	1,042	33,884	94,482
平成7年	761,794	10,684	922,677	27,840	82,551	800	1,125	35,984	99,112
平成8年	771,085	9,943	942,204	28,102	80,633	762	980	36,716	97,948
平成9年	780,401	9,642	958,925	28,453	79,063	710	954	37,361	96,147
平成10年	803,882	9,214	990,676	28,086	77,580	728	902	36,957	94,516
平成11年	850,371	9,012	1,050,399	29,721	80,294	715	896	39,630	98,544
平成12年	931,950	9,073	1,155,707	32,953	84,938	763	801	43,960	104,756
平成13年	947,253	8,757	1,181,039	33,292	83,530	690	820	44,669	103,559
平成14年	936,950	8,396	1,168,029	32,162	79,297	688	735	43,138	98,481
平成15年	948,281	7,768	1,181,681	32,492	78,786	657	691	43,726	97,801
平成16年	952,720	7,436	1,183,617	32,403	76,464	637	622	43,460	94,962
平成17年	934,346	6,937	1,157,113	32,000	73,446	632	571	42,656	90,986
平成18年	887,267	6,415	1,098,564	30,328	68,005	557	519	40,328	84,300
平成19年	832,704	5,796	1,034,652	27,356	61,829	534	506	36,316	77,224
平成20年	766,394	5,209	945,703	24,222	55,315	428	430	31,852	68,608
平成21年	737,637	4,979	911,215	20,681	49,851	387	371	27,049	62,133
平成22年	725,924	4,948	896,297	21,049	48,747	402	412	27,897	60,605
平成23年	692,084	4,691	854,613	20,568	46,826	368	386	27,282	58,427
平成24年	665,157	4,438	825,392	19,474	43,978	389	316	25,739	55,825
平成25年	629,033	4,388	781,492	18,491	41,172	364	289	24,599	51,903
平成26年	573,842	4,113	711,374	17,801	37,502	340	328	23,662	47,720
平成27年	536,899	4,117	666,023	16,156	34,719	312	257	21,366	44,468
平成28年	499,201	3,904	618,853	14,600	32,197	270	277	19,165	41,186
平成29年	472,165	3,694	580,850	14,217	30,290	280	236	18,611	38,239
平成30年	430,601	3,532	525,846	13,428	28,117	260	251	17,508	35,278
令和元年	381,237	3,215	461,775	11,629	24,950	245	223	15,038	31,237

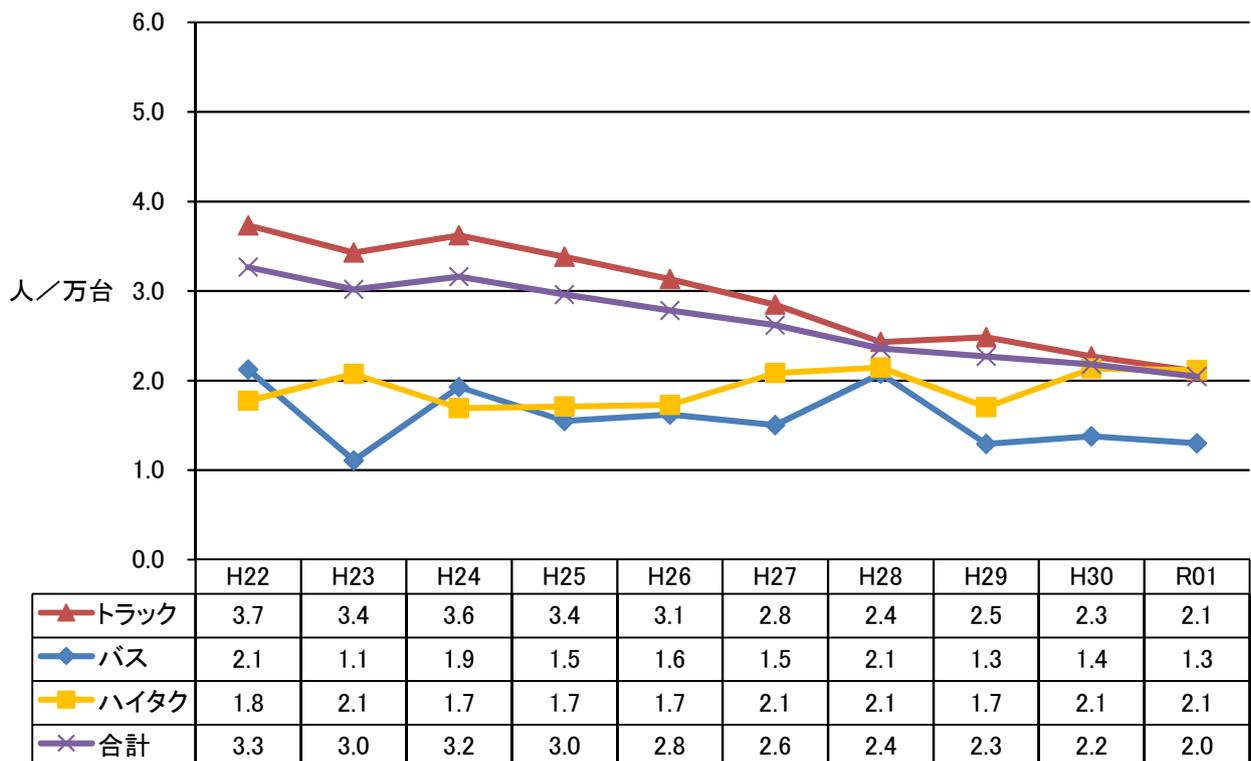
※貨物自動車は、軽自動車を除く。

付録7 事業用自動車の業態別死者数の推移（平成22-令和元年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

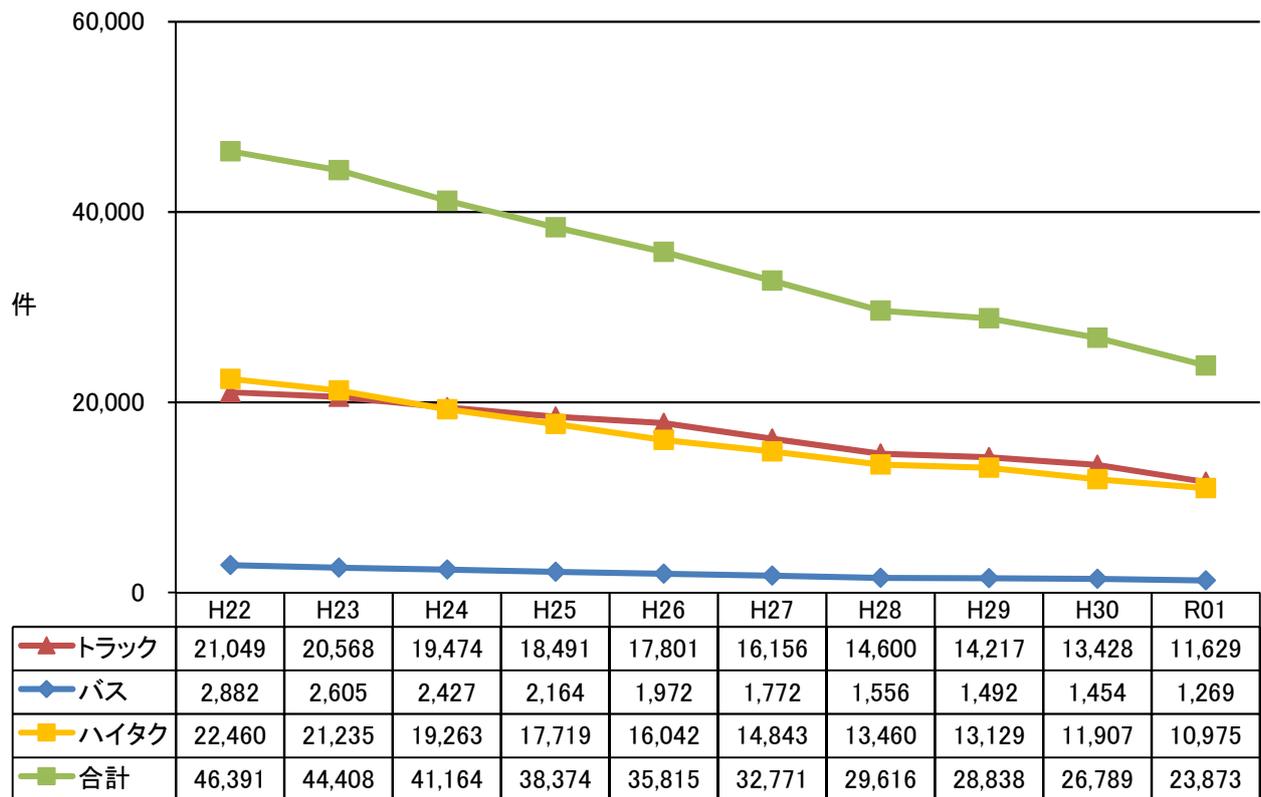
付録8 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移（平成22-令和元年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

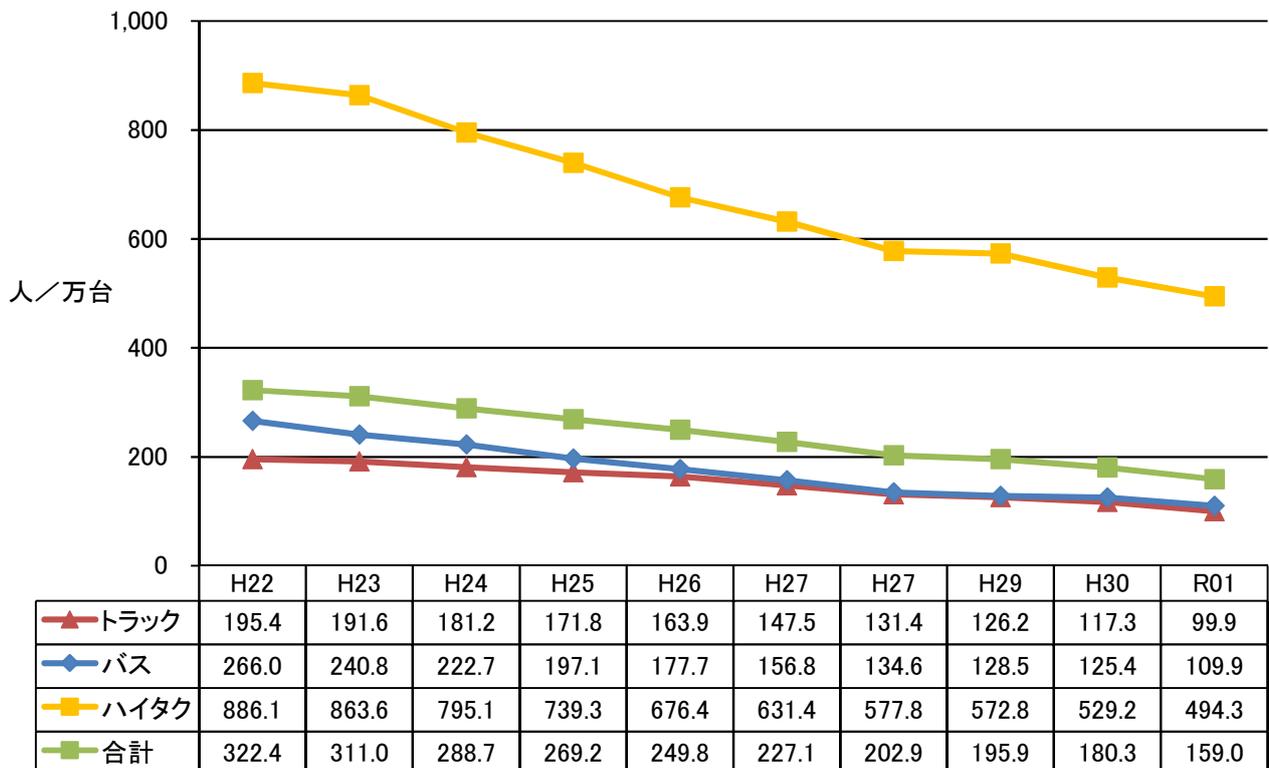
※ 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（令和元年12月末現在）」を使用した。

付録9 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）



※ 軽自動車及びミニカーを除く

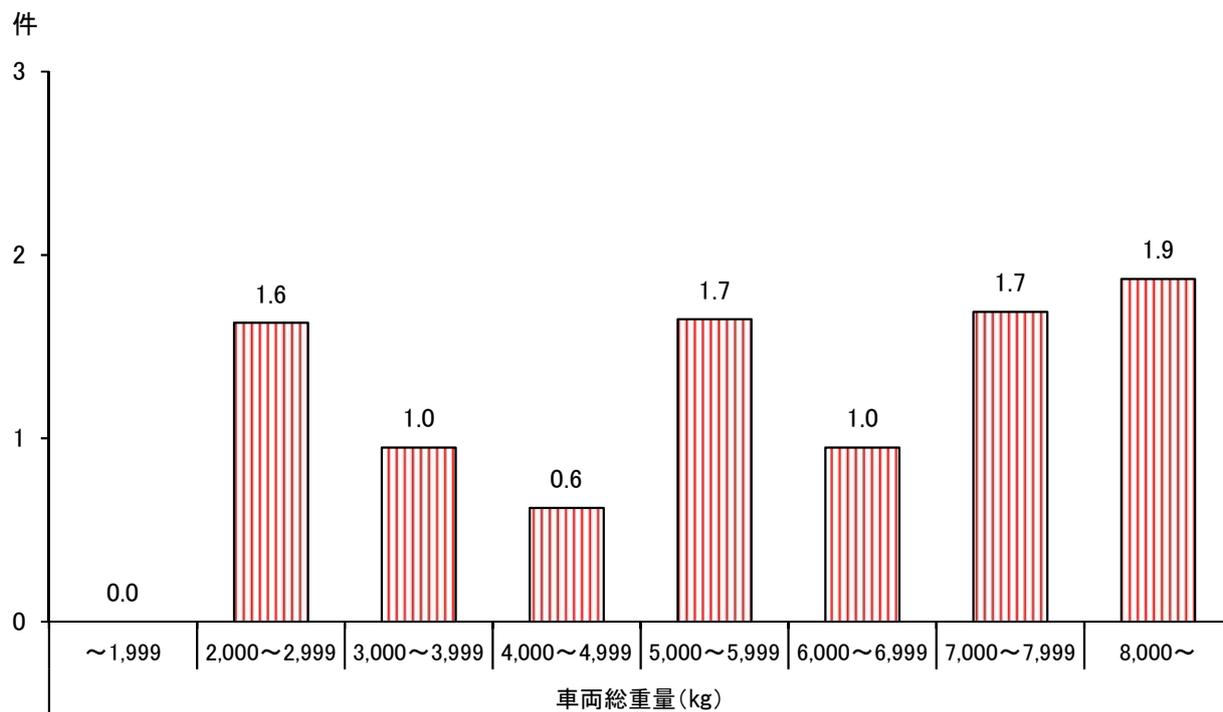
付録10 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）



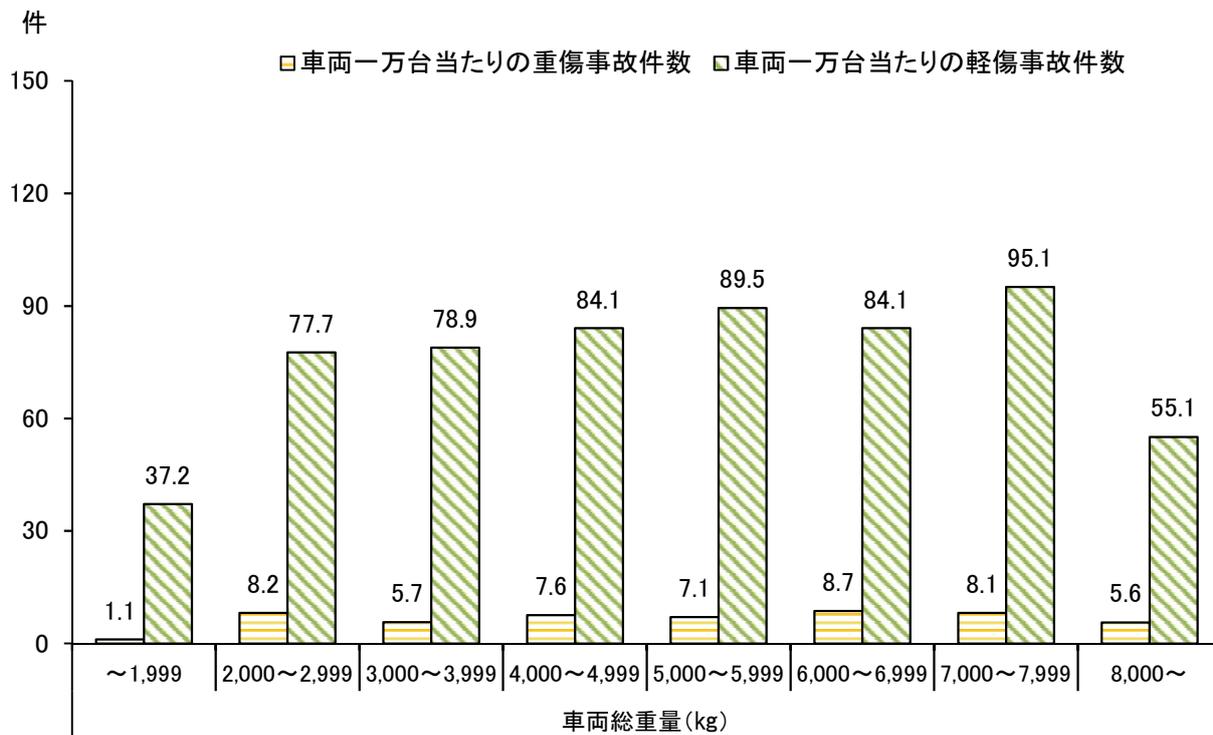
※ 軽自動車及びミニカーを除く

※ 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数（令和元年12月末現在）」を使用した。

付録11 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数（令和元年）



付録12 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数（令和元年）



付録13 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況（平成22-令和元年）

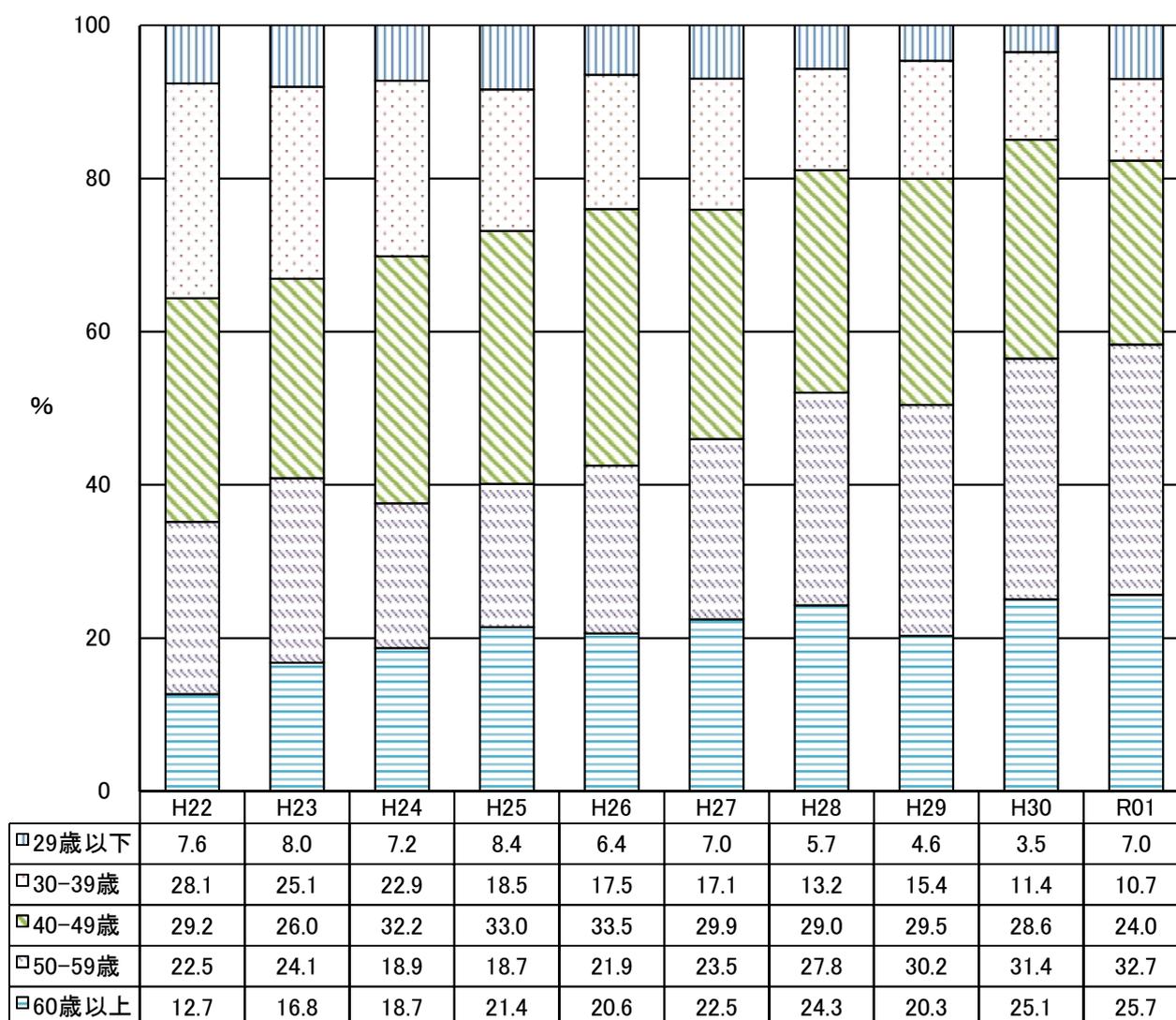
(1-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H22		34	126	131	101	57	449
H23		33	103	107	99	69	411
H24		31	98	138	81	80	428
H25		34	75	134	76	87	406
H26		25	68	130	85	80	388
H27		26	64	112	88	84	374
H28		18	42	92	88	77	317
H29		15	50	96	98	66	325
H30		11	36	90	99	79	315
R01		21	32	72	98	77	300

※ 軽自動車及びミニカーを除く

(1-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



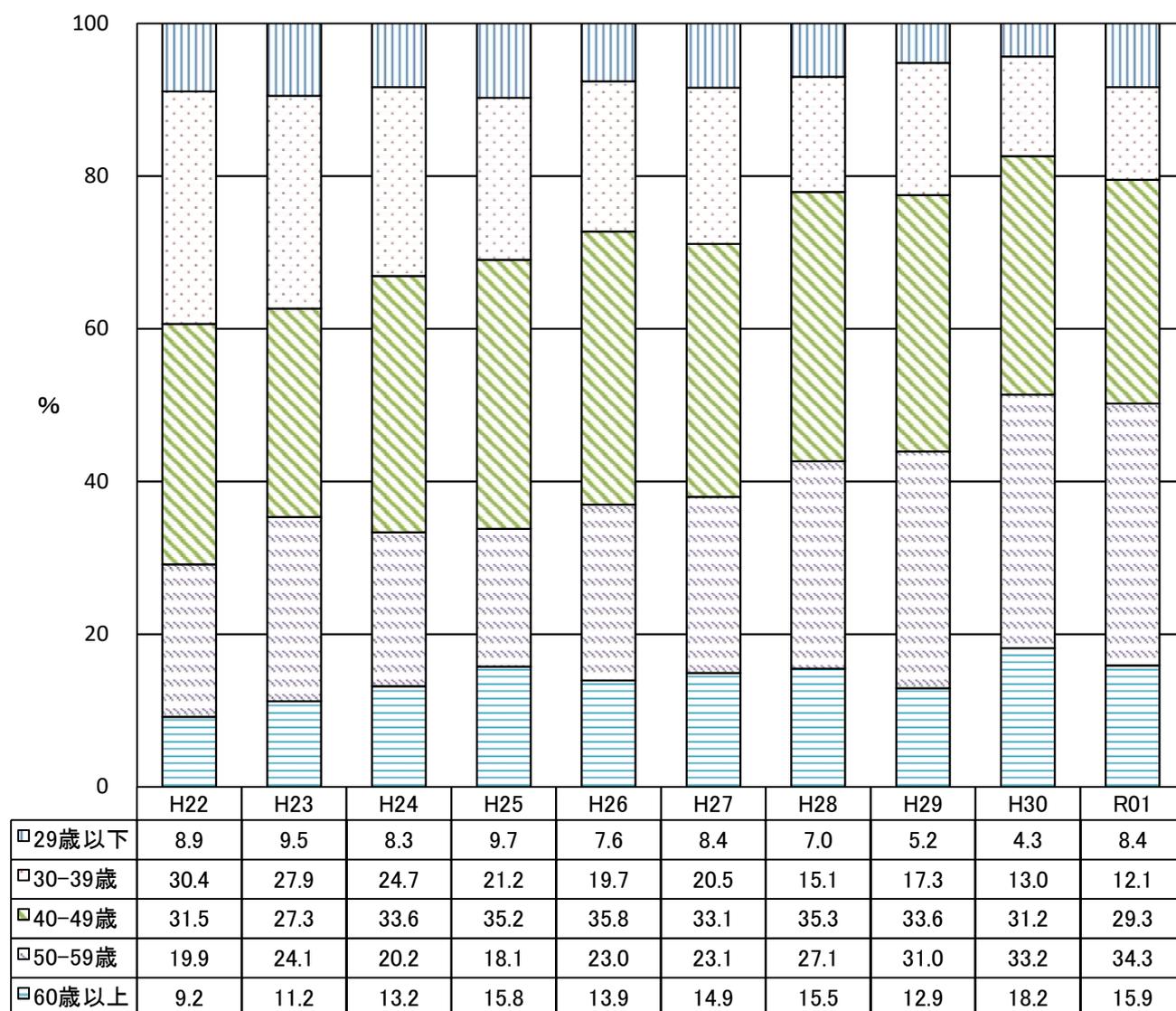
(2-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H22		34	116	120	76	35	381
H23		33	97	95	84	39	348
H24		31	92	125	75	49	372
H25		34	74	123	63	55	349
H26		25	65	118	76	46	330
H27		26	63	102	71	46	308
H28		18	39	91	70	40	258
H29		14	47	91	84	35	271
H30		11	33	79	84	46	253
R01		20	29	70	82	38	239

※ 軽自動車を除く

(2-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移（トラック）



付録14 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況（平成22-令和元年）

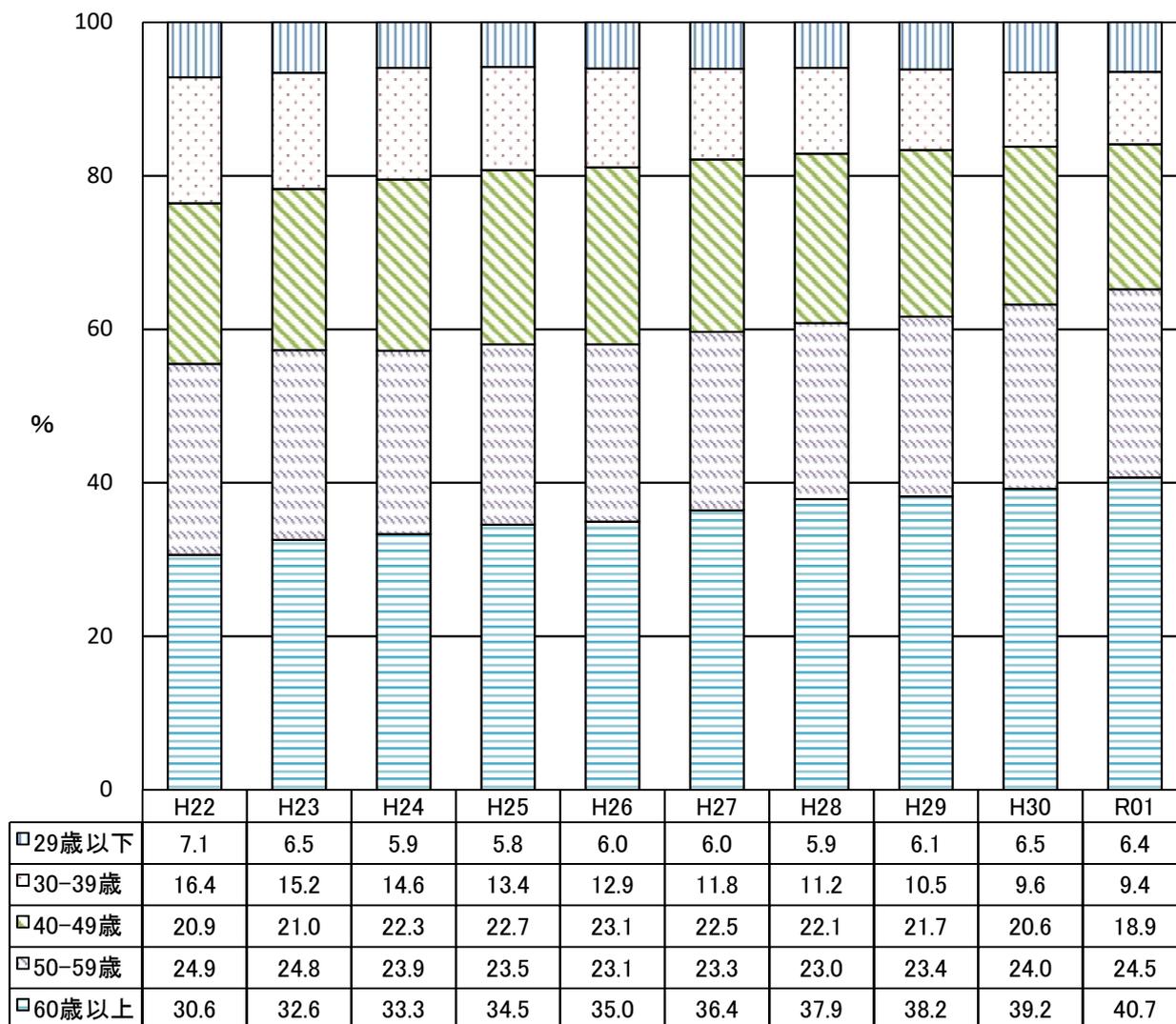
(1-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移（バス・ハイタク・トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H22		3,312	7,613	9,708	11,547	14,211	46,391
H23		2,902	6,736	9,318	10,991	14,461	44,408
H24		2,442	5,991	9,178	9,843	13,710	41,164
H25		2,232	5,155	8,709	9,026	13,252	38,374
H26		2,154	4,614	8,262	8,267	12,518	35,815
H27		1,976	3,878	7,359	7,621	11,937	32,771
H28		1,759	3,307	6,534	6,804	11,212	29,616
H29		1,764	3,035	6,258	6,758	11,023	28,838
H30		1,747	2,584	5,520	6,433	10,505	26,789
R01		1,535	2,253	4,514	5,853	9,718	23,873

※ 軽自動車及びミニカーを除く

(1-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（バス・ハイタク・トラック）



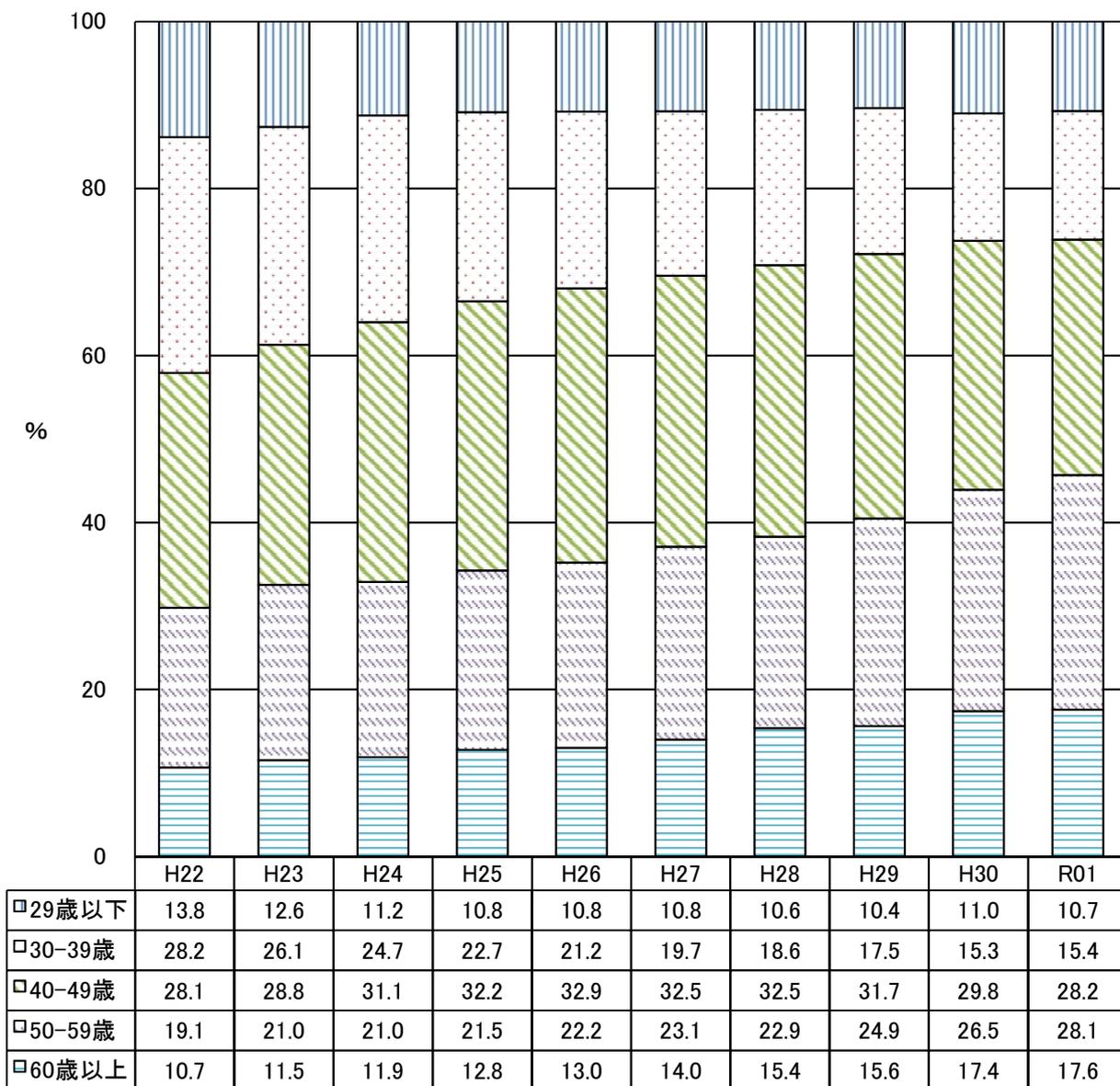
(2-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移（トラック）

(件)

年	運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H22		2,912	5,946	5,918	4,030	2,243	21,049
H23		2,595	5,363	5,919	4,320	2,371	20,568
H24		2,189	4,818	6,065	4,084	2,318	19,474
H25		2,005	4,190	5,962	3,971	2,363	18,491
H26		1,921	3,766	5,848	3,950	2,316	17,801
H27		1,739	3,181	5,244	3,728	2,264	16,156
H28		1,543	2,717	4,750	3,345	2,245	14,600
H29		1,473	2,487	4,501	3,535	2,221	14,217
H30		1,477	2,048	4,003	3,561	2,339	13,428
R01		1,247	1,790	3,281	3,266	2,045	11,629

※ 軽自動車を除く

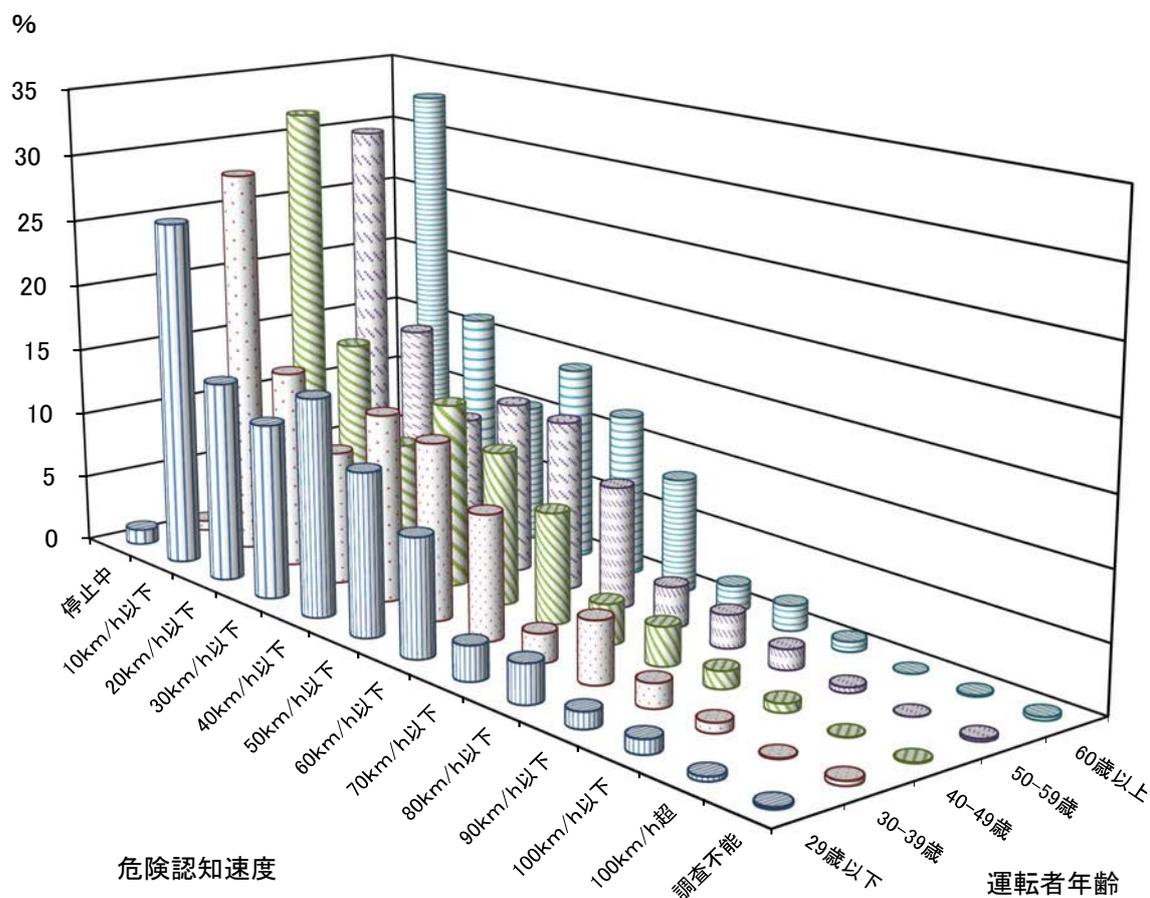
(2-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移（トラック）



付録15 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率（令和元年）

(%)

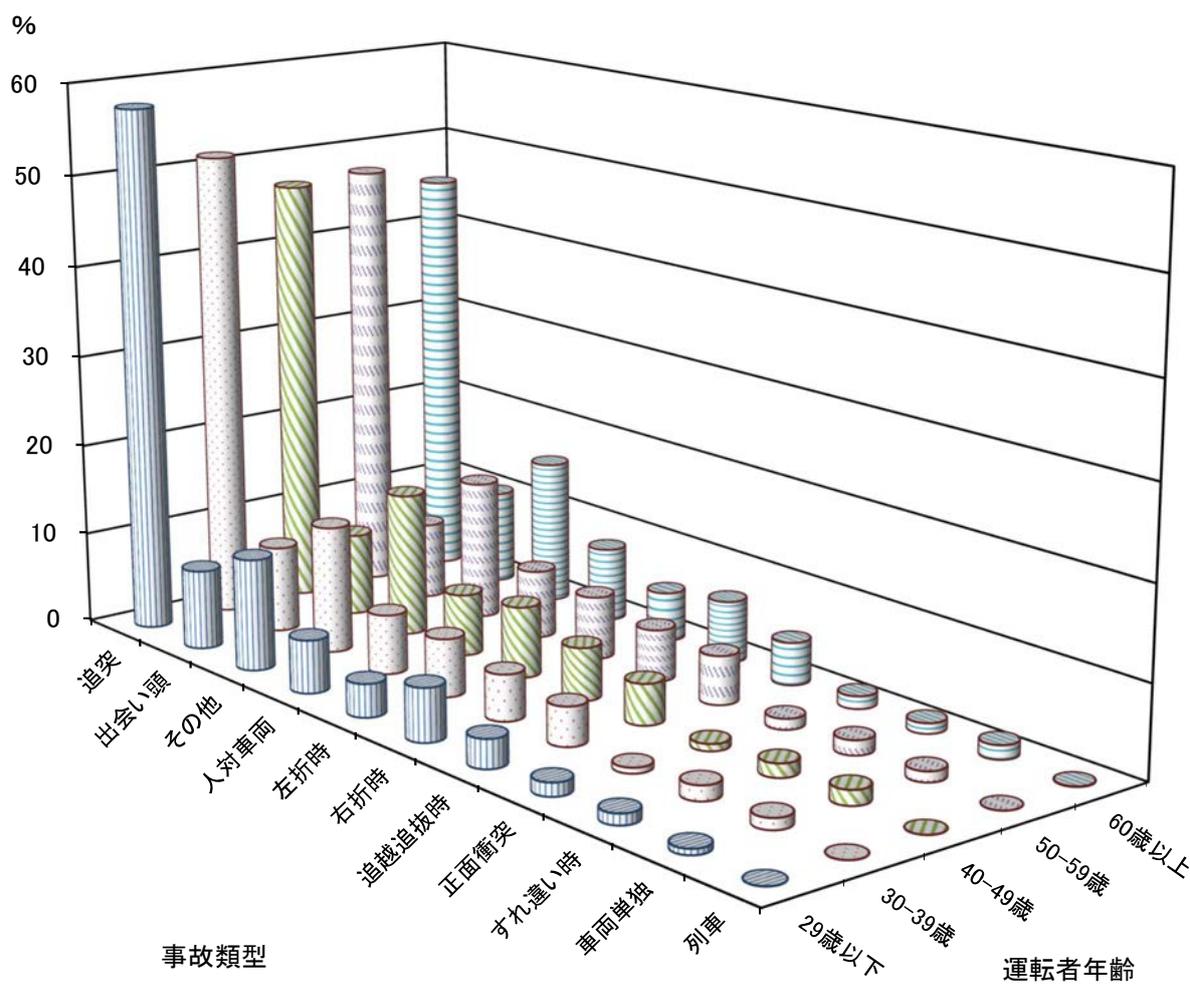
運転者年齢 危険認知速度	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
停止中	1.1	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8
10km/h以下	25.9	28.8	32.8	30.8	33.0	30.9
20km/h以下	14.9	14.7	16.0	16.2	16.2	15.8
30km/h以下	13.0	9.9	9.4	10.4	10.3	10.3
40km/h以下	16.1	13.9	13.7	12.7	14.4	13.8
50km/h以下	12.0	13.1	11.3	12.6	12.0	12.1
60km/h以下	8.7	9.2	8.2	9.0	8.5	8.7
70km/h以下	2.6	2.1	3.0	3.0	1.9	2.6
80km/h以下	2.9	4.6	2.9	2.4	1.9	2.8
90km/h以下	1.2	1.8	1.3	1.5	0.7	1.3
100km/h以下	1.0	0.7	0.6	0.4	0.0	0.5
100km/h超	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
調査不能	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録16 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）

(%)

事故類型 \ 運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
追突	57.6	51.2	46.8	47.3	45.1	48.5
出会い頭	8.7	9.4	9.0	8.4	10.3	9.1
その他	12.2	13.9	15.6	15.2	15.7	14.9
人対車両	5.8	6.5	6.7	7.4	8.1	7.0
左折時	3.6	6.3	7.7	6.9	5.4	6.4
右折時	5.8	5.0	5.8	5.6	6.7	5.8
追越追抜時	3.1	4.2	4.4	5.3	4.6	4.5
正面衝突	1.4	0.6	0.8	1.2	1.4	1.0
すれ違い時	1.2	1.6	1.5	1.6	1.1	1.4
車両単独	0.6	1.2	1.6	1.1	1.5	1.3
列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録17 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数（令和元年）

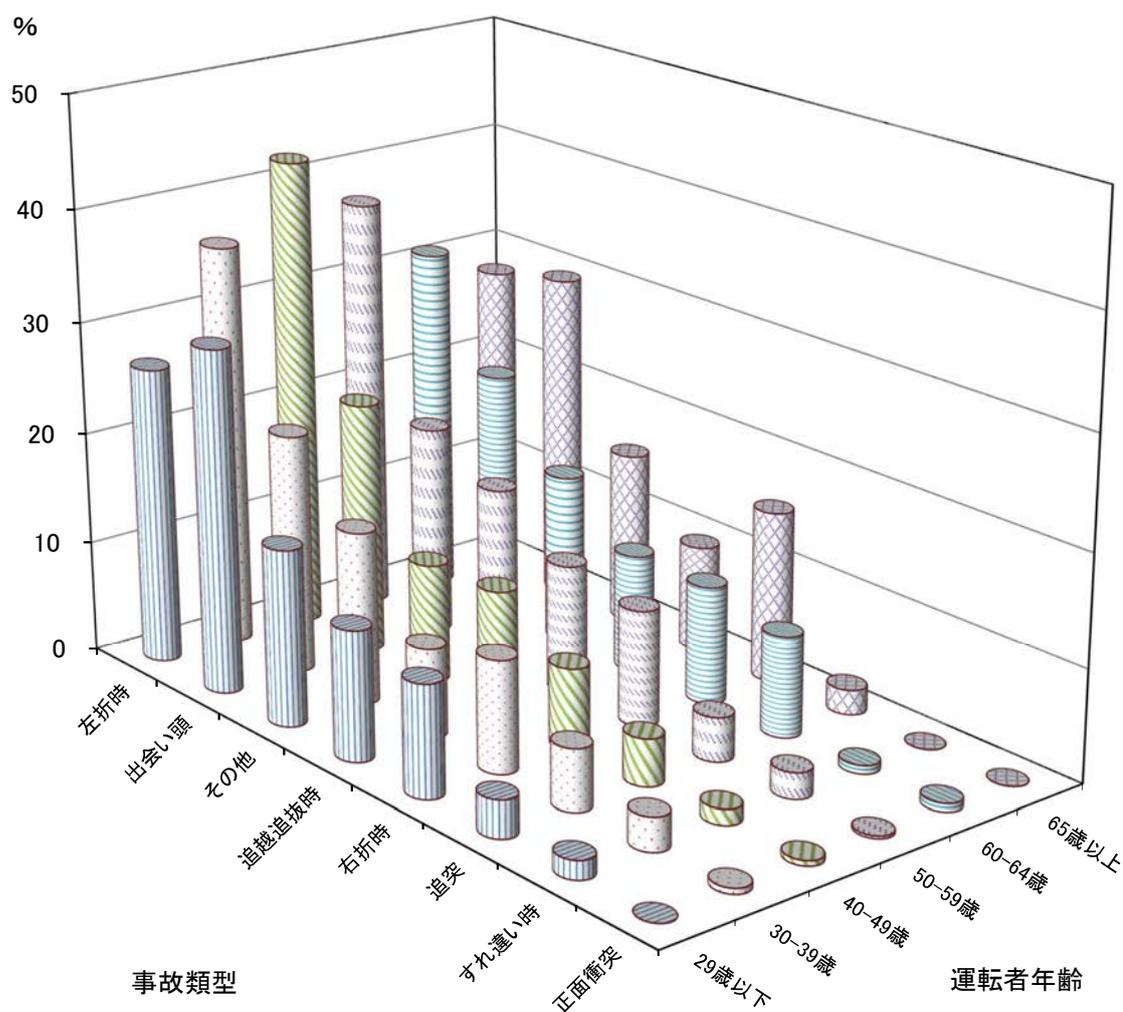
(件)

事故内容		死亡			重傷			軽傷			合計		
		高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計
事故類型詳細区分	道路区分												
自 転 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	3	3	0	2	2	0	5
	追突	進行中	0	8	8	0	23	23	0	25	25	0	56
		駐・停車中	0	2	2	0	4	4	0	3	3	0	9
	出会い頭衝突	0	9	9	0	59	59	0	259	259	0	327	
	追越・追抜時衝突	0	1	1	0	30	30	0	124	124	0	155	
	進路変更時衝突	0	0	0	0	2	2	0	6	6	0	8	
	すれ違い時衝突	0	1	1	0	3	3	0	21	21	0	25	
	左折時衝突	0	24	24	0	74	74	0	426	426	0	524	
	右折時衝突	0	2	2	0	26	26	0	115	115	0	143	
	横断時衝突	0	2	2	0	4	4	0	18	18	0	24	
	転回時衝突	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	
	後退時衝突	0	0	0	0	2	2	0	29	29	0	31	
	その他	0	2	2	0	14	14	0	124	124	0	140	
小計	0	51	51	0	245	245	0	1,153	1,153	0	1,449		
二 輪 車	正面衝突	追越・追抜	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2
		その他	0	0	0	0	2	2	0	4	4	0	6
	追突	進行中	0	1	1	2	5	7	0	25	25	2	31
		駐・停車中	0	3	3	0	8	8	3	128	131	3	139
	出会い頭衝突	0	7	7	0	38	38	0	108	108	0	153	
	追越・追抜時衝突	0	4	4	0	23	23	0	88	88	0	115	
	進路変更時衝突	0	0	0	4	13	17	4	73	77	8	94	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	1	1	0	9	9	0	10	
	左折時衝突	0	0	0	0	18	18	0	90	90	0	108	
	右折時衝突	0	3	3	0	43	43	0	144	144	0	190	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	
	転回時衝突	0	0	0	0	1	1	0	13	13	0	14	
	後退時衝突	0	0	0	0	1	1	0	80	80	0	81	
	その他	0	0	0	0	14	14	3	67	70	3	81	
小計	0	19	19	6	168	174	10	831	841	16	1,018		
車 両 相 互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2
		その他	0	9	9	0	21	21	1	74	75	1	104
	追突	進行中	4	1	5	21	15	36	277	346	623	302	362
		駐・停車中	12	6	18	40	79	119	451	4,147	4,598	503	4,735
	出会い頭衝突	0	2	2	0	44	44	3	524	527	3	570	
	追越・追抜時衝突	0	0	0	3	7	10	33	216	249	36	223	
	進路変更時衝突	0	0	0	6	7	13	202	341	543	208	348	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	8	8	1	124	125	1	132	
	左折時衝突	0	0	0	0	2	2	5	107	112	5	109	
	右折時衝突	0	2	2	0	29	29	2	307	309	2	338	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	
	転回時衝突	0	1	1	1	1	2	0	33	33	1	35	
	後退時衝突	0	0	0	1	4	5	21	344	365	22	348	
	その他	1	1	2	8	8	16	55	214	269	64	223	
小計	17	22	39	80	227	307	1,051	6,779	7,830	1,148	7,028		
四 輪 車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	追突	進行中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		駐・停車中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	出会い頭衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	追越・追抜時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	進路変更時衝突	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	
	すれ違い時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	左折時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	右折時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	横断時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	転回時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	後退時衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1		
合計	17	92	109	86	641	727	1,061	8,763	9,824	1,164	9,496		

付録18 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率
(令和元年)

(%)

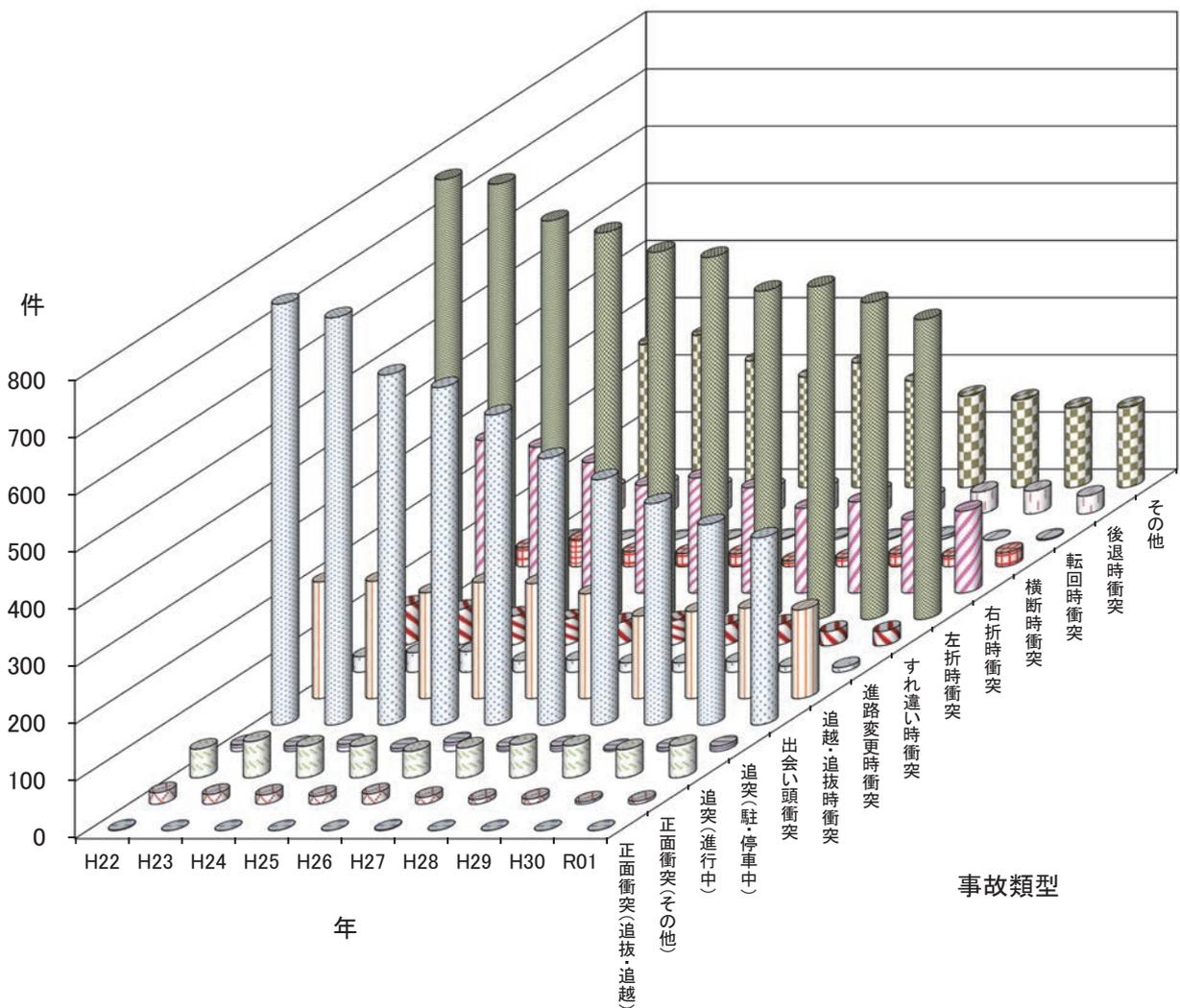
事故類型 \ 運転者年齢	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65歳以上	合計
左折時	26.7	36.0	42.2	37.0	31.1	27.9	36.2
出会い頭	30.8	21.5	22.6	18.8	22.0	29.4	22.6
その他	15.8	15.5	10.7	15.7	15.2	15.4	14.1
追越追抜時	11.7	8.0	11.2	11.6	10.6	9.6	10.7
右折時	10.0	10.0	7.2	10.4	10.6	15.4	9.9
追突	3.3	5.5	4.2	3.9	9.1	2.2	4.5
すれ違い時	1.7	3.0	1.4	2.3	0.8	0.0	1.7
正面衝突	0.0	0.5	0.5	0.2	0.8	0.0	0.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録19 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況

(1) 対自転車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

事故類型		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	
対自転車	正面衝突	追越・追抜	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		その他	20	17	16	14	18	12	8	9	4	5
	追突	進行中	50	63	55	55	46	52	58	56	49	56
		駐・停車中	11	9	12	5	15	8	9	3	6	9
	出会い頭衝突	736	712	612	590	542	466	429	387	350	327	
	追越・追抜時衝突	204	205	185	203	201	183	144	152	158	155	
	進路変更時衝突	27	34	36	20	21	16	16	18	10	8	
	すれ違い時衝突	69	62	50	45	39	42	36	36	25	25	
	左折時衝突	769	761	697	676	642	633	574	582	554	524	
	右折時衝突	267	255	228	188	201	184	148	159	128	143	
	横断時衝突	33	47	26	23	22	10	15	22	18	24	
	転回時衝突	1	0	0	1	2	3	2	6	0	2	
	後退時衝突	43	50	46	44	45	38	29	38	40	31	
	その他	250	266	221	193	218	186	160	153	139	140	
	合計		2,481	2,481	2,184	2,057	2,012	1,834	1,628	1,621	1,481	1,449



(2-1) 対自転車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（令和元年）

(件)

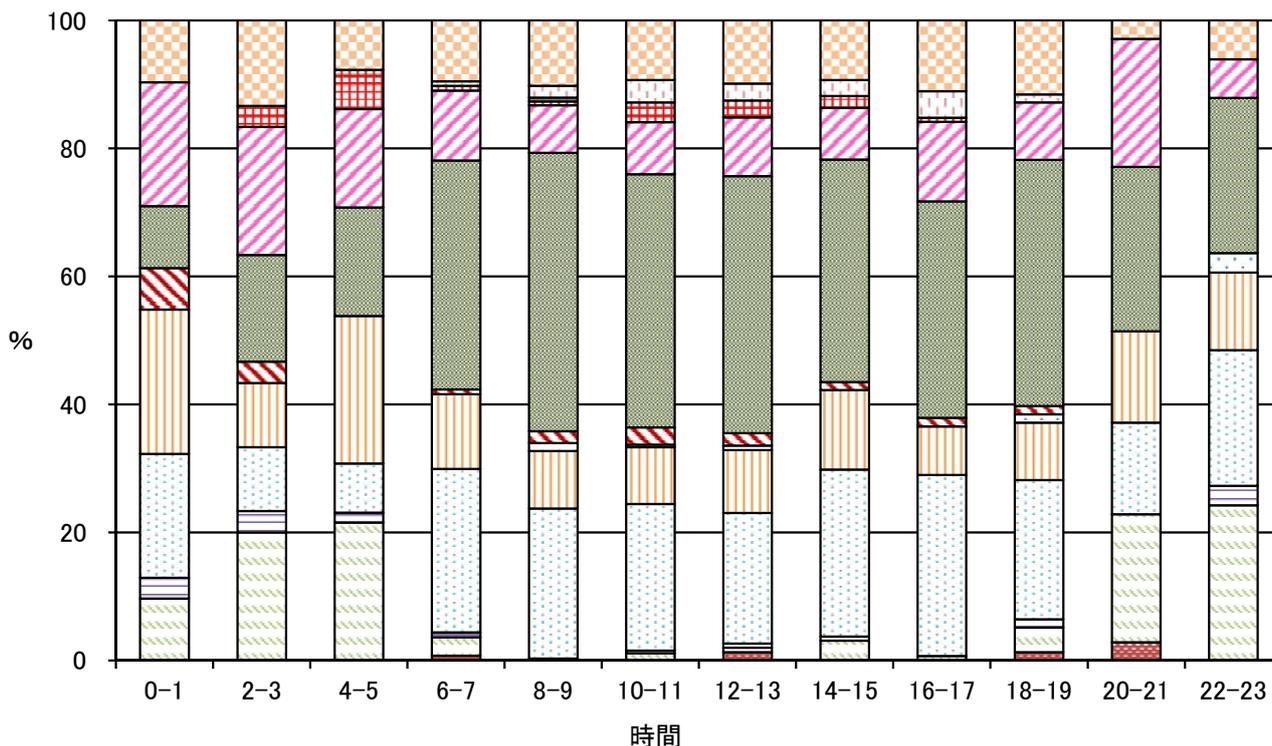
事故類型		時間（2時間毎）												合計		
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23			
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	5	
	追突	進行中	3	6	14	4	1	3	1	5	1	3	7	8	56	
		駐・停車中	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	9	
	出会い頭衝突	6	3	5	35	76	59	31	42	41	17	5	7	327		
	追越・追抜時衝突	7	3	15	16	29	23	15	20	11	7	5	4	155		
	進路変更時衝突	0	0	0	0	4	1	1	0	0	1	0	1	8		
	すれ違い時衝突	2	1	0	1	6	7	3	2	2	1	0	0	25		
	左折時衝突	3	5	11	49	141	102	61	56	49	30	9	8	524		
	右折時衝突	6	6	10	15	24	21	14	13	18	7	7	2	143		
	横断時衝突	0	1	4	1	2	8	4	3	1	0	0	0	24		
	転回時衝突	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2		
	後退時衝突	0	0	0	1	6	9	4	4	6	1	0	0	31		
	その他	3	4	5	13	33	24	15	15	16	9	1	2	140		
	合計		31	30	65	137	324	258	152	161	145	78	35	33	1,449	

(2-2) 対自転車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対自転車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	2.9	0.0	0.3
	追突	進行中	9.7	20.0	21.5	2.9	0.3	1.2	0.7	3.1	0.7	3.8	20.0	24.2	3.9
		駐・停車中	3.2	3.3	1.5	0.7	0.0	0.4	0.7	0.6	0.0	1.3	0.0	3.0	0.6
	出会い頭衝突	19.4	10.0	7.7	25.5	23.5	22.9	20.4	26.1	28.3	21.8	14.3	21.2	22.6	
	追越・追抜時衝突	22.6	10.0	23.1	11.7	9.0	8.9	9.9	12.4	7.6	9.0	14.3	12.1	10.7	
	進路変更時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.4	0.7	0.0	0.0	1.3	0.0	3.0	0.6	
	すれ違い時衝突	6.5	3.3	0.0	0.7	1.9	2.7	2.0	1.2	1.4	1.3	0.0	0.0	1.7	
	左折時衝突	9.7	16.7	16.9	35.8	43.5	39.5	40.1	34.8	33.8	38.5	25.7	24.2	36.2	
	右折時衝突	19.4	20.0	15.4	10.9	7.4	8.1	9.2	8.1	12.4	9.0	20.0	6.1	9.9	
	横断時衝突	0.0	3.3	6.2	0.7	0.6	3.1	2.6	1.9	0.7	0.0	0.0	0.0	1.7	
	転回時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
	後退時衝突	0.0	0.0	0.0	0.7	1.9	3.5	2.6	2.5	4.1	1.3	0.0	0.0	2.1	
	その他	9.7	13.3	7.7	9.5	10.2	9.3	9.9	9.3	11.0	11.5	2.9	6.1	9.7	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 正面衝突(追抜・追越)
- 正面衝突(その他)
- 追突(進行中)
- 追突(駐・停車中)
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対自転車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（令和元年）

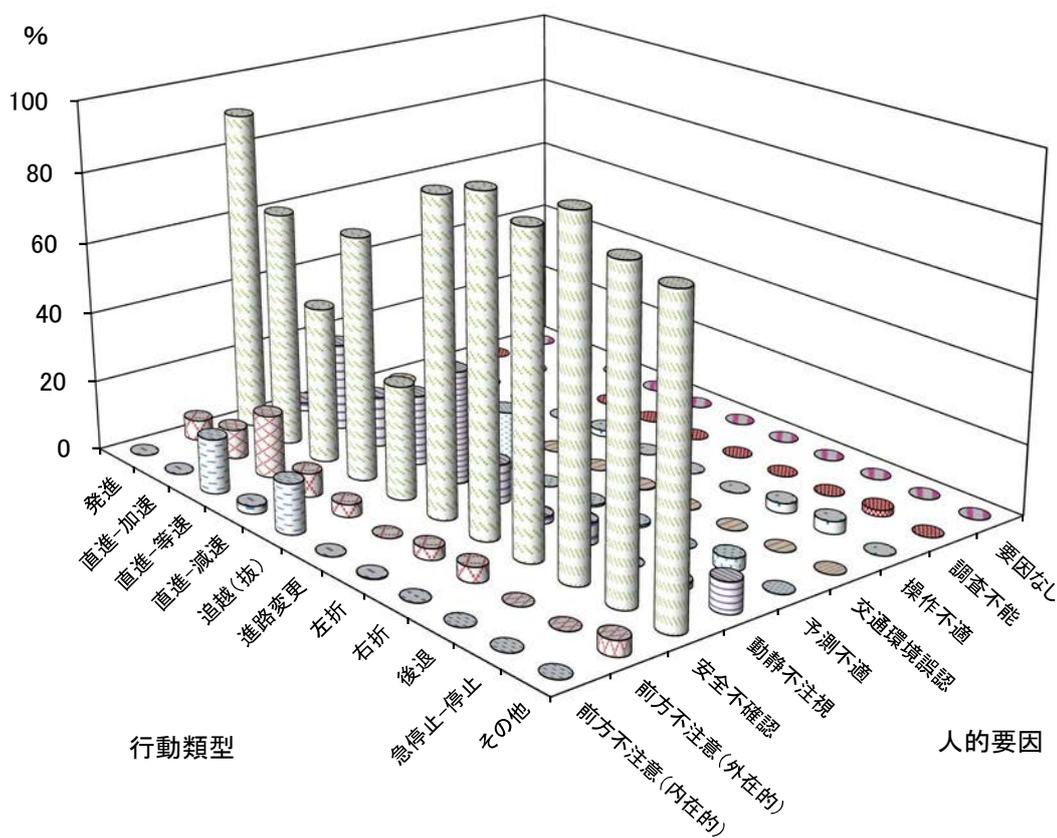
(件)

人的要因 \ 行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	0	0	58	1	8	0	1	0	0	0	0	68
前方不注意(外在的)	7	1	66	3	2	0	18	7	0	0	1	105
安全不確認	110	8	165	31	18	8	522	144	35	50	20	1,111
動静不注視	3	3	54	9	18	1	11	10	0	1	2	112
予測不適	1	0	22	0	9	0	3	1	0	2	0	38
交通環境誤認	0	0	6	1	0	0	1	0	0	0	0	8
操作不適	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	5
調査不能	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	121	12	373	45	56	9	556	162	36	56	23	1,449

(3-2) 対自転車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（令和元年）

(%)

人的要因 \ 行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	0.0	0.0	15.5	2.2	14.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7
前方不注意(外在的)	5.8	8.3	17.7	6.7	3.6	0.0	3.2	4.3	0.0	0.0	4.3	7.2
安全不確認	90.9	66.7	44.2	68.9	32.1	88.9	93.9	88.9	97.2	89.3	87.0	76.7
動静不注視	2.5	25.0	14.5	20.0	32.1	11.1	2.0	6.2	0.0	1.8	8.7	7.7
予測不適	0.8	0.0	5.9	0.0	16.1	0.0	0.5	0.6	0.0	3.6	0.0	2.6
交通環境誤認	0.0	0.0	1.6	2.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
操作不適	0.0	0.0	0.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	2.8	3.6	0.0	0.3
調査不能	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.1
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

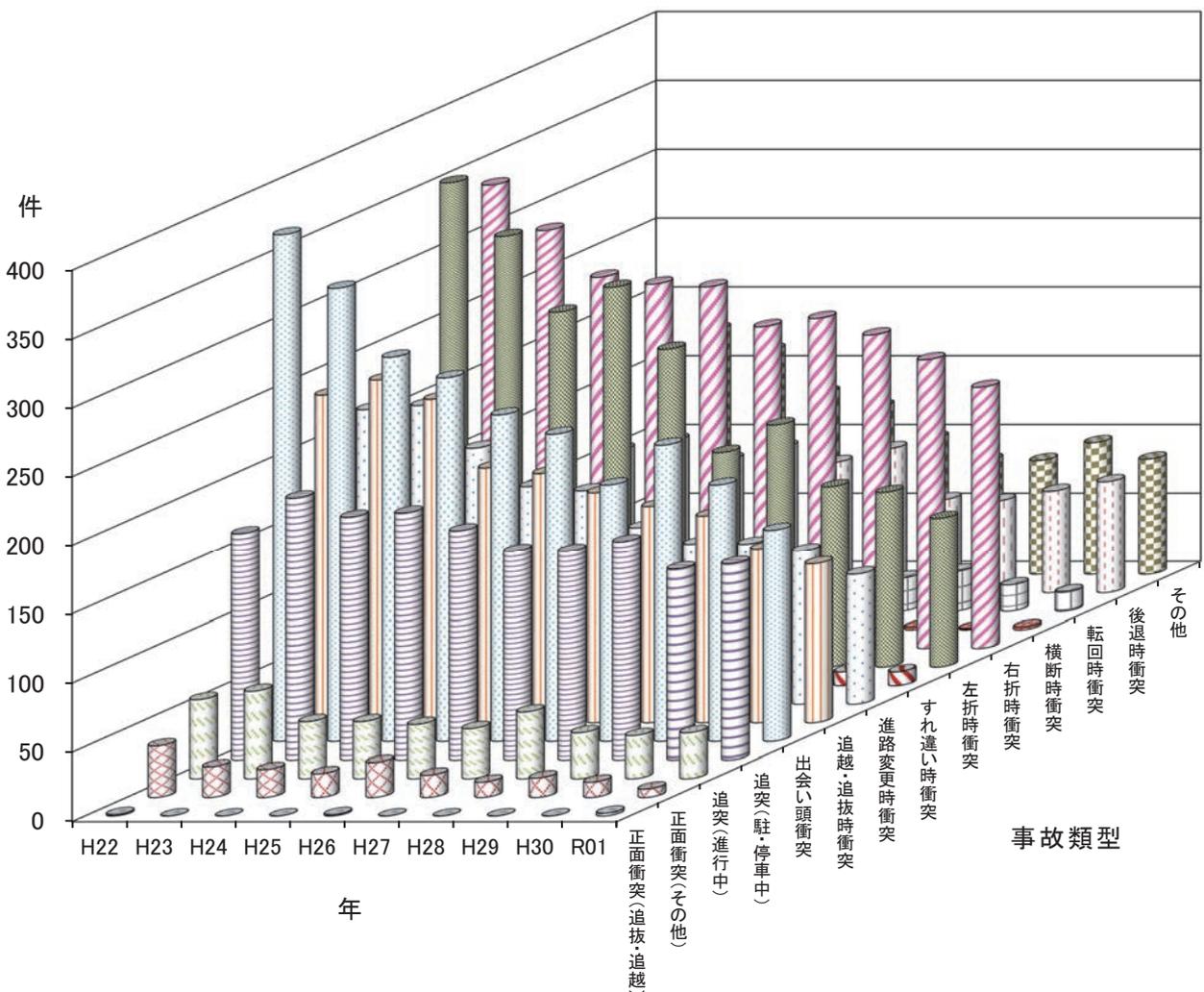


付録20 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況

(1) 対二輪車の事故類型別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

(件)

事故類型		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
		その他	37	22	20	17	25	16	11	14	11	6
	追突	進行中	57	63	41	41	39	36	48	33	31	33
		駐・停車中	164	190	176	179	166	151	151	158	138	142
	出会い頭衝突	368	329	279	264	237	223	186	215	186	153	
	追越・追抜時衝突	238	249	235	185	181	167	157	150	126	115	
	進路変更時衝突	214	217	186	158	155	128	116	116	111	94	
	すれ違い時衝突	19	16	19	16	18	14	13	15	10	10	
	左折時衝突	352	313	258	276	231	156	176	131	127	108	
	右折時衝突	337	304	270	265	263	234	240	228	210	190	
	横断時衝突	7	3	5	6	1	0	0	2	1	2	
	転回時衝突	41	32	29	32	32	23	24	29	19	14	
	後退時衝突	104	111	97	106	95	105	68	67	74	81	
	その他	152	178	163	132	122	99	83	83	96	84	
	合計		2,091	2,027	1,778	1,677	1,566	1,352	1,273	1,241	1,140	1,034



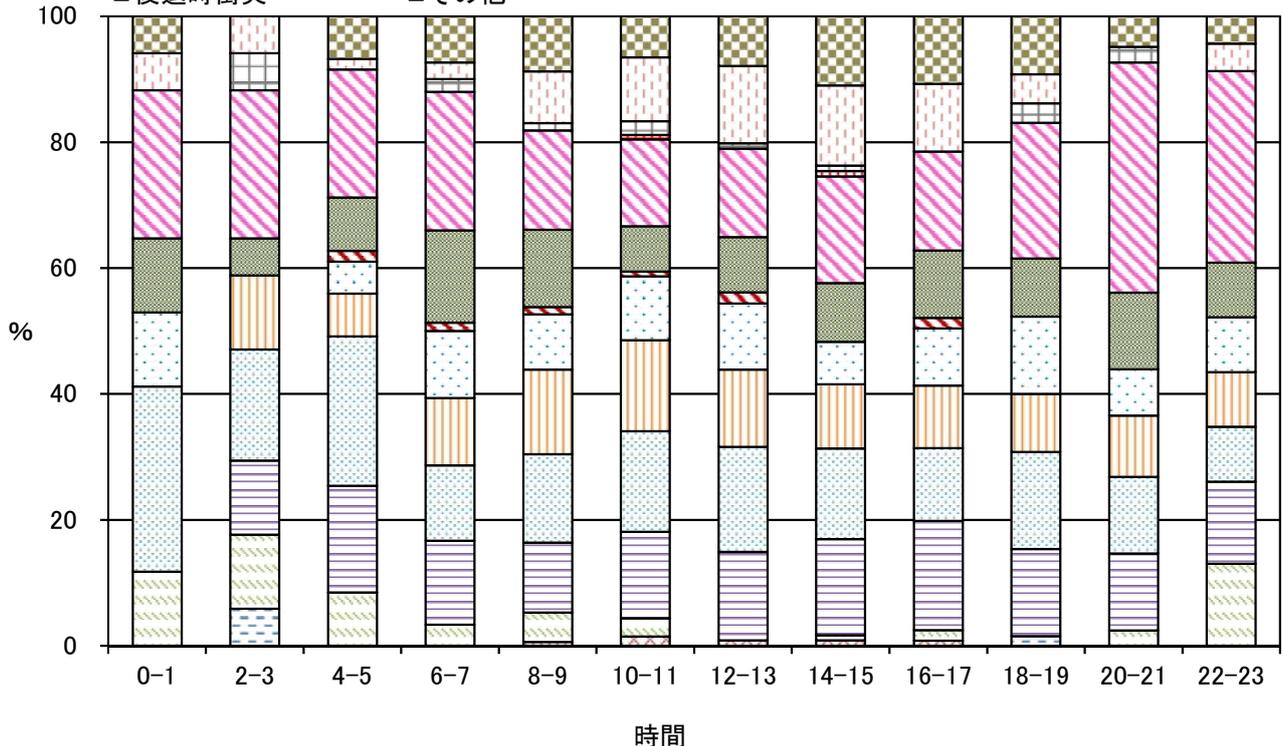
(2-1) 対二輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（令和元年）

事故類型		時間（2時間毎）													合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23			
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
		その他	0	0	0	0	1	2	1	1	1	0	0	0	0	6
	追突	進行中	2	2	5	5	8	4	0	1	2	0	1	3	33	
		駐・停車中	0	2	10	20	19	19	16	18	21	9	5	3	142	
	出会い頭衝突	5	3	14	18	24	22	19	17	14	10	5	2	153		
	追越・追抜時衝突	0	2	4	16	23	20	14	12	12	6	4	2	115		
	進路変更時衝突	2	0	3	16	15	14	12	8	11	8	3	2	94		
	すれ違い時衝突	0	0	1	2	2	1	2	0	2	0	0	0	10		
	左折時衝突	2	1	5	22	21	10	10	11	13	6	5	2	108		
	右折時衝突	4	4	12	33	27	19	16	20	19	14	15	7	190		
	横断時衝突	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2		
	転回時衝突	0	1	0	3	2	3	1	1	0	2	1	0	14		
	後退時衝突	1	1	1	4	14	14	14	15	13	3	0	1	81		
	その他	1	0	4	11	15	9	9	13	13	6	2	1	84		
	合計		17	17	59	150	171	138	114	118	121	65	41	23	1,034	

(2-2) 対二輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）

事故類型		時間（2時間毎）													合計
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対二輪車	正面衝突	追越・追抜	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.2
		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.4	0.9	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.6
	追突	進行中	11.8	11.8	8.5	3.3	4.7	2.9	0.0	0.8	1.7	0.0	2.4	13.0	3.2
		駐・停車中	0.0	11.8	16.9	13.3	11.1	13.8	14.0	15.3	17.4	13.8	12.2	13.0	13.7
	出会い頭衝突	29.4	17.6	23.7	12.0	14.0	15.9	16.7	14.4	11.6	15.4	12.2	8.7	14.8	
	追越・追抜時衝突	0.0	11.8	6.8	10.7	13.5	14.5	12.3	10.2	9.9	9.2	9.8	8.7	11.1	
	進路変更時衝突	11.8	0.0	5.1	10.7	8.8	10.1	10.5	6.8	9.1	12.3	7.3	8.7	9.1	
	すれ違い時衝突	0.0	0.0	1.7	1.3	1.2	0.7	1.8	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	1.0	
	左折時衝突	11.8	5.9	8.5	14.7	12.3	7.2	8.8	9.3	10.7	9.2	12.2	8.7	10.4	
	右折時衝突	23.5	23.5	20.3	22.0	15.8	13.8	14.0	16.9	15.7	21.5	36.6	30.4	18.4	
	横断時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	
	転回時衝突	0.0	5.9	0.0	2.0	1.2	2.2	0.9	0.8	0.0	3.1	2.4	0.0	1.4	
	後退時衝突	5.9	5.9	1.7	2.7	8.2	10.1	12.3	12.7	10.7	4.6	0.0	4.3	7.8	
	その他	5.9	0.0	6.8	7.3	8.8	6.5	7.9	11.0	10.7	9.2	4.9	4.3	8.1	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 正面衝突(追抜・追越)
- 正面衝突(その他)
- 追突(進行中)
- 追突(駐・停車中)
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対二輪車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(令和元年)

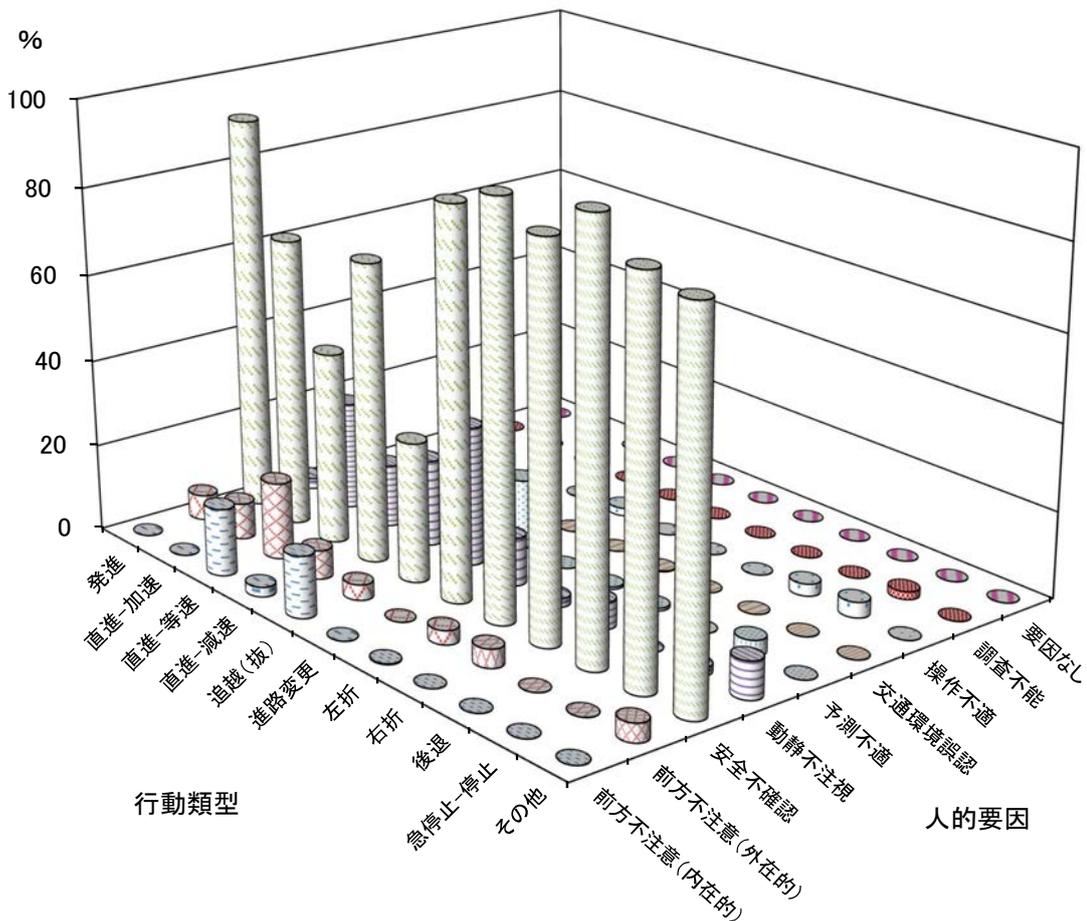
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	7	0	21	5	0	1	0	2	0	0	1	37
前方不注意(外在的)	17	0	39	17	1	4	0	11	1	0	0	90
安全不確認	79	7	67	16	25	117	111	170	79	10	36	717
動静不注視	23	4	32	5	19	4	11	22	0	0	4	124
予測不適	1	1	5	1	13	0	1	5	1	0	1	29
交通環境誤認	1	0	2	3	1	0	0	1	1	1	0	10
操作不適	13	0	3	4	1	1	0	2	1	0	0	25
調査不能	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	141	12	170	51	60	127	123	213	83	11	43	1,034

(3-2) 対二輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(令和元年)

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	5.0	0.0	12.4	9.8	0.0	0.8	0.0	0.9	0.0	0.0	2.3	3.6
前方不注意(外在的)	12.1	0.0	22.9	33.3	1.7	3.1	0.0	5.2	1.2	0.0	0.0	8.7
安全不確認	56.0	58.3	39.4	31.4	41.7	92.1	90.2	79.8	95.2	90.9	83.7	69.3
動静不注視	16.3	33.3	18.8	9.8	31.7	3.1	8.9	10.3	0.0	0.0	9.3	12.0
予測不適	0.7	8.3	2.9	2.0	21.7	0.0	0.8	2.3	1.2	0.0	2.3	2.8
交通環境誤認	0.7	0.0	1.2	5.9	1.7	0.0	0.0	0.5	1.2	9.1	0.0	1.0
操作不適	9.2	0.0	1.8	7.8	1.7	0.8	0.0	0.9	1.2	0.0	0.0	2.4
調査不能	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.2
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

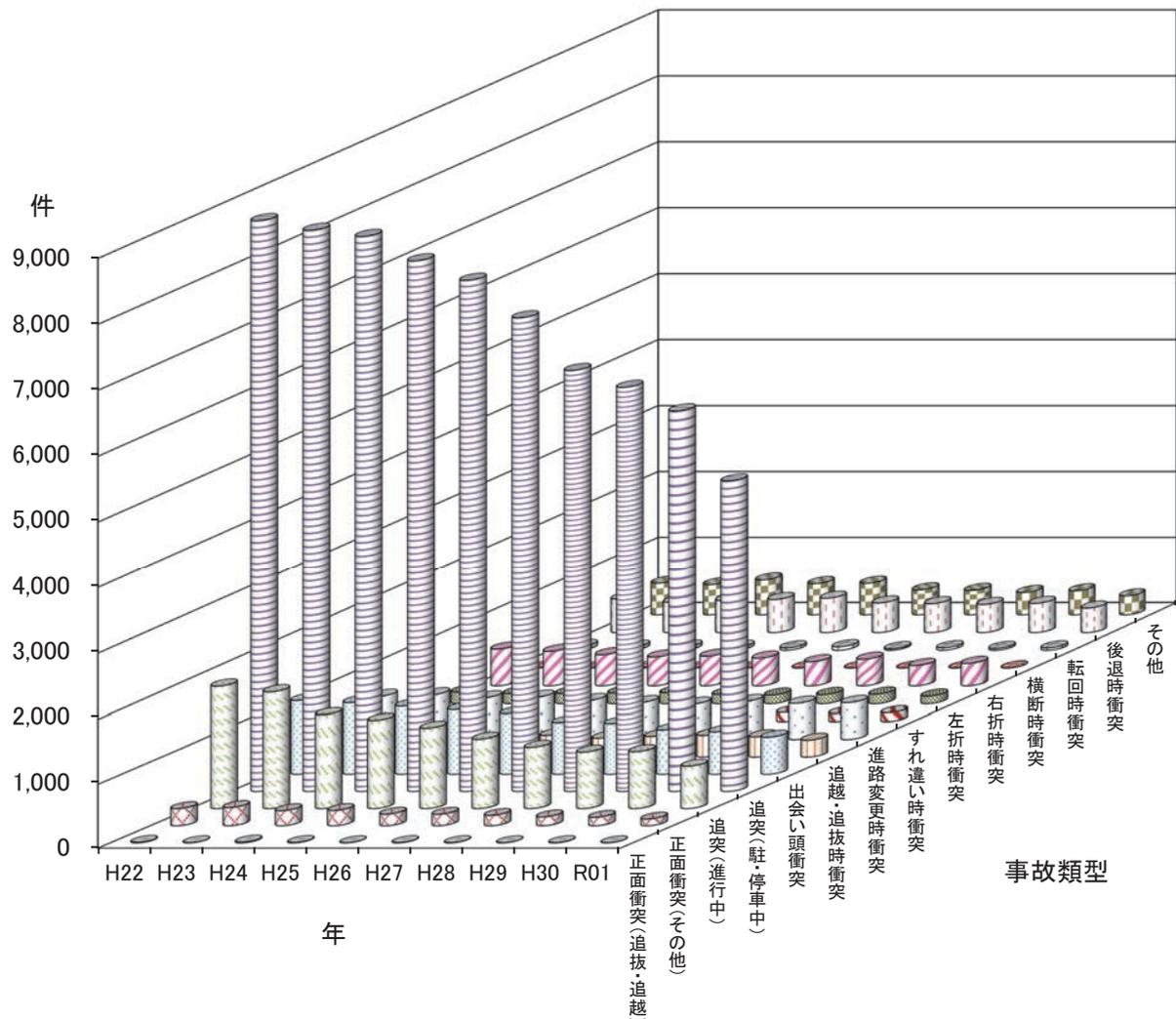


付録21 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況

(1) 対四輪車の事故類型別の死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

(件)

事故類型		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	
対四輪車	正面衝突	9	3	13	6	2	5	4	2	4	2	
	追越・追抜	268	285	236	239	182	180	162	139	132	105	
	追突	進行中	1,880	1,794	1,450	1,363	1,246	1,081	959	885	892	664
		駐・停車中	8,683	8,536	8,443	8,074	7,778	7,210	6,411	6,155	5,798	4,735
	出会い頭衝突	1,126	1,093	1,041	989	929	793	777	683	655	573	
	追越・追抜時衝突	255	297	320	281	332	290	316	332	311	259	
	進路変更時衝突	649	671	625	635	585	554	531	571	545	556	
	すれ違い時衝突	155	202	175	164	170	157	126	140	122	133	
	左折時衝突	175	152	154	160	165	141	129	137	143	114	
	右折時衝突	556	522	471	437	449	419	365	402	308	340	
	横断時衝突	6	4	7	4	4	3	2	1	2	2	
	転回時衝突	57	46	48	44	36	53	24	38	28	36	
	後退時衝突	509	460	485	500	520	448	437	425	442	370	
	その他	481	458	530	473	479	378	370	338	364	287	
	合計		14,809	14,523	13,998	13,369	12,877	11,712	10,613	10,248	9,746	8,176



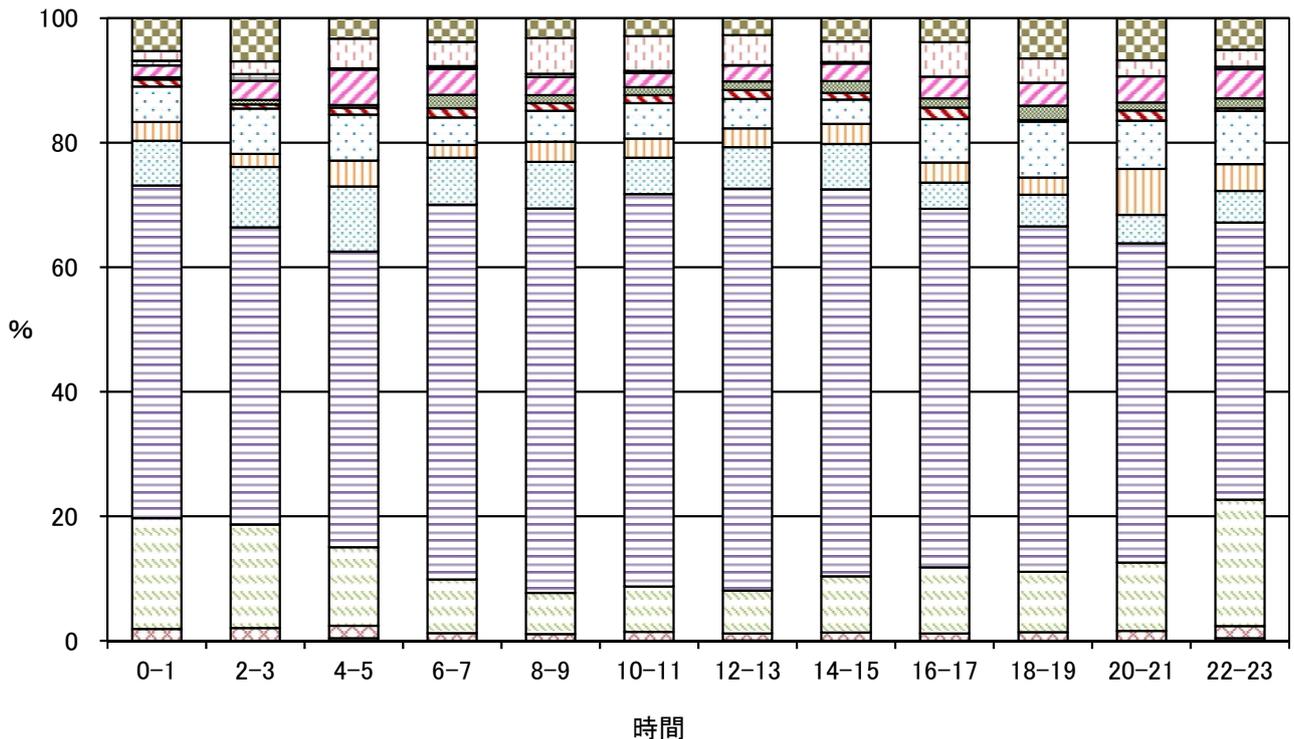
(2-1) 対四輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（令和元年）

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
		その他	6	8	7	13	16	13	13	16	5	4	4	0	105
	追突	進行中	26	36	35	53	96	101	89	86	53	33	26	30	664
		駐・停車中	95	94	178	538	812	877	678	637	429	182	110	105	4,735
	出会い頭衝突	13	12	47	82	108	105	64	55	45	19	12	11	573	
	追越・追抜時衝突	10	6	19	26	29	44	33	36	20	13	14	9	259	
	進路変更時衝突	18	9	39	59	74	90	59	55	52	47	27	27	556	
	すれ違い時衝突	4	6	7	15	17	27	23	7	14	4	4	5	133	
	左折時衝突	2	0	7	16	25	11	17	12	15	7	0	2	114	
	右折時衝突	8	6	21	31	63	59	41	32	31	22	18	8	340	
	横断時衝突	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	
	転回時衝突	4	1	3	2	8	2	3	6	1	2	2	2	36	
	後退時衝突	5	5	7	42	68	63	65	46	31	20	8	10	370	
	その他	11	11	12	31	37	49	35	37	22	18	14	10	287	
	合計		202	194	382	908	1,355	1,441	1,121	1,025	719	371	239	219	8,176

(2-2) 対四輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率（令和元年）

事故類型		時間（2時間毎）												合計	
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
対四輪車	正面衝突	追越・追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他	3.0	4.1	1.8	1.4	1.2	0.9	1.2	1.6	0.7	1.1	1.7	0.0	1.3
	追突	進行中	12.9	18.6	9.2	5.8	7.1	7.0	7.9	8.4	7.4	8.9	10.9	13.7	8.1
		駐・停車中	47.0	48.5	46.6	59.3	59.9	60.9	60.5	62.1	59.7	49.1	46.0	47.9	57.9
	出会い頭衝突	6.4	6.2	12.3	9.0	8.0	7.3	5.7	5.4	6.3	5.1	5.0	5.0	7.0	
	追越・追抜時衝突	5.0	3.1	5.0	2.9	2.1	3.1	2.9	3.5	2.8	3.5	5.9	4.1	3.2	
	進路変更時衝突	8.9	4.6	10.2	6.5	5.5	6.2	5.3	5.4	7.2	12.7	11.3	12.3	6.8	
	すれ違い時衝突	2.0	3.1	1.8	1.7	1.3	1.9	2.1	0.7	1.9	1.1	1.7	2.3	1.6	
	左折時衝突	1.0	0.0	1.8	1.8	1.8	0.8	1.5	1.2	2.1	1.9	0.0	0.9	1.4	
	右折時衝突	4.0	3.1	5.5	3.4	4.6	4.1	3.7	3.1	4.3	5.9	7.5	3.7	4.2	
	横断時衝突	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	転回時衝突	2.0	0.5	0.8	0.2	0.6	0.1	0.3	0.6	0.1	0.5	0.8	0.9	0.4	
	後退時衝突	2.5	2.6	1.8	4.6	5.0	4.4	5.8	4.5	4.3	5.4	3.3	4.6	4.5	
	その他	5.4	5.7	3.1	3.4	2.7	3.4	3.1	3.6	3.1	4.9	5.9	4.6	3.5	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 正面衝突（追抜・追越）
- 正面衝突（その他）
- 追突（進行中）
- 追突（駐・停車中）
- 出会い頭衝突
- 追越・追抜時衝突
- 進路変更時衝突
- すれ違い時衝突
- 左折時衝突
- 右折時衝突
- 横断時衝突
- 転回時衝突
- 後退時衝突
- その他



(3-1) 対四輪車の行動類型別・人的要因別の事故件数（令和元年）

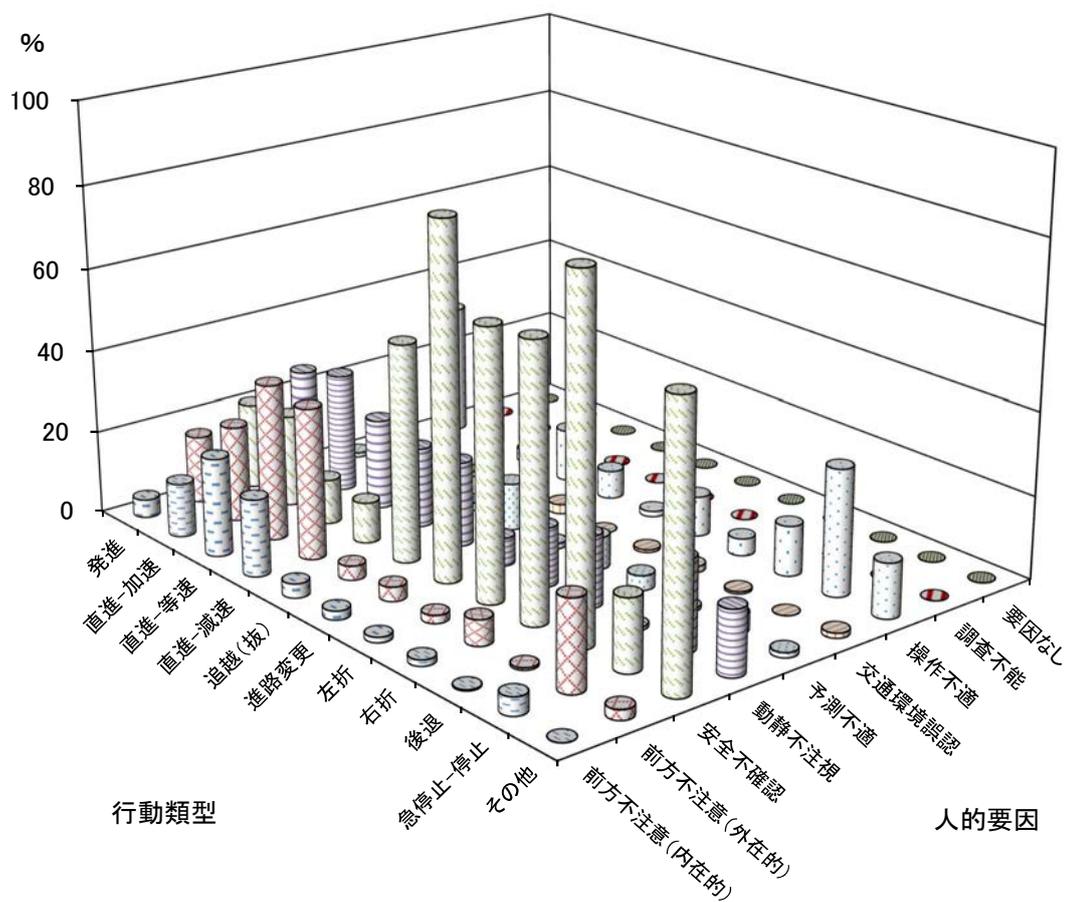
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	49	14	1,005	166	3	16	2	5	1	1	0	1,262
前方不注意(外在的)	183	25	1,596	326	3	26	3	21	2	5	2	2,192
安全不確認	232	24	458	88	46	642	100	222	323	4	55	2,194
動静不注視	285	31	926	173	18	51	22	58	3	5	13	1,585
予測不適	12	3	58	17	10	10	12	12	3	1	1	139
交通環境誤認	3	1	52	9	2	0	1	5	2	0	1	76
操作不適	355	10	129	113	6	10	15	14	46	7	11	716
調査不能	0	0	10	1	0	0	0	1	0	0	0	12
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,119	108	4,234	893	88	755	155	338	380	23	83	8,176

(3-2) 対四輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（令和元年）

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	4.4	13.0	23.7	18.6	3.4	2.1	1.3	1.5	0.3	4.3	0.0	15.4
前方不注意(外在的)	16.4	23.1	37.7	36.5	3.4	3.4	1.9	6.2	0.5	21.7	2.4	26.8
安全不確認	20.7	22.2	10.8	9.9	52.3	85.0	64.5	65.7	85.0	17.4	66.3	26.8
動静不注視	25.5	28.7	21.9	19.4	20.5	6.8	14.2	17.2	0.8	21.7	15.7	19.4
予測不適	1.1	2.8	1.4	1.9	11.4	1.3	7.7	3.6	0.8	4.3	1.2	1.7
交通環境誤認	0.3	0.9	1.2	1.0	2.3	0.0	0.6	1.5	0.5	0.0	1.2	0.9
操作不適	31.7	9.3	3.0	12.7	6.8	1.3	9.7	4.1	12.1	30.4	13.3	8.8
調査不能	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

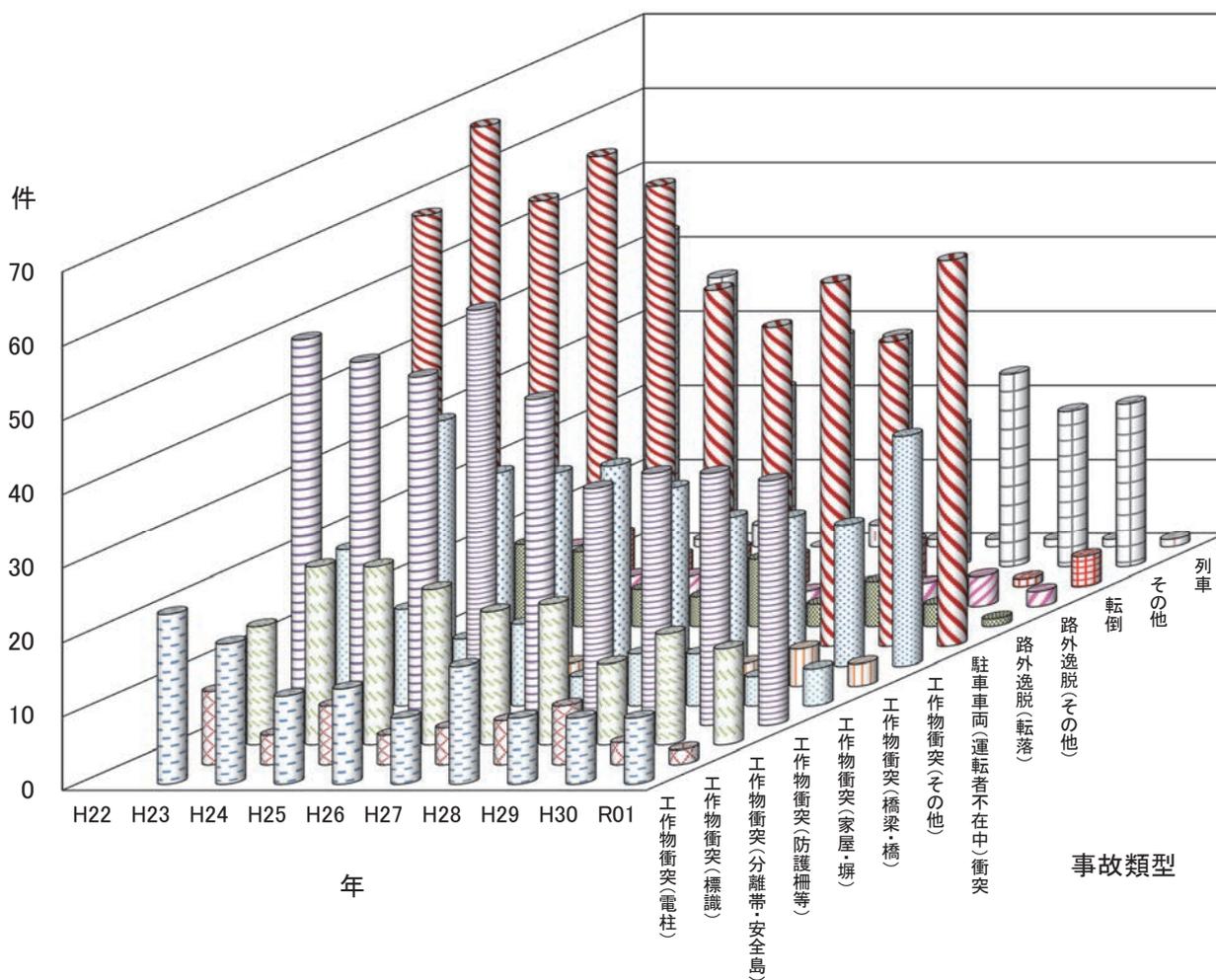


付録22 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況

(1) 車両単独事故の事故類型別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

(件)

事故類型		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	
車両単独	工作物衝突	電柱	23	19	12	13	9	16	9	9	9	7
		標識	10	4	8	4	5	6	8	3	2	4
		分離帯・安全島	16	24	24	21	18	19	11	15	13	13
		防護柵等	52	49	47	56	44	32	34	34	33	24
		家屋・塀	21	13	9	11	4	7	7	4	5	3
		橋梁・橋	9	3	2	3	3	4	3	5	3	2
		その他	33	26	26	27	24	20	20	19	31	24
	駐車車両(運転者不在中)衝突	58	70	60	66	62	48	43	49	41	52	
	路外逸脱	転落	11	10	5	4	9	3	6	3	1	2
		その他	8	4	4	4	2	3	3	4	2	3
	転倒	7	4	5	4	0	6	0	1	4	0	
	その他	45	39	24	31	31	19	26	21	22	17	
	小計		293	265	226	244	211	183	170	167	166	151
列車		1	3	0	3	1	1	1	1	1	1	



(2-1) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数(令和元年)

(件)

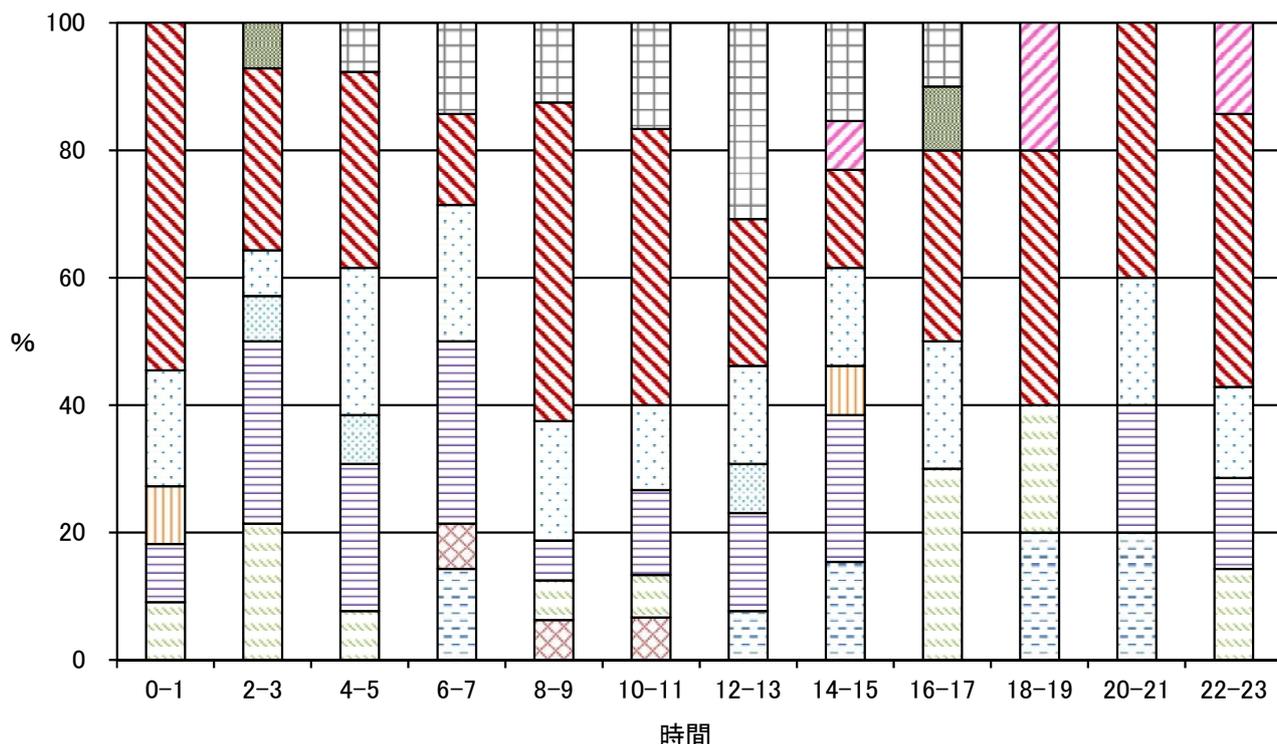
事故類型		時間(2時間毎)													合計
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
車両単独	工作物衝突	電柱	0	0	0	2	0	0	1	2	0	1	1	0	7
		標識	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	4
		分離帯・安全島	1	3	1	0	1	2	0	0	3	1	0	1	13
		防護柵等	1	4	3	4	1	4	2	3	0	0	1	1	24
		家屋・塀	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
		橋梁・橋	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
		その他	2	1	3	3	3	4	2	2	2	0	1	1	24
	駐車車両(運転者不在中)衝突	6	4	4	2	8	13	3	2	3	2	2	3	52	
	路外逸脱	転落	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
		その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3
	転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	2	2	5	4	2	1	0	0	0	17	
	合計		11	14	13	14	16	30	13	13	10	5	5	7	151
	列車		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

(2-2) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和元年)

(%)

事故類型		時間(2時間毎)													合計
		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23		
車両単独	工作物衝突	電柱	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	20.0	20.0	0.0	4.6
		標識	0.0	0.0	0.0	7.1	6.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
		分離帯・安全島	9.1	21.4	7.7	0.0	6.3	6.7	0.0	0.0	30.0	20.0	0.0	14.3	8.6
		防護柵等	9.1	28.6	23.1	28.6	6.3	13.3	15.4	23.1	0.0	0.0	20.0	14.3	15.9
		家屋・塀	0.0	7.1	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
		橋梁・橋	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
		その他	18.2	7.1	23.1	21.4	18.8	13.3	15.4	15.4	20.0	0.0	20.0	14.3	15.9
	駐車車両(運転者不在中)衝突	54.5	28.6	30.8	14.3	50.0	43.3	23.1	15.4	30.0	40.0	40.0	42.9	34.4	
	路外逸脱	転落	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	1.3
		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	20.0	0.0	14.3	2.0
	転倒	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	7.7	14.3	12.5	16.7	30.8	15.4	10.0	0.0	0.0	0.0	11.3	
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 工作物衝突(電柱)
- 工作物衝突(標識)
- 工作物衝突(分離帯・安全島)
- 工作物衝突(防護柵等)
- 工作物衝突(家屋・塀)
- 工作物衝突(橋梁・橋)
- 工作物衝突(その他)
- 駐車車両(運転者不在中)
- 路外逸脱(転落)
- 路外逸脱(その他)
- 転倒
- その他



(3-1) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(令和元年)

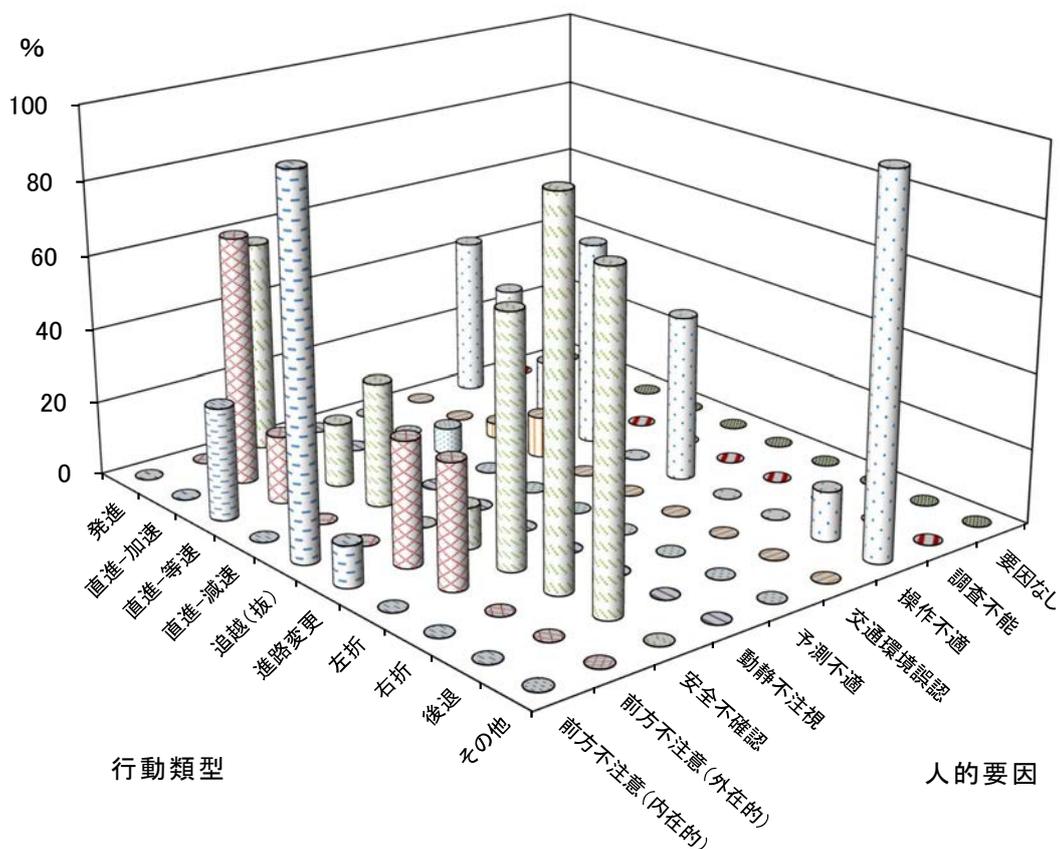
(件)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
前方不注意(内在的)	0	0	30	0	1	1	0	0	0	0	32
前方不注意(外在的)	0	2	18	0	0	3	1	0	0	0	24
安全不確認	4	0	17	3	0	1	2	3	13	0	43
動静不注視	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
予測不適	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
交通環境誤認	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	5
操作不適	3	1	17	5	0	4	0	0	2	2	34
調査不能	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	3	99	9	1	9	3	3	15	2	151

(3-2) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(令和元年)

(%)

行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
前方不注意(内在的)	0.0	0.0	30.3	0.0	100.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.2
前方不注意(外在的)	0.0	66.7	18.2	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	15.9
安全不確認	57.1	0.0	17.2	33.3	0.0	11.1	66.7	100.0	86.7	0.0	28.5
動静不注視	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
予測不適	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6
交通環境誤認	0.0	0.0	4.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
操作不適	42.9	33.3	17.2	55.6	0.0	44.4	0.0	0.0	13.3	100.0	22.5
調査不能	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

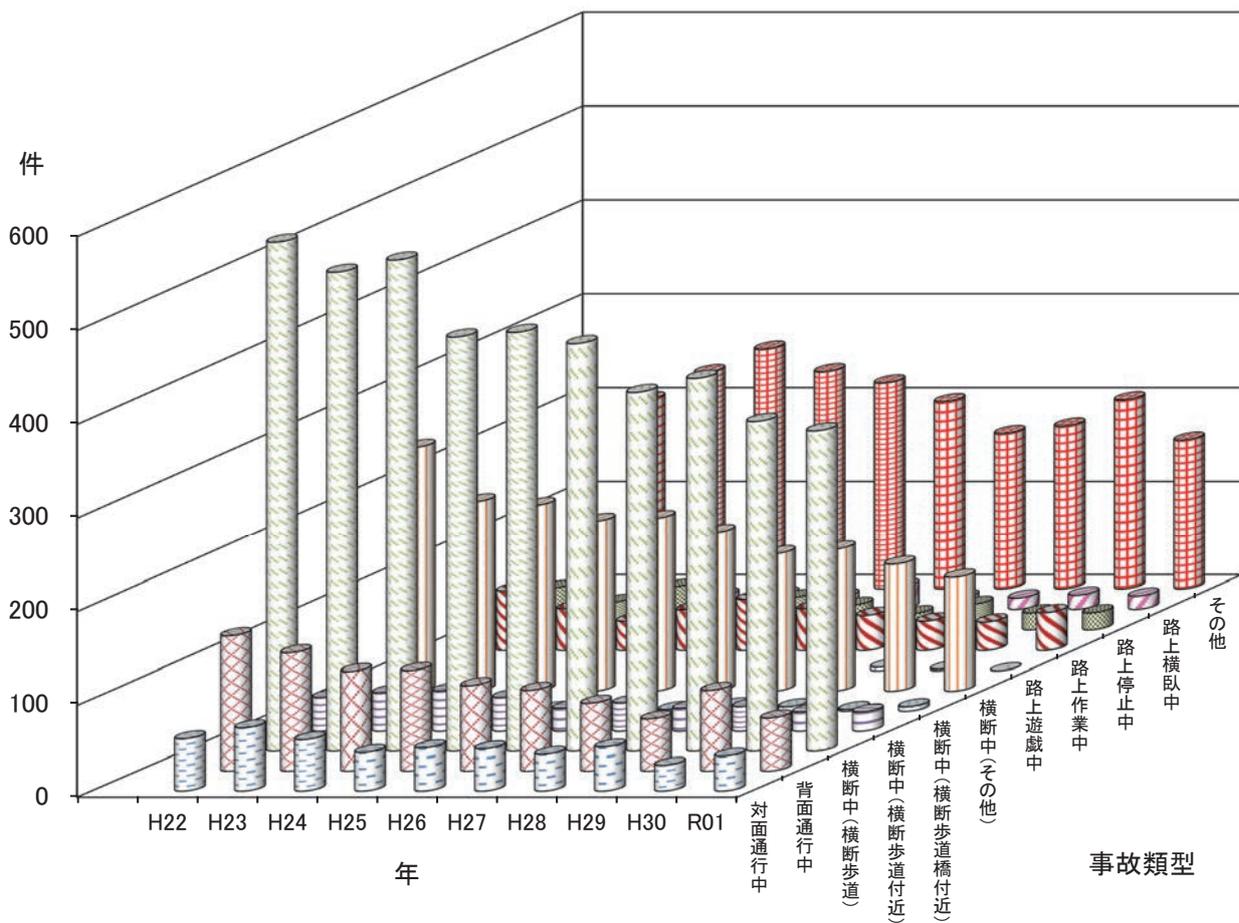


付録23 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況

(1) 対歩行者の事故類型別死傷事故件数の推移（平成22-令和元年）

(件)

事故類型		年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	
人 対 車 両	対面通行中		57	69	56	42	47	46	40	48	28	38	
	背面通行中		146	128	108	109	93	88	74	57	88	58	
	横断中	横断歩道		544	512	525	443	448	436	384	399	353	343
		横断歩道付近		37	42	44	37	25	31	25	27	21	21
		横断歩道橋付近		11	4	3	2	4	2	6	5	2	5
		その他		260	202	198	181	184	169	146	151	135	121
	路上遊戯中		9	3	2	8	7	3	5	4	2	0	
	路上作業中		63	44	31	43	54	44	37	31	30	40	
	路上停止中		44	29	45	26	34	26	17	27	18	18	
	路上横臥中				14	15	13	24	12	12	15	14	
	その他		202	231	256	232	220	200	166	174	202	159	
	合計			1,373	1,264	1,282	1,138	1,129	1,069	912	935	894	817



(2-1) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数（令和元年）

(件)

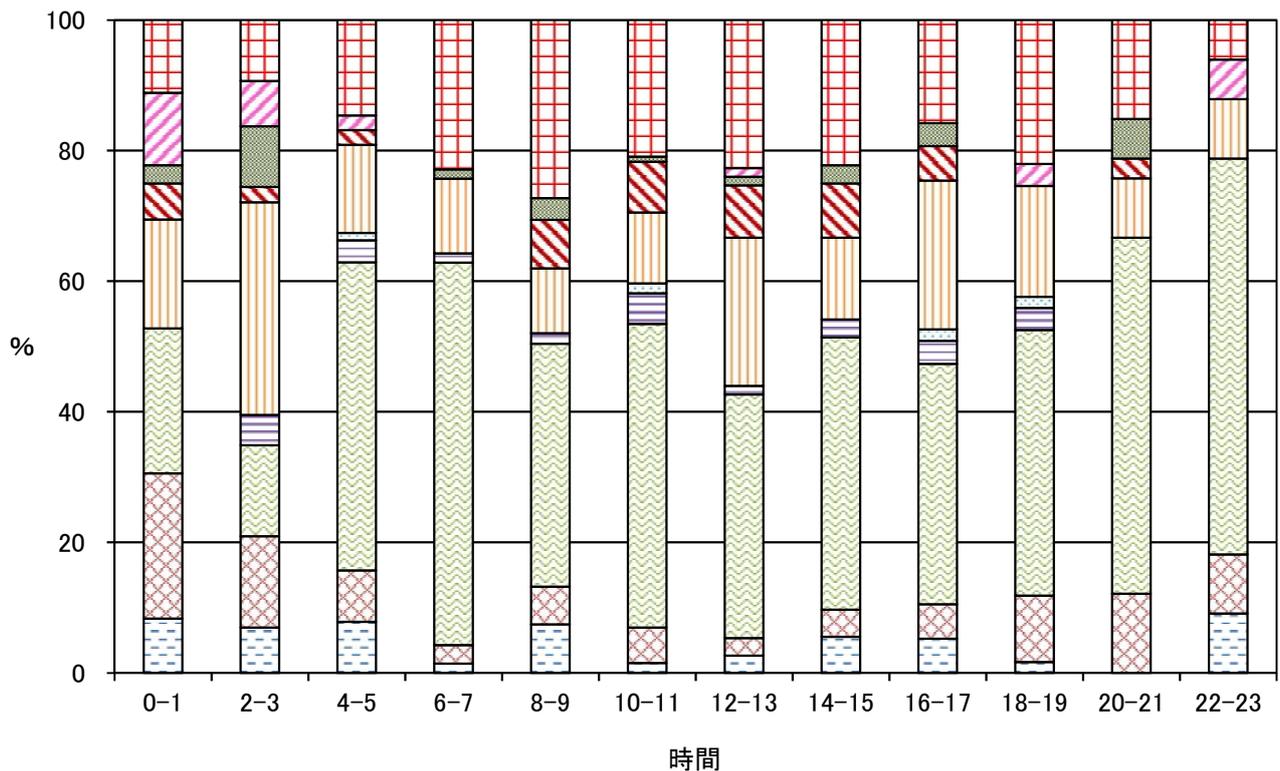
事故類型		時間（2時間毎）		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計	
人対車両	対面通行中			3	3	7	1	9	2	2	4	3	1	0	3	38	
	背面通行中			8	6	7	2	7	7	2	3	3	6	4	3	58	
	横断中	横断歩道			8	6	42	41	45	60	28	30	21	24	18	20	343
		横断歩道付近			0	2	3	1	2	6	1	2	2	2	0	0	21
		横断歩道橋付近			0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	5
		その他			6	14	12	8	12	14	17	9	13	10	3	3	121
	路上遊戯中			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路上作業中			2	1	2	0	9	10	6	6	3	0	1	0	0	40
	路上停止中			1	4	0	1	4	1	1	1	2	2	0	2	0	18
	路上横臥中			4	3	2	0	0	0	0	1	0	0	2	0	2	14
	その他			4	4	13	16	33	27	17	16	9	13	5	2	159	
	合計			36	43	89	70	121	129	75	72	57	59	33	33	817	

(2-2) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数の構成率（令和元年）

(%)

事故類型		時間（2時間毎）		0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計	
人対車両	対面通行中			8.3	7.0	7.9	1.4	7.4	1.6	2.7	5.6	5.3	1.7	0.0	9.1	4.7	
	背面通行中			22.2	14.0	7.9	2.9	5.8	5.4	2.7	4.2	5.3	10.2	12.1	9.1	7.1	
	横断中	横断歩道			22.2	14.0	47.2	58.6	37.2	46.5	37.3	41.7	36.8	40.7	54.5	60.6	42.0
		横断歩道付近			0.0	4.7	3.4	1.4	1.7	4.7	1.3	2.8	3.5	3.4	0.0	0.0	2.6
		横断歩道橋付近			0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.8	1.7	0.0	0.0	0.6
		その他			16.7	32.6	13.5	11.4	9.9	10.9	22.7	12.5	22.8	16.9	9.1	9.1	14.8
	路上遊戯中			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	路上作業中			5.6	2.3	2.2	0.0	7.4	7.8	8.0	8.3	5.3	0.0	3.0	0.0	0.0	4.9
	路上停止中			2.8	9.3	0.0	1.4	3.3	0.8	1.3	2.8	3.5	0.0	6.1	0.0	2.2	
	路上横臥中			11.1	7.0	2.2	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	3.4	0.0	6.1	1.7	
	その他			11.1	9.3	14.6	22.9	27.3	20.9	22.7	22.2	15.8	22.0	15.2	6.1	19.5	
	合計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- 対面通行中
- 背面通行中
- 横断中(横断歩道)
- 横断中(横断歩道付近)
- 横断中(横断歩道橋付近)
- 横断中(その他)
- 路上遊戯中
- 路上作業中
- 路上停止中
- 路上横臥中
- その他



(3-1) 対歩行者の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数（令和元年）

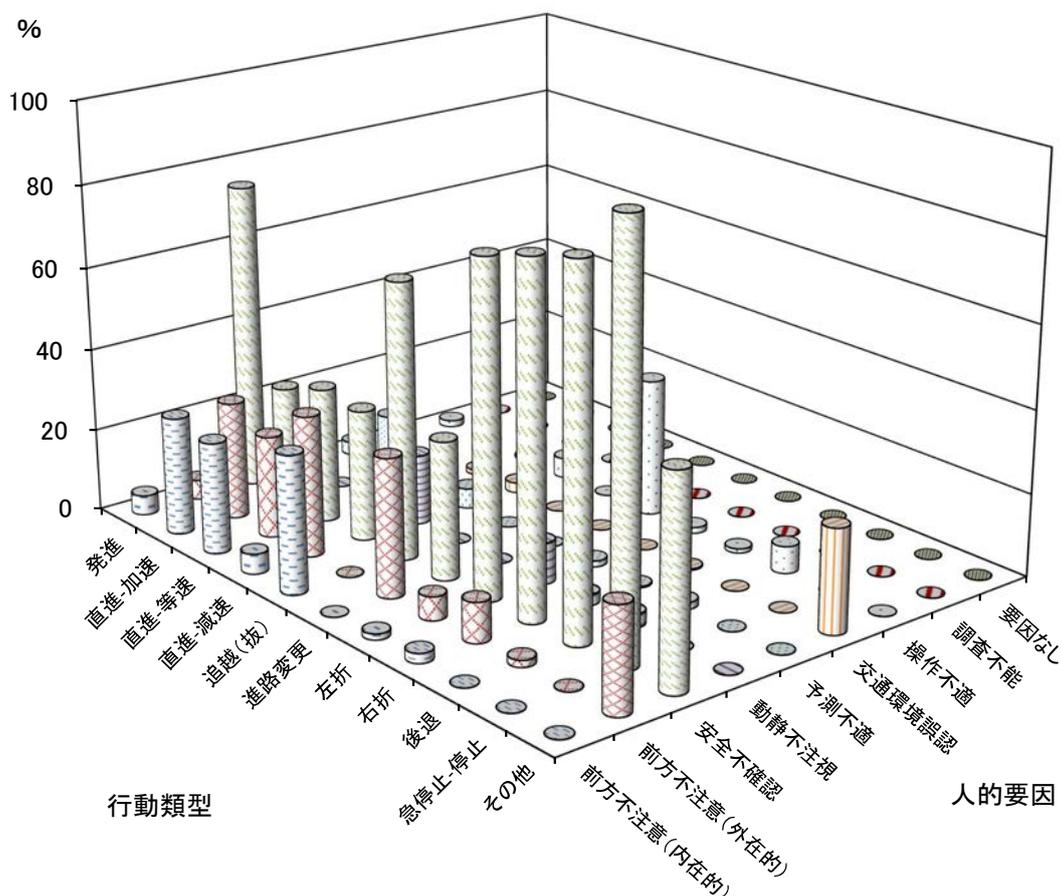
(件)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	3	2	71	2	1	0	1	7	0	0	0	87
前方不注意(外在的)	3	2	65	14	0	1	4	29	1	0	1	120
安全不確認	47	2	86	13	2	1	56	251	53	2	2	515
動静不注視	7	0	27	7	0	0	7	8	2	0	0	58
予測不適	2	1	10	2	0	0	1	1	1	0	0	18
交通環境誤認	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	1	6
操作不適	1	0	1	2	0	1	1	3	4	0	0	13
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	63	7	263	41	3	3	70	300	61	2	4	817

(3-2) 対歩行者の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率（令和元年）

(%)

行動類型	発進	直進-加速	直進-等速	直進-減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
人的要因												
前方不注意(内在的)	4.8	28.6	27.0	4.9	33.3	0.0	1.4	2.3	0.0	0.0	0.0	10.6
前方不注意(外在的)	4.8	28.6	24.7	34.1	0.0	33.3	5.7	9.7	1.6	0.0	25.0	14.7
安全不確認	74.6	28.6	32.7	31.7	66.7	33.3	80.0	83.7	86.9	100.0	50.0	63.0
動静不注視	11.1	0.0	10.3	17.1	0.0	0.0	10.0	2.7	3.3	0.0	0.0	7.1
予測不適	3.2	14.3	3.8	4.9	0.0	0.0	1.4	0.3	1.6	0.0	0.0	2.2
交通環境誤認	0.0	0.0	1.1	2.4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	25.0	0.7
操作不適	1.6	0.0	0.4	4.9	0.0	33.3	1.4	1.0	6.6	0.0	0.0	1.6
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録24 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数
（平成28-令和元年）

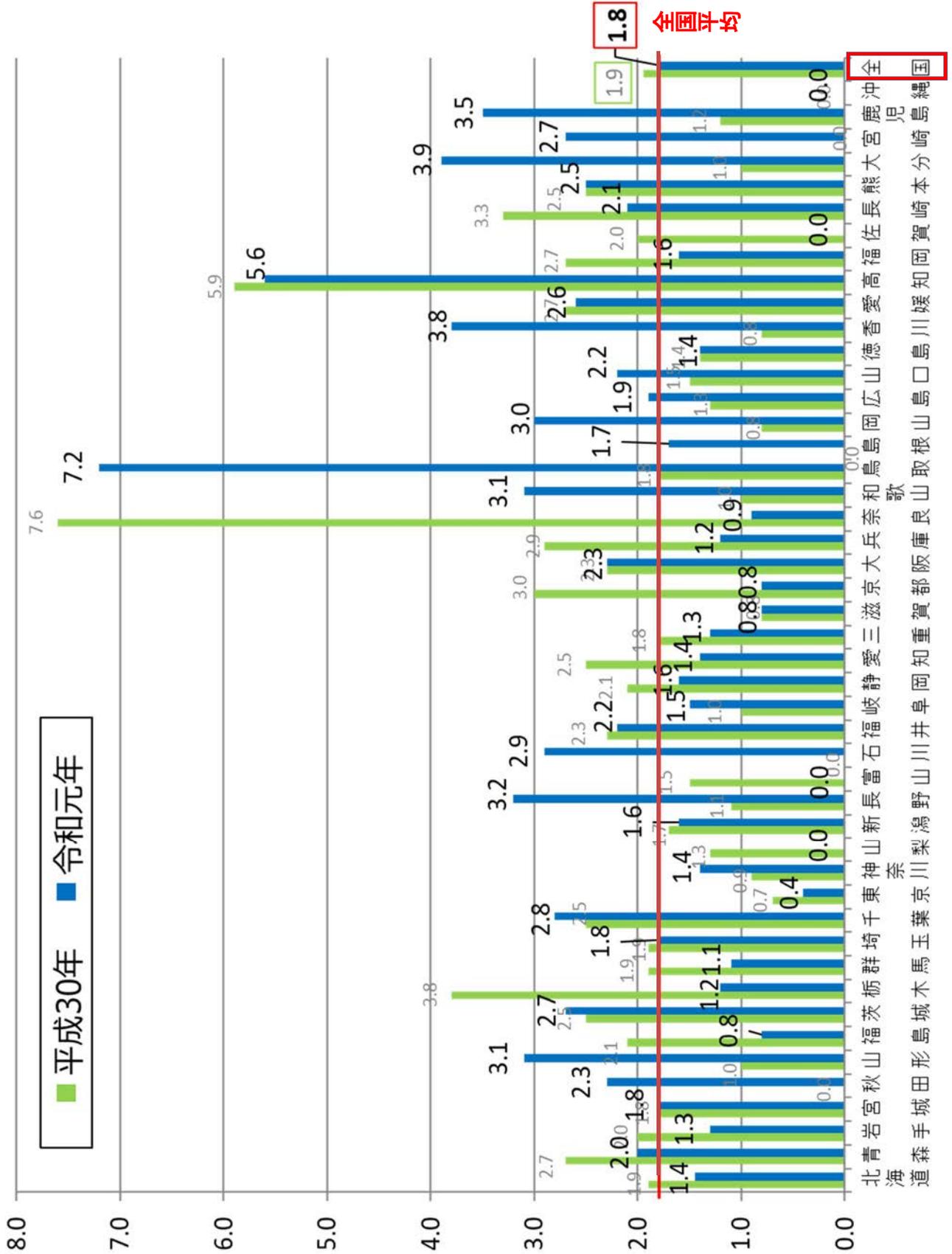
区分	死亡事故件数（件）					死者数（人）					車両台数 （台）	1万台当たり 死亡事故件数 （件）	
	H28	H29	H30	R01	H30比	H28	H29	H30	R01	H30比			
北海道	札幌	7	2	6	4	△2	7	2	6	4	△2	69,262	1.4
	函館	0	2	2	1	△1	0	2	2	1	△1		
	室蘭	4	2	2	1	△1	6	2	3	1	△2		
	帯広	1	1	0	1	1	2	1	0	1	1		
	釧路	4	1	0	0	0	4	1	0	0	0		
	北見	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
	旭川	1	1	3	3	0	1	1	3	3	0		
小計	18	9	13	10	△3	21	9	14	10	△4			
東北	宮城	5	4	5	5	0	5	4	5	5	0	28,393	1.8
	福島	7	7	5	2	△3	7	7	5	2	△3	24,316	0.8
	岩手	0	5	3	2	△1	0	5	3	2	△1	14,843	1.3
	青森	4	3	4	3	△1	4	4	4	3	△1	14,741	2.0
	山形	1	1	1	3	2	1	1	1	5	4	9,823	3.1
	秋田	2	2	0	2	2	2	2	0	2	2	8,618	2.3
小計	19	22	18	17	△1	19	23	18	19	1	100,734	1.7	
北陸・信越	新潟	6	5	4	4	0	6	7	4	4	0	24,250	1.6
	長野	3	2	2	6	4	3	2	2	6	4	18,578	3.2
	石川	2	2	0	4	4	2	2	0	4	4	13,712	2.9
	富山	3	3	2	0	△2	3	3	2	0	△2	13,148	0.0
小計	14	12	8	14	6	14	14	8	14	6	69,688	2.0	
関東	東京	9	10	7	4	△3	9	10	7	4	△3	95,515	0.4
	神奈川	9	12	6	10	4	9	12	6	10	4	70,814	1.4
	千葉	21	12	16	18	2	21	12	16	19	3	64,787	2.8
	埼玉	22	13	17	16	△1	23	13	17	16	△1	89,666	1.8
	茨城	5	9	11	12	1	5	9	11	12	1	43,930	2.7
	群馬	6	4	5	3	△2	7	4	5	3	△2	26,193	1.1
	栃木	4	1	9	3	△6	4	1	9	3	△6	24,205	1.2
	山梨	0	1	1	0	△1	0	1	1	0	△1	8,069	0.0
	小計	76	62	72	66	△6	78	62	72	67	△5	423,179	1.6
中部	愛知	12	11	22	13	△9	12	12	22	13	△9	90,039	1.4
	静岡	7	7	9	7	△2	7	7	9	7	△2	42,817	1.6
	岐阜	4	2	2	3	1	4	2	2	3	1	20,273	1.5
	三重	7	4	4	3	△1	7	4	4	4	0	22,897	1.3
	福井	1	0	2	2	0	1	0	2	2	0	8,933	2.2
小計	31	24	39	28	△11	31	25	39	29	△10	184,959	1.5	
近畿	大阪	19	36	22	23	1	21	37	22	23	1	97,919	2.3
	京都	5	8	7	2	△5	5	8	7	2	△5	23,978	0.8
	兵庫	8	14	14	6	△8	8	14	16	7	△9	49,868	1.2
	滋賀	4	1	1	1	0	4	1	2	1	△1	13,047	0.8
	奈良	2	2	8	1	△7	3	2	9	1	△8	10,662	0.9
	和歌山	2	0	1	3	2	2	0	1	3	2	9,673	3.1
	小計	40	61	53	36	△17	43	62	57	37	△20	205,147	1.8
中国	広島	9	7	4	6	2	11	8	4	6	2	31,343	1.9
	鳥取	0	1	1	4	3	0	1	1	4	3	5,530	7.2
	島根	0	2	0	1	1	0	2	0	1	1	5,986	1.7
	岡山	3	11	2	8	6	3	12	2	8	6	26,608	3.0
	山口	2	1	2	3	1	2	1	2	3	1	13,882	2.2
小計	14	22	9	22	13	16	24	9	22	13	83,349	2.6	
四国	香川	3	4	1	5	4	3	4	1	5	4	13,264	3.8
	徳島	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	7,204	1.4
	愛媛	6	12	4	4	0	6	13	4	4	0	15,222	2.6
	高知	3	2	4	4	0	3	2	4	4	0	6,815	5.9
小計	13	18	10	14	4	13	19	10	14	4	42,505	3.3	
九州	福岡	17	13	15	9	△6	18	13	15	10	△5	55,711	1.6
	佐賀	1	4	2	0	△2	1	4	2	0	△2	10,231	0.0
	長崎	1	3	3	2	△1	2	3	3	2	△1	9,318	2.1
	熊本	5	4	4	4	0	5	4	6	4	△2	16,033	2.5
	大分	2	4	1	4	3	2	4	1	4	3	10,314	3.9
	宮崎	1	4	0	3	3	1	4	0	3	3	11,133	2.7
	鹿児島	2	3	2	6	4	2	3	2	6	4	16,918	3.5
小計	29	35	27	28	1	31	35	29	29	0	129,658	2.2	
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,547	0.0	
不明	4	6	4	4	0	4	7	4	4	0	0	0	
合計	258	271	253	239	△14	270	280	260	245	△15	1,316,028	1.8	

（作成：公益社団法人 全日本トラック協会）

※死亡事故件数及び死者数は軽自動車によるものを除く 出典：（公財）交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物車の保有車両台数（R01.12末現在） 出典：（一財）自動車検査登録情報協会

付録25 事業用貨物自動車 1万台当たりの死亡事故件数（車籍別）（平成30-令和元年）



(作成：公益社団法人 全日本トラック協会)

※死亡事故件数は軽自動車によるものを除く 出典：(公財)交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物自動車の保有台数 (R01.12末現在) 出典：(一財)自動車検査登録情報協会

事業用貨物自動車の交通事故の発生状況

発行：公益社団法人**全日本トラック協会**

編集：公益財団法人 交通事故総合分析センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番5

T e l 03 (3354) 1009 (代表)

F a x 03 (3354) 1019

ホームページのアドレス <http://www.jta.or.jp>

